

わが国の慢性透析療法の現況 (2017年12月31日現在)

新田 孝作¹ 政金 生人¹ 花房 規男¹ 谷口 正智¹
 長谷川 毅¹ 中井 滋¹ 後藤 俊介¹ 和田 篤志¹
 濱野 高行¹ 星野 純一¹ 常喜 信彦¹ 阿部 雅紀¹
 山本 景一¹ 中元 秀友²

¹日本透析医学会統計調査委員会 ²日本透析医学会理事長

〈要旨〉

日本透析医学会統計調査(JSDT Renal Data Registry: JRDR)の2017年末時点における年次調査は、4,413施設を対象に実施され、施設調査票に関しては4,360施設(98.8%)、患者調査票に関しては4,188施設(94.9%)から回答を得た。匿名化方法を強化して3年目の調査であったが、施設調査票、患者調査票とも回収率はほぼ例年通りであった。わが国の透析患者数は年々増加し続け、2017年末の施設調査結果による透析患者数は334,505人に達し、人口百万人あたりの患者数は2,640人であった。患者調査結果による平均年齢は68.43歳で、最も多い原疾患は糖尿病性腎症(39.0%)、次いで慢性糸球体腎炎(27.8%)、第3位は腎硬化症であった(10.3%)。経年的にみると、糖尿病性腎症および腎硬化症が増加し、慢性糸球体腎炎は減少している。2017年の施設調査結果による透析導入患者数は40,959人であり、2008年以降概ね大きな変動なく推移している。患者調査結果による透析導入患者の平均年齢は69.68歳であり、原疾患では糖尿病性腎症が最も多かった(42.5%)。糖尿病性腎症による年間導入数は横ばいで推移している。一方、2017年の施設調査結果による年間死亡患者数は32,532人であり、年間粗死亡率は9.8%であった。2012年の診療報酬改定以降、血液透析濾過(HDF)患者数は急増しており2017年末には95,140人に達した。これは2016年末と比較して18,304人増加した。腹膜透析(PD)患者数は9,090人であり2016年よりも増加している。腹膜透析患者のうち19.4%は血液透析(HD)やHDFとの併用療法であった。2017年末の在宅HD患者は684人であり、2016年末から49人増加した。

2017 Annual Dialysis Data Report, JSDT Renal Data Registry

The annual survey of Japanese Society for Dialysis Therapy Renal Data Registry (JRDR) was conducted for 4,413 dialysis facilities at the end of 2017, among which 4,360 facilities(98.8%) responded to the facility survey and 4,188 facilities (94.9%) responded to the patient survey. The response rate of the 2017 survey was comparable with the past, even though it was the third year after the new anonymization method. The number of chronic dialysis patients in Japan continues to increase every year; it has reached 334,505 at the end of 2017 and the prevalence rate of the dialysis patients was 2,640 per million population. The mean age from the patient survey was 68.43 years. Diabetic nephropathy was the most common primary disease among the prevalent dialysis patients (39.0%), followed by chronic glomerulonephritis (27.8%) and nephrosclerosis (10.3%). The rate of diabetic nephropathy and nephrosclerosis has been increasing year by year, whereas that of chronic glomerulonephritis was declining. The number of incident dialysis patients during 2017 was 40,959; it has remained stable since 2008. The average age was 69.68 years and diabetic nephropathy(42.5%) was the most common cause in the incident dialysis patients. These patients caused by diabetes did not change in number for recent several years. 32,532 patients died in 2017; the crude mortality rate was 9.8%. The patients treated by hemodiafiltration (HDF) have been increasing rapidly from the revision of medical reimbursement for HDF therapy in 2012. It has attained 95,140 patients at the end of 2017, which were 18,304 greater than that in 2016. The number of peritoneal dialysis (PD) patients was 9,090 in 2017, which slightly increased compared with 2016. 19.4% of PD patients treated in the combination of hemodialysis(HD) or HDF therapy. 684 patients were treated by home HD therapy at the end of 2017; it increased by 49 from 2016.

I. 2017年日本透析医学会統計調査報告書 総論

緒 言

一般社団法人日本透析医学会は、1968年から毎年末時点におけるわが国の慢性透析療法の現況を調査しており（JSDT Renal Data Registry: JRDR と称す）、この調査では全国の透析療法施設のほぼすべてが対象施設になっている^{1,2)}。本調査は関係施設の無償の協力で行われているにもかかわらず、ほぼ全数調査ともいえる回収率であり、文字通りバイアスのないわが国の慢性透析の現況を表しており、このような調査は世界でも希である。本調査結果を上梓するにあたり、日常臨床の傍ら本調査にご協力いただいた透析施設の皆様にこの場を借りて深く感謝申し上げます。

JRDRの年次報告はこれまで、「図説 わが国の慢性透析療法の現況」（図説現況）と「わが国の慢性透析療法の現況 CD-ROM版」を当該年の翌年の年末に発刊し、翌々年の学会和文誌1月号に論文として掲載されてきた。さらにその英語訳版は約半年遅れで英文学会誌である Renal Replacement Therapy に掲載された（2014年報告以前は Therapeutic Apheresis and Dialysis 誌に掲載）。2015年から図説現況と和文誌掲載論文に収載される図表の編集方針がほとんど同じになったことを受けて、日本透析医学会は JRDR 調査結果の報告方法を検討してきた。その結果、2017年から調査結果はフルカラーで2018年12月号の和文誌に掲載され、図説現況は廃止されることになった。これまで図説現況は施設会員、調査協力施設に1冊のみ配布されてきたが、今後は図説とほぼ同じ内容の年次報告書がすべての施設会員、個人会員に送付されることになり、JRDRの調査結果がより有効に利用されることが期待される。一方、日本透析医学会はウェブ上で自ら条件設定を行い、帳票出力を随意に行えるシステム（Web-based Analysis of Dialysis Data Archives system: WADDA system）を設立した。このシステムにより、会員の JRDR の調査結果利用の利便性が飛躍的に高まり、学会員は常に最新のデータを用いた解析を行うことが可能になった。このような状況を鑑み、現行の「わが国の慢性透析療法の現況 CD-ROM版」の発行は、2019年の調査結果報告をもって終了することとなった。

2017年 JRDR 調査では、わが国の透析治療の大きな特徴といえる、ハイパフォーマンス膜（High-performance membrane: HPM）と近年急激に増加している血液透析濾過（Hemodiafiltration: HDF）の治療条件について詳しい調査が行われた。同様な調査は2008年にも行われており、約10年間で治療技術がどのように変化したのかが注目される。

JRDR 調査の倫理的基盤

2014年12月に厚生労働省と文部科学省から「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が發布され、各学術団体は疫学研究においても倫理的配慮、個人情報保護を厳格に行うことが求められた³⁾。日本透析医学会もこの指針に準拠して、2015年末調査から匿名化を強化し、個人情報保護を徹底するように調査方法を変更した。匿名化強化は特殊なアルゴリズムで患者情報を不規則な英数文字配列に変換し、実名に復元する対応表は透析施設が保有するシステムで、日本透析医学会事務局は患者情報を復元することができない。このような技術的基盤を強化した上で、調査の倫理的妥当性、公正性、透明性を担保するために、2015年3月に倫理委員会の審査を受け（日本透析医学会倫理委員会承認番号1）、倫理審査終了後 UMIN 臨床試験登録システムに公開し（UMIN000018641）、これらの結果を一括して上述の学会ホームページに掲載した⁴⁾。

調査方法

1. 調査票の送付と回収

JRDR 年次調査は透析ベッド数、スタッフ数、患者数などを調べる施設調査票と、その透析施設の個々の患者の透析条件や検査所見、アウトカム指標などを調べる患者調査票の2種類がある。2017年の統計調査では、Excelで

作成された施設調査票と匿名化された2016年の患者調査票が格納されたUSBメモリを、2017年12月に全国の透析施設に郵送した。各透析施設は2015年に送付した対応表USBメモリを用い実名復元を行った上で、生存死亡、転院などの転帰記載やその他のデータの更新を行った。さらに新規患者の登録を行い、すべての患者の記載が終了した時点で、再度対応表USBメモリを用いて匿名化処理を行った。各透析施設は患者個人情報完全に匿名化されたことを確認した後、調査票USBメモリのみを日本透析医学会事務局に返送した。紙媒体の患者調査は2015年調査から廃止した。データの初回締め切りは2018年1月31日に設定したが、その後返送のない施設への調査協力督促を行い、6月30日の最終回収をもって2017年末データへの組み入れを終了した。

2. 調査項目

2017年調査では以下の項目が調査された。

■施設調査

1. 施設概略・規模

- ・施設コード、施設名、透析開始年月
- ・透析能力：同時透析能力、最大収容能力、透析コンソール台数、エンドトキシン捕捉フィルター（endotoxin retentive filter: ETRF）装着コンソール台数

2. 患者動態

- ・2017年末透析患者数（治療方法別患者数（通院・入院））
- ・2017年透析患者数のうち夜間透析患者数
- ・2017年新規導入患者数（HD(F)で新規導入した患者数、PDで新規導入した患者数）
- ・2017年死亡患者数

3. 透析液水質管理状況

- ・透析液エンドトキシン濃度測定頻度と測定値
- ・透析液生菌数測定頻度と生菌数
- ・透析用水のための供給水源
- ・始業前残留塩素測定頻度と測定方法
- ・日本透析医学会水質基準（化学的汚染基準）の認知、測定頻度数

■患者調査

1. 患者固有情報

- ・性別、生年月日、導入年月、原疾患、在住県、転入年月、転入前施設コード、転帰区分、（転出・死亡・離脱・移植）年月、転出先施設コード、死因、患者情報変更/訂正区分、治療方法、HD/HDF等とPD併用療法の状況、PD経験の有無、腎移植の回数、バスキュラーアクセスの種類

2. HD/HDFの治療条件

- ・週透析回数、透析時間、血流量
- ・HDF：希釈方法、1セッションあたりの置換液量
- ・血液浄化器の膜素材と機能分類、膜面積
- ・身長、透析前後体重、透析前収縮期血圧、透析前拡張期血圧、透析前脈拍

3. 検査所見

- ・透析前後血液尿素窒素濃度（BUN）、透析前後血清クレアチニン濃度、透析前血清アルブミン濃度、透析前血清C反応蛋白（CRP）濃度、透析前血清カルシウム濃度、透析前血清リン濃度、血清副甲状腺ホルモン（PTH）濃度測定方法、PTH濃度（intact PTH・whole PTH）、透析前ヘモグロビン濃度、血清総コレステロール濃度（総コレステロール）、血清HDL-コレステロール濃度（HDL-C）、透析前後β2-MG濃度

4. アウトカム因子

- ・降圧薬内服の有無、喫煙の有無、糖尿病の既往の有無、虚血性心疾患の既往、脳出血の既往、脳梗塞の

既往，四肢切断の有無，大腿骨近位部骨折の既往，被嚢性腹膜硬化症（EPS）の既往，手根管解放術の既往，入院の有無，入院理由

5. 腹膜透析（PD）調査

- ・治療歴：現在施行中のPD透析歴（PD歴），2017年中のPD実施月数
- ・腹膜機能：腹膜平衡試験（PET）施行の有無，PET4時間値における透析液中クレアチニン濃度と血液クレアチニン濃度の比（PET Cr D/P比）
- ・透析処方：PDで使用される透析液の種類（PD透析液種類），1日のPD透析液使用量（PD液使用量），1日のPD実施時間，1日尿量（尿量），1日平均除水量（除水量），残存腎によるKt/V（残腎Kt/V），PDによるKt/V（PD Kt/V）
- ・透析方法：自動腹膜透析装置（APD）使用の有無，PD透析液交換方法
- ・感染症：年間腹膜炎罹患回数（腹膜炎回数），年間出口部感染罹患回数

3. 原疾患コード，死因コードの修正

2017年度調査においては，疾患分類や用語の変化，レジストリデータの国際比較をより合理的に行うために，原疾患コードと死因コードの細目の改修を行った。

原疾患コードの分類では，Alport症候群などの遺伝性疾患を，「その他の分類不能の腎炎-遺伝性腎炎」から「遺伝性疾患」として独立させ，主な遺伝性疾患を細目にもうけた。さらに，間質性腎炎や自己免疫疾患に伴う腎炎をより合理的な分類を行った。また，急性腎障害の遷延化や外因性腎障害に起因する腎不全にも対応するように新たなコードを設置した（表1）。これらの改変を踏まえて，2016年以前との調査の連続性を慎重に考慮して2017年以降の集計用原疾患分類を確立した（表2）。

死因コードの分類では，心疾患の細目「心内膜炎および弁膜症」を，「弁膜症」「心外膜炎」「心筋症」「その他の心疾患」に修正し，心内膜炎は「感染性心内膜炎」として，感染症に分類した。また，大動脈瘤などを含む「血管疾患」の死因コードを新たに設置した。悪性腫瘍のコードでは，細目を増やして臓器別の悪性腫瘍の発生頻度を把握しやすくした。その他，肝胆膵疾患，肺・呼吸器疾患，血液疾患の死因コードを新設した（表3）。これらの改変を踏まえて，2016年以前との調査の連続性を慎重に考慮して2017年以降の集計用死因分類を確立した（表4）。

4. 調査票回収状況

2017年の統計調査は全国4,413施設を対象に実施され，施設調査票に関しては4,360施設（98.8%）から回答が得られた。回収施設は前年比24施設増，0.6%増であった。患者調査票に関しては4,188施設（94.9%）から回答が得られた。紙媒体による患者調査は，2015年調査から廃止されたが，調査票の回収率には影響を与えなかった。

表 1 原疾患コード新旧対照, 2017

< ~ 2016年 >

疾患名	原疾患コード 生検確認	
	なし	あり
慢性糸球体腎炎	010	011
IgA 腎症	012	013
その他の増殖性腎炎	014	015
膜性腎症	016	017
膜性増殖性腎炎	018	019
慢性腎盂腎炎	020	021
その他の間質性腎炎	022	023
急速進行性糸球体腎炎	030	031
妊娠腎／妊娠中毒症	050	051
その他の分類不能の腎炎	060	061
遺伝性腎炎	062	063
多発性嚢胞腎	070	071

先天性代謝異常に基づく腎不全	140	141
----------------	-----	-----

腎硬化症	080	081
悪性高血圧	090	091
糖尿病性糸球体腎硬化症	100	101
1型糖尿病	102	103
2型糖尿病	104	105
SLE 腎炎	110	111
その他の自己免疫性腎炎	112	113
アミロイド腎	120	121
痛風腎	130	131
腎・尿路結核	150	

腎・尿路結石	160	
腎・尿路腫瘍	170	
閉塞性尿路障害	180	
骨髄腫	190	

腎形成不全	200	
不明	210	
再導入	220	
その他	230	

< 2017年 > 青字は名称変更、赤字は新規分類

疾患名	疾患名（詳細）	原疾患コード 生検確認		集計分類 （集計表に表示する原疾患名）
		なし	あり	
慢性糸球体腎炎	慢性糸球体腎炎	010	011	慢性糸球体腎炎
	IgA 腎症・紫斑病性腎炎	012	013	
	その他の増殖性腎炎	014	015	
	膜性腎症	016	017	
	膜性増殖性糸球体腎炎	018	019	
	巣状糸球体硬化症	240	241	
慢性腎盂腎炎		020	021	慢性腎盂腎炎
間質性腎炎		250	251	間質性腎炎
急速進行性糸球体腎炎 (ANCA 関連腎炎, 抗GBM 抗体腎炎)		030	031	急速進行性糸球体腎炎
妊娠高血圧症候群 (妊娠腎／妊娠中毒症)		050	051	妊娠高血圧症候群
その他の分類不能の腎炎		060	061	その他の分類不能の腎炎
多発性嚢胞腎		070	071	多発性嚢胞腎
遺伝性疾患	Alport 症候群	142	143	遺伝性疾患
	その他遺伝性腎疾患	144	145	
	Fabry 病	146	147	
	その他先天性代謝異常に基づく腎不全	148	149	
腎硬化症		080	081	腎硬化症
悪性高血圧 (高血圧緊急症)		090	091	悪性高血圧
糖尿病性糸球体腎硬化症	糖尿病性糸球体腎硬化症	100	101	糖尿病性腎症
	1型糖尿病	102	103	
	2型糖尿病	104	105	
自己免疫性疾患に伴う腎炎	ループス腎炎	110	111	自己免疫性疾患に伴う腎炎
	その他の自己免疫性疾患に伴う腎炎	112	113	
アミロイドーシスによる腎障害		120	121	アミロイドーシスによる腎障害
痛風腎		130	131	痛風腎
腎・尿路結核		150		腎・尿路結核
ウイルス感染症に伴う腎疾患		260		ウイルス感染症に伴う腎疾患
腎・尿路結石		160		腎・尿路結石
腎・尿路腫瘍		170		腎・尿路腫瘍
閉塞性尿路障害・排尿障害		180		閉塞性尿路障害・排尿障害
パラプロテイン血症 (骨髄腫等*)		190		パラプロテイン血症 (骨髄腫等)
急性腎障害	腎血流障害	270		急性腎障害
	微小血管障害 (TTP, HUS など)	272		
	その他急性腎障害	274		
外因性腎障害	薬剤腎障害	280		外因性腎障害
	コレステロール塞栓症	282		
	その他の外因性腎障害	284		
先天性腎尿路異常 (CAKUT)		200		先天性腎尿路異常
不明		210		不明
移植後再導入		220		移植後再導入
その他		230		その他

* : アミロイドーシス除く

表 2 集計用原疾患分類, 2017

集計分類 (集計表に表示する原疾患名)	疾患名	原疾患コード 生検確認	
		なし	あり
慢性糸球体腎炎	慢性糸球体腎炎	010	011
	IgA 腎症・紫斑病性腎炎	012	013
	その他の増殖性腎炎	014	015
	膜性腎症	016	017
	膜性増殖性糸球体腎炎	018	019
	巣状糸球体硬化症	240	241
慢性腎盂腎炎	慢性腎盂腎炎	020	021
間質性腎炎	間質性腎炎	250	251
急速進行性糸球体腎炎	急速進行性糸球体腎炎 (ANCA 関連腎炎, 抗 GBM 抗体腎炎)	030	031
妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群 (妊娠腎/妊娠中毒症)	050	051
その他の分類不能の腎炎	その他の分類不能の腎炎	060	061
多発性嚢胞腎	多発性嚢胞腎	070	071
遺伝性疾患	Alport 症候群	142	143
	その他遺伝性腎疾患	144	145
	Fabry 病	146	147
	その他先天性代謝異常に基づく腎不全	148	149
腎硬化症	腎硬化症	080	081
悪性高血圧	悪性高血圧 (高血圧緊急症)	090	091
糖尿病性腎症	糖尿病性糸球体腎硬化症	100	101
	1 型糖尿病	102	103
	2 型糖尿病	104	105
自己免疫性疾患に伴う腎炎	ループス腎炎	110	111
	その他の自己免疫性疾患に伴う腎炎	112	113
アミロイドーシスによる腎障害	アミロイドーシスによる腎障害	120	121
痛風腎	痛風腎	130	131
腎・尿路結核	腎・尿路結核	150	
ウイルス感染症に伴う腎疾患	ウイルス感染症に伴う腎疾患	260	
腎・尿路結石	腎・尿路結石	160	
腎・尿路腫瘍	腎・尿路腫瘍	170	
閉塞性尿路障害・排尿障害	閉塞性尿路障害・排尿障害	180	
paraproteinemia (骨髄腫等)	paraproteinemia (骨髄腫等*)	190	
急性腎障害	腎血流障害	270	
	微小血管障害 (TTP, HUS など)	272	
	その他急性腎障害	274	
外因性腎障害	薬剤腎障害	280	
	コレステロール塞栓症	282	
	その他の外因性腎障害	284	
先天性腎尿路異常	先天性腎尿路異常 (CAKUT)	200	
不明	不明	210	
移植後再導入	移植後再導入	220	
その他	その他	230	

* : アミロイドーシス除く

表3 死因コード新旧対照, 2017

< 2010年~2016年 >

死亡原因分類		臨床的確定の有無	
		なし	あり
心疾患	心不全	110	111
	肺水腫 (溢水)	120	121
	急性心筋梗塞 (発症 30 日以内死亡)	130	131
	虚血性心疾患 (急性心筋梗塞以外)	140	141
	不整脈、伝導障害	150	151
	心内膜炎および弁膜症	160	161
	その他の心疾患	100	101
脳血管障害	くも膜下出血	210	211
	脳内出血	220	221
	脳梗塞	230	231
	その他の脳血管疾患	200	201

突然死	高カリウム血症	910	911
	原因不明の突然死	920	921
感染症	敗血症	310	311
	中枢神経系感染症	320	321
	肺炎	330	331
	インフルエンザ	340	341
	尿路感染症	350	351
	消化管・胆道系感染症・腹膜炎	360	361
	劇症 (急性) ウイルス肝炎	370	371
	結核	380	381
	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染症	390	391
	その他の感染症	300	301
悪性腫瘍	中枢神経系の悪性新生物	410	411
	呼吸器系の悪性新生物	420	421
	肝癌	430	431
	肝癌以外の消化器系の悪性新生物	440	441
	乳房の悪性新生物	450	451
	性器の悪性新生物	460	461
	腎の悪性新生物	470	471
	内分泌腺の悪性新生物	480	481
	造血・リンパ組織の悪性新生物	490	491
	その他の悪性新生物	400	401
肝硬変	ウイルス性肝硬変	510	511
	ウイルス性以外の肝硬変	520	521

消化器疾患	腸の血行障害	610	611
	イレウス	620	621
	消化管出血	630	631
	被嚢性腹膜硬化症	640	641
	その他の消化器疾患	600	601
肺梗塞 / 肺塞栓	肺梗塞、肺塞栓症	710	711

悪液質 / 尿毒症 など	悪液質	810	811
	尿毒症	820	821
	認知症	830	831
	その他	800	801

自殺 / 拒否 / 事故 / 災害死	自殺	010	
	治療拒否 (透析拒否)	020	
	災害・事故死	030	031
	その他	080	081
不明	不明	090	

< 2017年 > 青字は名称変更、赤字は新規分類

死亡原因分類		死因コード	集計分類 (集計表に表示する死因名)
心疾患	心不全	110	心不全
	肺水腫 (溢水)	120	
	急性心筋梗塞 (発症 30 日以内死亡)	130	心筋梗塞
	虚血性心疾患 (急性心筋梗塞以外)	140	
	不整脈、伝導障害	150	心不全
	弁膜症*	162	
	心外膜炎	170	
心筋症	180		
その他の心疾患	100		
脳血管障害	くも膜下出血	210	脳血管障害
	脳出血	220	
	脳梗塞	230	
	その他の脳血管疾患	200	
血管疾患	大動脈瘤 (解離性含む)	260	その他
	その他の血管疾患	250	
突然死	高カリウム血症	910	カリウム中毒 / 頓死
	原因不明の突然死	920	
感染症	敗血症	310	感染症
	中枢神経系感染症	320	
	肺炎	330	
	インフルエンザ	340	
	尿路感染症	350	
	消化管・胆道系感染症・腹膜炎	360	
	感染性心内膜炎	164	
	結核	380	
	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染症	390	
	その他の感染症	300	
悪性腫瘍	中枢神経系の悪性新生物	410	悪性腫瘍
	呼吸器系の悪性新生物	420	
	肝細胞癌	430	
	胃の悪性新生物	442	
	結腸・直腸の悪性新生物	444	
	膵臓の悪性新生物	446	
	胆嚢・胆管・胆道の悪性新生物	448	
	上記以外の消化器系の悪性新生物	440	
	乳房の悪性新生物	450	
	性器の悪性新生物	460	
腎細胞癌	472		
腎細胞癌以外の腎尿路系の悪性腫瘍	474		
内分泌腺の悪性新生物	480		
造血・リンパ組織の悪性新生物	490		
その他の悪性新生物	400		
肝胆膵疾患	ウイルス性肝硬変	510	肝硬変症
	非ウイルス性肝硬変	520	
	劇症肝炎	370	
	劇症肝炎以外の急性肝不全	530	
	膵炎	540	
その他の肝胆膵疾患	500	その他	
消化器疾患	腸の血行障害	610	腸閉塞
	イレウス	620	
	消化管出血	630	消化管出血
	被嚢性腹膜硬化症	640	
	消化管穿孔	650	その他
その他の消化器疾患	600	その他	
肺・呼吸器疾患	肺梗塞、肺塞栓症	710	肺疾患
	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)・慢性呼吸不全	720	
	その他肺・呼吸器疾患 (肺炎除く)	700	
血液疾患	骨髄不全	760	血液疾患
	その他の血液疾患	750	
悪液質 / 尿毒症 / 老衰 など	悪液質	810	悪液質 / 尿毒症 / 老衰 など
	尿毒症	820	
	老衰 (年齢以外に明らかな原因を認めないもの)	840	
	認知症	830	
	その他の悪液質 / 尿毒症	800	
内分泌・代謝疾患	内分泌・代謝疾患	850	その他
自殺 / 拒否 / 事故 / 災害死	自殺	010	自殺・拒否
	治療拒否 (透析拒否)	020	
	災害・事故死	030	
	薬物中毒	040	
	治療見合わせ	050	
その他	その他	080	その他
不明	不明	090	不明

* : 従来の (感染性) 心内膜炎については、感染症の中に移動しています。

表4 集計用死因分類表, 2017

* : 末尾「1」は臨床的確認の有無が「あり」.

集計分類 (集計表に表示する死因名)	死因 コード	2017年 死亡原因分類	死因コード (*)		2010～2016年 死亡原因分類
心不全	110	心不全	110	111	心不全
	120	肺水腫（溢水）	120	121	肺水腫（溢水）
	150	不整脈、伝導障害	150	151	不整脈、伝導障害
	162	弁膜症**	160	161	心内膜炎および弁膜症
	170	心外膜炎			
	180	心筋症			
脳血管障害	100	その他の心疾患	100	101	その他の心疾患
	210	くも膜下出血	210	211	くも膜下出血
	220	脳出血	220	221	脳内出血
	230	脳梗塞	230	231	脳梗塞
	200	その他の脳血管疾患	200	201	その他の脳血管疾患
感染症	310	敗血症	310	311	敗血症
	320	中枢神経系感染症	320	321	中枢神経系感染症
	330	肺炎	330	331	肺炎
	340	インフルエンザ	340	341	インフルエンザ
	350	尿路感染症	350	351	尿路感染症
	360	消化管・胆道系感染症・腹膜炎	360	361	消化管・胆道系感染症・腹膜炎
			370	371	劇症（急性）ウイルス肝炎
	380	結核	380	381	結核
	390	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染症	390	391	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染症
	164	感染性心内膜炎			
300	その他の感染症	300	301	その他の感染症	
消化管出血	630	消化管出血	630	631	消化管出血
悪性腫瘍	410	中枢神経系の悪性新生物	410	411	中枢神経系の悪性新生物
	420	呼吸器系の悪性新生物	420	421	呼吸器系の悪性新生物
	430	肝細胞癌	430	431	肝癌
	442	胃の悪性新生物			
	444	結腸・直腸の悪性新生物			
	446	膵臓の悪性新生物	440	441	肝癌以外の消化器系の悪性新生物
	448	胆嚢・胆管・胆道の悪性新生物			
	440	上記以外の消化器系の悪性新生物			
	450	乳房の悪性新生物	450	451	
	460	性器の悪性新生物	460	461	性器の悪性新生物
	472	腎細胞癌			
	474	腎細胞癌以外の腎尿路系の悪性腫瘍	470	471	腎の悪性新生物
	480	内分泌腺の悪性新生物	480	481	内分泌腺の悪性新生物
	490	造血・リンパ組織の悪性新生物	490	491	造血・リンパ組織の悪性新生物
400	その他の悪性新生物	400	401	その他の悪性新生物	
悪液質 / 尿毒症 / 老衰など	810	悪液質	810	811	悪液質
	820	尿毒症	820	821	尿毒症
	840	老衰（年齢以外に明かな原因を認めないもの）			
	830	認知症	830	831	認知症
	800	その他の悪液質 / 尿毒症	800	801	その他の悪液質 / 尿毒症
心筋梗塞	130	急性心筋梗塞（発症30日以内死亡）	130	131	急性心筋梗塞（発症30日以内死亡）
	140	虚血性心疾患（急性心筋梗塞以外）	140	141	虚血性心疾患（急性心筋梗塞以外）
カリウム中毒 / 頓死	910	高カリウム血症	910	911	高カリウム血症
	920	原因不明の突然死	920	921	原因不明の突然死
肝硬変症	510	ウイルス性肝硬変	510	511	ウイルス性肝硬変
	520	非ウイルス性肝硬変	520	521	ウイルス性以外の肝硬変
自殺 / 拒否	010	自殺	010		自殺
	020	治療拒否（透折拒否）	020		治療拒否（透折拒否）
腸閉塞	610	腸の血行障害	610	611	腸の血行障害
	620	イレウス	620	621	イレウス
	640	被嚢性腹膜硬化症	640	641	被嚢性腹膜硬化症
血液疾患	760	骨髄不全			
	750	その他の血液疾患			
肺疾患	710	肺梗塞、肺塞栓症	710	711	肺梗塞、肺塞栓症
	720	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)・慢性呼吸不全			
	700	その他肺・呼吸器疾患（肺炎除く）			
災害・事故死	030	災害・事故死	030	031	災害・事故死
その他	260	大動脈瘤（解離性含む）			
	250	その他の血管疾患			
	370	劇症肝炎			
	530	劇症肝炎以外の急性肝不全			
	540	瘰癧			
	500	その他の肝胆膵疾患			
	650	消化管穿孔			
	600	その他の消化器疾患	600	601	その他の消化器疾患
	850	内分泌・代謝疾患			
	040	薬物中毒			
	050	治療見合わせ			
080	その他	080	081	その他	
不明	090	不明	090		不明

** : 従来の（感染性）心内膜炎については、感染症の中に移動しています。

Ⅱ. 2017年日本透析医学会統計調査報告書 調査結果と考察

第1章 慢性透析療法の現況

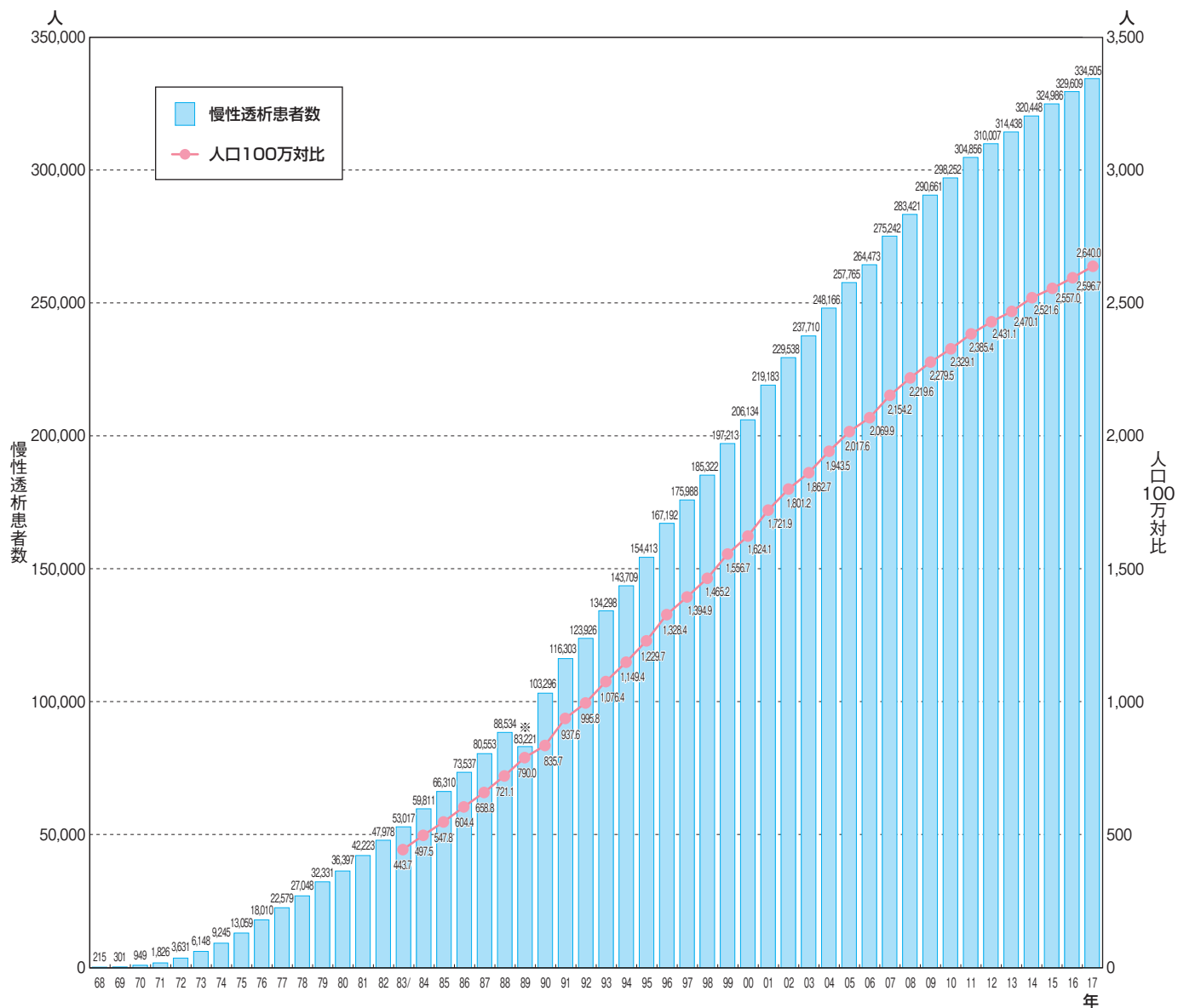
1. 施設動態

2017年のJRDR調査は、全国4,413施設を対象に実施され、施設調査票は4,360施設から回答が得られた。施設調査票の回答施設数は2015年にいったん減少したが（前年比9施設減、0.2%減）、2016年は増加し（15施設増、0.3%増）、2017年はさらに増加した（24施設増、0.6%増）。2015年調査から匿名化強化とそれに伴った紙媒体調査の廃止などから、患者調査票の回答率は一旦低下したが、2017年の時点で施設調査票の回答率は98.8%（4,360施設）、患者調査票の回答率は全体の94.9%（4,188施設）であった（表5）。対象施設の透析コンソールは137,248台、同時透析可能人数は135,636人、最大収容能力は450,838人であり、それぞれ2016年末と比較して、1.5%、1.6%、1.5%の増加であった。透析コンソール台数は、年々増加している（補足表1）。

表5 わが国の慢性透析療法の要約，2017

調査対象施設数		4,413 施設	(17 施設増 0.4%増)	
回収施設数		4,360 施設	(24 施設増 0.6%増)	
設備	透析コンソール台数	137,248 台	(2,037 台増 1.5%増)	
能力	同時透析能力	135,636 人	(2,136 人増 1.6%増)	
	最大収容能力	450,838 人	(6,646 人増 1.5%増)	
慢性透析患者		334,505 人	(4,896 人増 1.5%増)	
※慢性透析患者の総数は、施設調査票 患者総数欄の合計であり、患者調査票より算出した透析歴別患者数の合計とは必ずしも一致しない。				
人口100万対比		2,640.0 人	(43.3 人増)	
治療方法		通院	入院	合計
血液透析等	血液透析 (HD)	203,024 (66.7%)	25,065 (83.0%)	228,089 (68.2%)
	血液透析濾過 (HDF)	90,537 (29.8%)	4,603 (15.2%)	95,140 (28.4%)
	血液濾過 (HF)	21 (0.0%)	19 (0.1%)	40 (0.0%)
	血液吸着透析	1,407 (0.5%)	55 (0.2%)	1,462 (0.4%)
	在宅血液透析	683 (0.2%)	1 (0.0%)	684 (0.2%)
腹膜透析等	腹膜透析 (PD)	6,946 (2.3%)	379 (1.3%)	7,325 (2.2%)
	PD+週1回HD(F)等との併用	1,475 (0.5%)	30 (0.1%)	1,505 (0.4%)
	PD+週2回HD(F)等との併用	152 (0.0%)	3 (0.0%)	155 (0.0%)
	PD+週3回HD(F)等との併用	25 (0.0%)	12 (0.0%)	37 (0.0%)
	上記以外の併用	47 (0.0%)	21 (0.1%)	68 (0.0%)
小計		8,645 (2.8%)	445 (1.5%)	9,090 (2.7%)
2017年末透析患者総数		304,317 (100.0%)	30,188 (100.0%)	334,505 (100.0%)
2017年末透析患者のうち、夜間透析患者数		31,916 人	(515 人減)	
2017年 新規導入患者数	HD(F)等で新規導入	38,842 人		
	PDで新規導入	2,117 人		
	合計	40,959 人	(1,615 人増 4.1%増)	
2017年透析患者死亡数		32,532 人	(742 人増 2.3%増)	

(施設調査による集計)

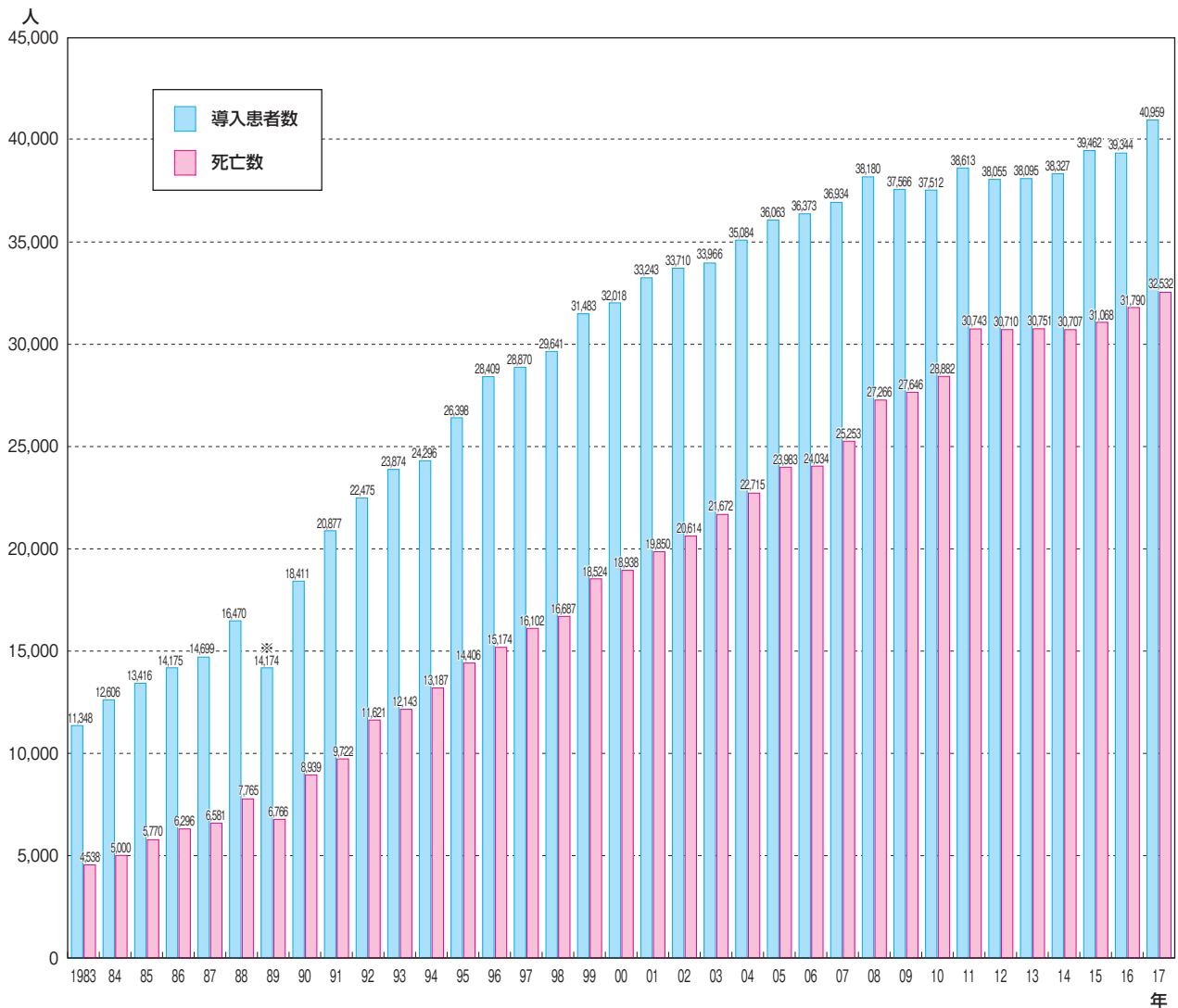


※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響である

図1 慢性透析患者数（1968-2017）と有病率（人口100万対比，1983-2017）の推移

2. 患者動態

施設調査票に基づく2017年末の慢性透析療法を受けている患者総数は334,505人であり、これは透析治療を受ける慢性腎臓病患者の有病数（prevalence）を表している。透析患者数は年々増加傾向であったが、近年患者数の伸びが鈍化している。2017年は前年比、4,896人増であった（図1，補足表1）。2012年に中井ら⁵⁾により行われた透析患者数の将来予測では、2021年の約34万9千人をピークに患者数が減少すると予測されている。人口100万人あたりの透析患者数は有病率（prevalence rate）を示す（図1，補足表1）。この有病率は年々増加傾向であり、2017年は人口100万人あたり2,640人で、国民378.8人に1人が透析患者であることになる。米国腎臓データシステム（United State Renal Data System: USRDS）によれば、透析患者の有病率は台湾が世界で最も高く、日本はそれに次いで世界2位である⁶⁾。



※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響である

図2 導入患者数および死亡患者数の推移，1983-2017

一方、新規透析導入患者数は透析療法を受ける慢性腎臓病患者の罹病数（incidence）を表し、年々増加傾向を示している。この増加は2008年以降やや横ばいとなったものの、2015年以降また増加傾向となり2017年は40,959人であった（図2、補足表2）。このうちHD(F)等での導入は94.8%、PDでの導入は5.2%であった（表5）。一方、各年の死亡患者数も年々増加傾向であり、2011年以降はほぼ横ばいになったが、2015年以降再び増加傾向となり、2017年の死亡患者数は32,532人であった（図2、補足表2）。一般的に、前年度の患者数に導入患者を加え、死亡患者を差し引いた数が当該年度の患者数と考えられる。しかし、移植による透析離脱患者が含まれないことや、導入患者数を過大評価したり死亡患者数を過小評価している可能性があり、計算上の患者数と実際の患者数は一致していない。

都道府県別の透析患者数を表6に示す。表中の都道府県集計は、患者居住地ではなく施設所在地による集計であるため、厳密に都道府県別の患者動態を反映していないことに注意が必要である。有病率（人口100万人あたりの透析患者数）は、地域によりかなり異なる。これらの地域差には非常に多くの因子が複雑に交絡しているため、都道府県の比較は慎重に行われなければならない。

表6 都道府県別の透析患者数および治療形態，2017

都道府県名	調査対象施設数	施設調査票回収施設数	血液透析等					腹膜透析等				計	人口100万あたり患者数	
			血液透析(HD)	血液透析濾過(HDF)	血液濾過(HF)	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析(PD)	週1回のHD(F)等との併用	週2回のHD(F)等との併用	週3回のHD(F)等との併用			上記以外の併用
北海道	261	260	9,659	5,533	0	81	10	309	67	4	3	9	15,675	2,946.4
青森県	40	40	1,718	1,791	0	8	3	53	9	2	0	0	3,584	2,804.4
岩手県	44	44	2,701	365	0	11	0	81	12	1	0	0	3,171	2,526.7
宮城県	63	63	4,152	1,477	0	14	1	64	10	2	0	2	5,722	2,463.2
秋田県	43	42	1,483	618	0	4	2	50	3	0	0	0	2,160	2,168.7
山形県	36	35	1,753	834	0	4	12	44	7	4	1	0	2,659	2,412.9
福島県	69	67	3,343	1,498	0	20	0	80	29	12	1	0	4,983	2,647.7
茨城県	86	84	6,090	1,823	0	36	13	71	16	0	2	1	8,052	2,784.2
栃木県	77	75	4,589	1,307	0	14	3	96	18	1	0	0	6,028	3,080.2
群馬県	63	63	4,380	1,514	0	0	11	46	16	0	2	0	5,969	3,045.4
埼玉県	189	187	11,649	6,126	1	66	77	243	76	11	2	1	18,252	2,496.9
千葉県	154	153	10,220	4,855	1	32	9	193	63	4	3	2	15,382	2,462.7
東京都	435	429	19,926	10,800	5	161	97	896	247	12	3	7	32,154	2,342.9
神奈川県	262	259	15,194	5,251	16	71	27	519	75	1	1	1	21,156	2,309.9
新潟県	54	54	4,285	762	1	22	1	150	20	1	1	1	5,244	2,313.2
富山県	42	42	1,924	501	0	11	3	94	14	1	1	0	2,549	2,413.8
石川県	41	41	2,108	525	0	24	5	68	7	0	0	0	2,737	2,386.2
福井県	25	24	1,030	658	0	5	3	81	20	6	0	1	1,804	2,315.8
山梨県	33	33	1,436	839	0	5	2	27	11	0	0	2	2,322	2,821.4
長野県	73	73	3,273	1,919	0	14	16	83	16	5	0	0	5,326	2,565.5
岐阜県	72	72	3,868	1,031	0	30	26	67	14	1	0	0	5,037	2,508.5
静岡県	124	124	6,562	4,435	1	43	20	97	22	6	0	1	11,187	3,044.1
愛知県	194	193	13,598	3,870	0	93	47	588	100	3	0	0	18,299	2,431.8
三重県	53	50	3,266	679	0	21	6	56	12	0	0	0	4,040	2,244.4
滋賀県	40	39	2,186	857	0	27	31	109	27	0	0	0	3,237	2,290.9
京都府	79	78	4,637	1,646	0	85	11	159	62	6	1	3	6,610	2,543.3
大阪府	321	316	16,428	6,648	2	158	43	427	83	7	2	3	23,801	2,697.6
兵庫県	200	197	8,944	4,716	9	97	73	154	33	9	1	0	14,036	2,550.6
奈良県	45	45	2,093	1,089	1	33	8	109	31	1	2	0	3,367	2,497.8
和歌山県	48	47	2,429	473	0	15	28	49	7	0	0	0	3,001	3,175.7
鳥取県	26	26	892	583	0	3	2	47	10	0	0	0	1,537	2,720.4
島根県	29	28	780	799	0	1	1	58	9	1	0	0	1,649	2,407.3
岡山県	67	67	3,205	1,670	0	27	5	172	9	4	0	0	5,092	2,670.2
広島県	99	98	4,588	2,709	1	31	31	212	55	40	5	1	7,673	2,712.3
山口県	61	57	1,874	1,510	0	6	1	73	25	1	1	1	3,492	2,524.9
徳島県	38	38	1,491	1,107	0	7	5	128	36	2	0	1	2,777	3,737.6
香川県	48	48	1,484	997	0	8	9	150	39	0	1	1	2,689	2,780.8
愛媛県	53	53	2,206	1,623	0	9	0	91	27	0	1	16	3,973	2,912.8
高知県	39	38	1,288	1,084	0	7	0	15	3	0	1	0	2,398	3,358.5
福岡県	198	195	11,634	2,481	1	47	16	666	45	2	1	1	14,894	2,916.4
佐賀県	36	36	1,812	624	0	6	1	10	5	0	0	0	2,458	2,983.0
長崎県	63	62	3,181	681	0	18	15	108	8	0	0	1	4,012	2,963.1
熊本県	89	89	5,239	1,065	0	34	3	132	24	0	1	1	6,499	3,682.2
大分県	70	67	3,144	593	0	9	4	117	29	4	0	0	3,900	3,385.4
宮崎県	65	64	3,139	665	0	6	0	63	1	0	0	3	3,877	3,560.1
鹿児島県	94	94	4,334	933	1	24	1	116	29	1	0	5	5,444	3,348.1
沖縄県	72	71	2,874	1,576	0	14	2	104	24	0	0	3	4,597	3,185.7
合計	4,413	4,360	228,089 (68.2)	95,140 (28.4)	40 (0.0)	1,462 (0.4)	684 (0.2)	7,325 (2.2)	1,505 (0.4)	155 (0.0)	37 (0.0)	68 (0.0)	334,505 (100.0)	2,640.0

(施設調査による集計)

3. 透析治療形態

2017年の透析治療方法の全体に占める割合は、血液透析（hemodialysis: HD）は68.2%、血液透析濾過（hemodiafiltration: HDF）は28.4%、血液濾過（hemofiltration: HF）は0.01%、血液吸着透析は0.4%、在宅血液透析（home hemodialysis: HHD）は0.2%、腹膜透析（peritoneal dialysis: PD）は2.7%であった（表5）。わが国の治療形態の特徴として、2012年の診療報酬の改定以降 on-line HDF が急激に増加しており、2017年はHDF全体で95,140人に達した。一方、PD患者数は9,090人と昨年の9,021人から微増し、そのうち19.4%がHD(F)との併用療法であった。HHDの患者数は684人で小幅であるが増加傾向である。PDとHHDを足したわが国の在宅透析の合計の比率は2.9%であり、これらは先進諸国の中では最も低い部類に入る⁶⁾。都道府県別の治療形態にもまた地域差を認めたと、医療事情などさまざまな因子による影響を受けると考えられる（表6）。

夜間透析患者数は2014年調査までは41,000～42,000人で推移してきたが、2015年に33,370人、2016年は32,431人、2017年は31,916人と減少傾向を示している（表5）。これは、2015年調査において、夜間透析患者の定義を「保険で認められる時間帯（午後5時以降開始もしくは午後9時以降終了）の透析です。」と追記したことが影響した可能性がある。

第2章 2017年末慢性透析患者の動態

1. 臨床背景

患者調査票において性別、年齢が記載されていた2017年末時点での321,516人について、男性は208,870人、女性は112,646人であった（図3、補足表3）。平均年齢は68.43歳で、年々増加傾向を示している（図4、補足表4）。最も割合が高い年齢層は男女とも65～69歳であった。年齢別患者数の経年推移をみると、導入患者の高齢化を反映して65歳未満の患者数は2012年から減少している。つまり、わが国の慢性透析患者数の増加は、65歳以上の患者数の増加によるものであることがわかる（図5、補足表5）。

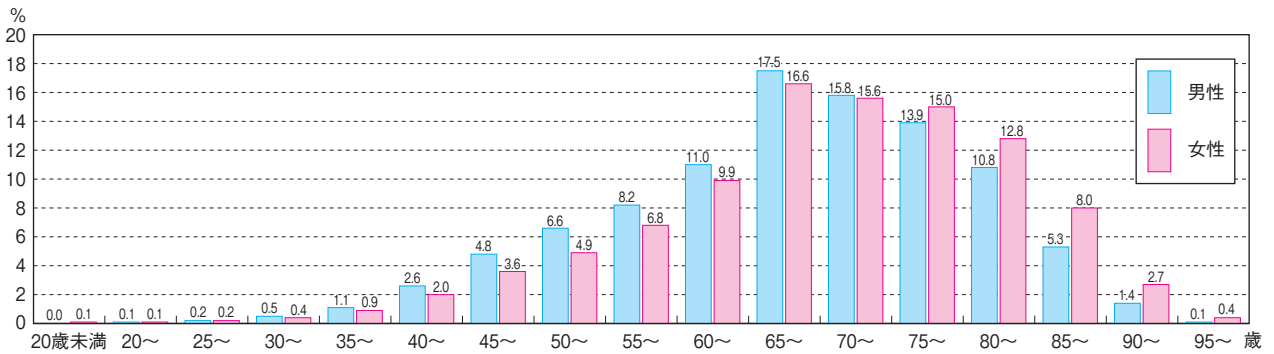


図3 慢性透析患者 年齢と性別, 2017

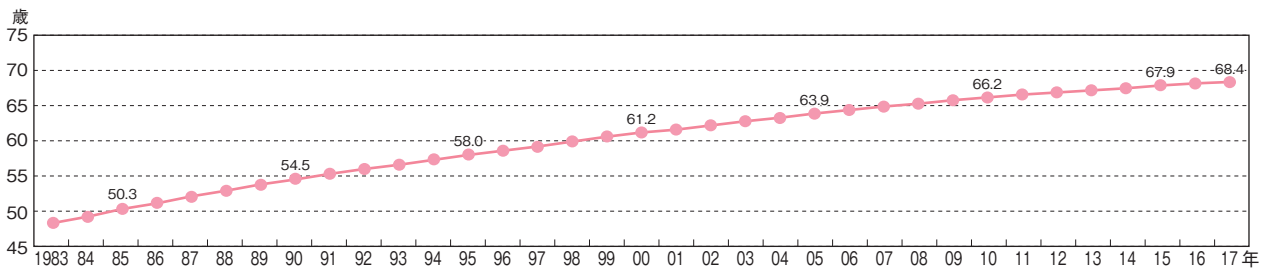


図4 慢性透析患者 平均年齢の推移, 1983-2017

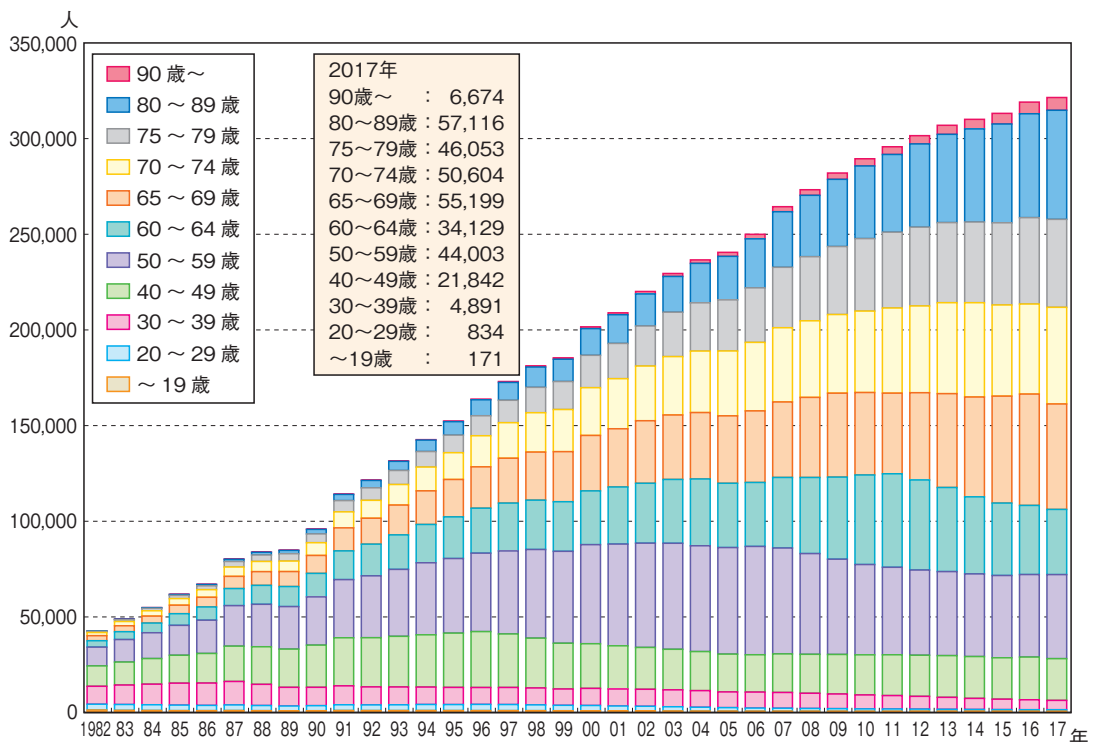


図5 慢性透析患者 年齢分布の推移, 1982-2017

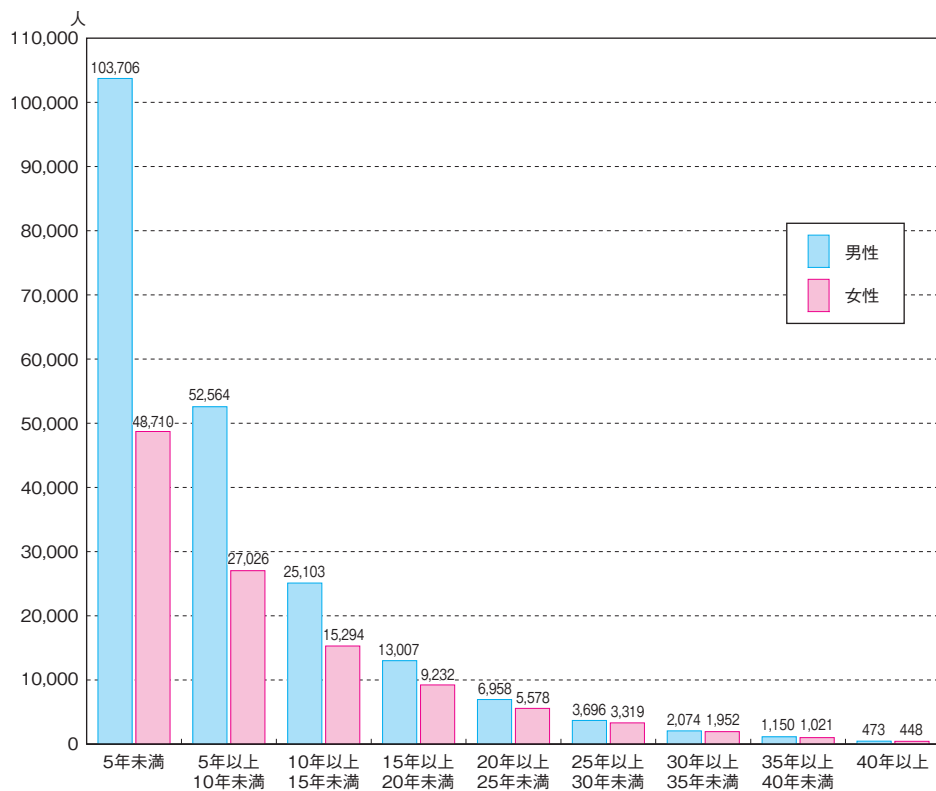


図 6 慢性透析患者 透析歴と性別, 2017

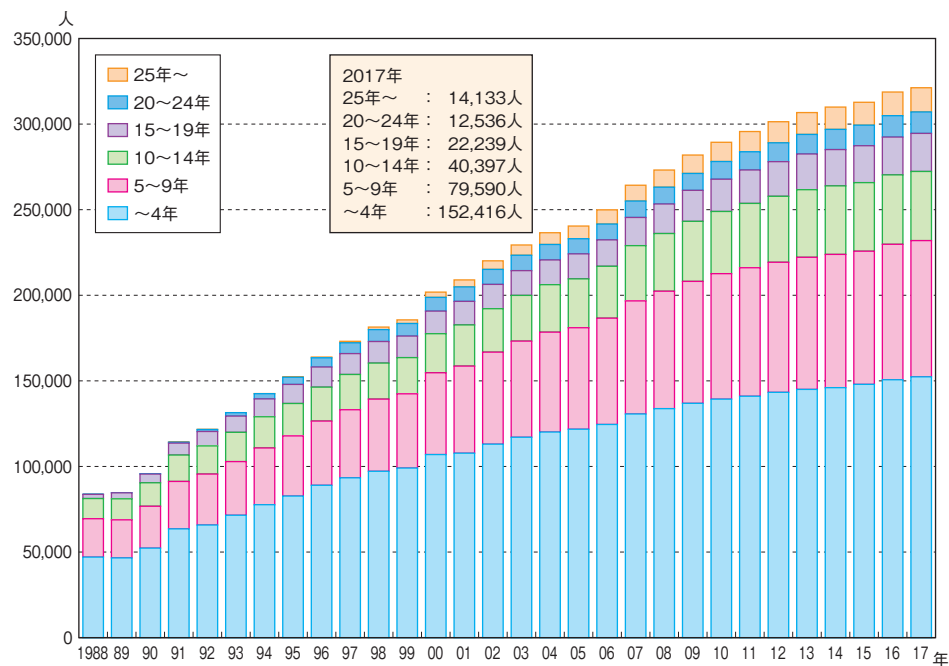


図 7 慢性透析患者 透析歴分布の推移, 1988-2017

2017年末時点の慢性透析患者の平均透析歴は男性6.82年、女性8.30年、全体で7.34年であった。透析歴を層別に比較してみると、透析歴5年未満が全体の47.4%を占め、透析歴20年以上は8.3%、30年以上が2.2%、40年以上が0.3%であった（図6、補足表6）。最長透析歴は49年4か月であった。透析歴別患者数の年次推移をみると、透析歴の長い患者が増加し、10年以上の透析歴を持つ患者が27.8%に達している。1992年末には1%に満たなかった透析歴20年以上の患者は、2017年末には8.3%に達している（図7、補足表7）。

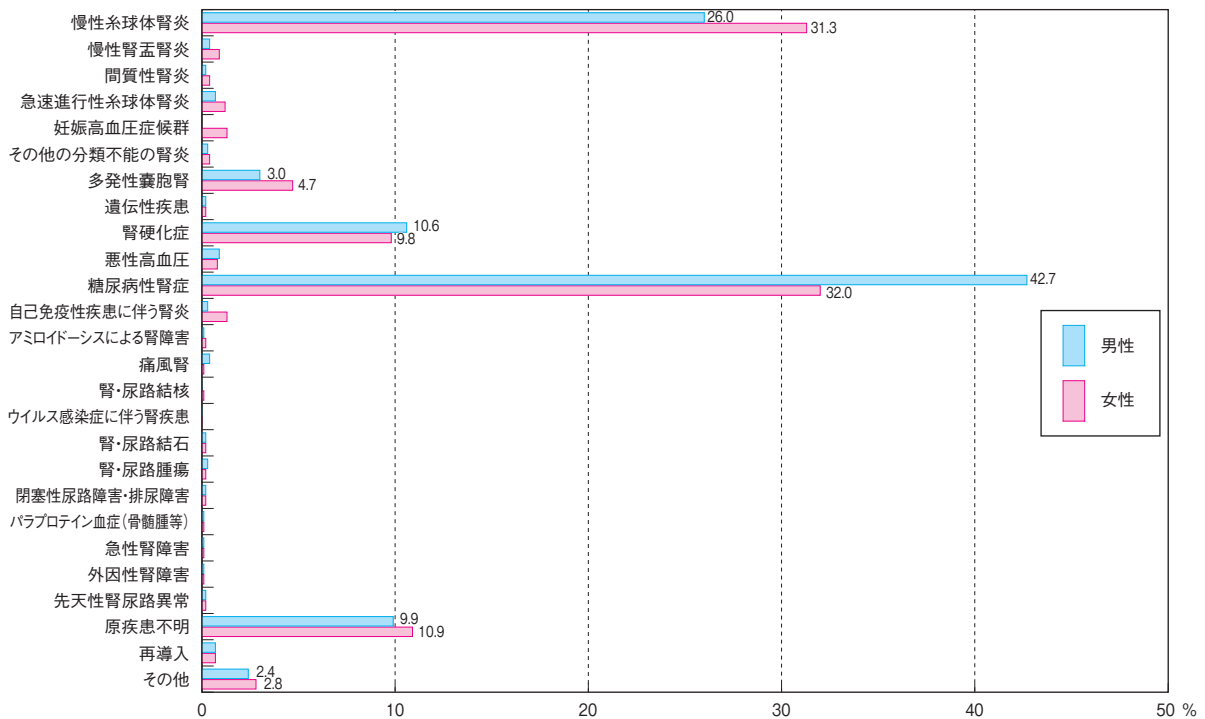


図 8 慢性透析患者 原疾患と性別, 2017

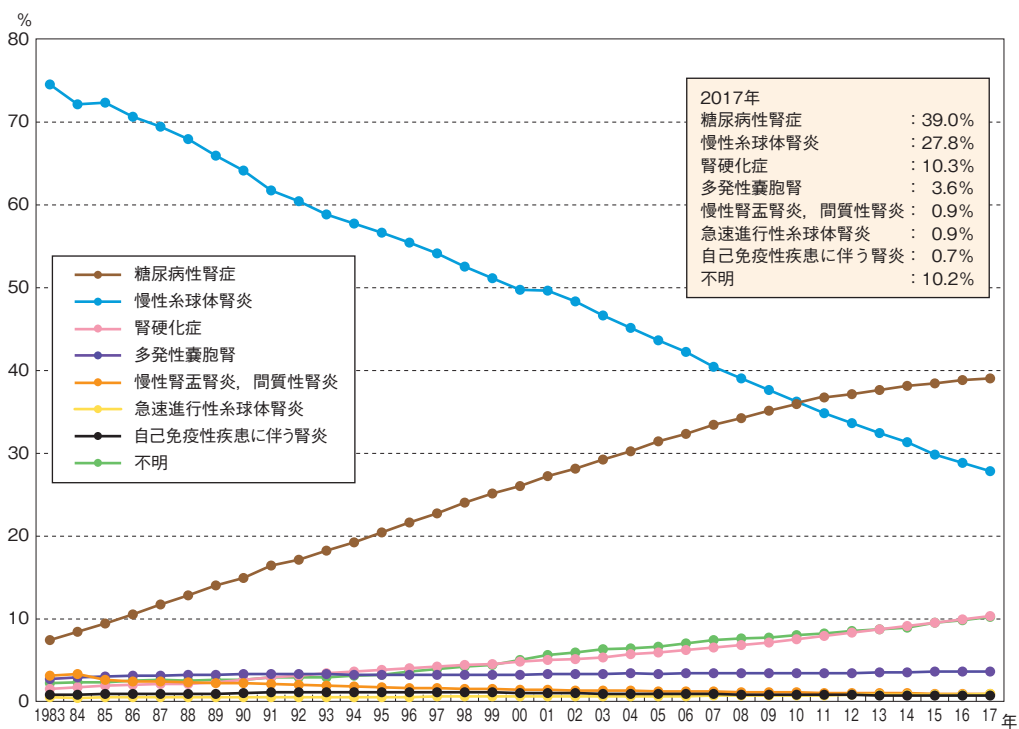


図 9 慢性透析患者 原疾患割合の推移, 1983-2017

2017年末時点の慢性透析患者の原疾患で最も多いのは糖尿病性腎症の39.0%で、次いで慢性糸球体腎炎が27.8%、腎硬化症が10.3%であった（図8、補足表8）。原疾患の推移では、糖尿病性腎症の占める割合が持続的に上昇し、2011年調査において慢性糸球体腎炎に代わって原疾患の第1位になった。その後も持続的にその割合は上昇したが、近年その上昇速度は減速している。慢性糸球体腎炎は直線的に減少し、腎硬化症、原疾患不明は持続的に上昇している（図9、補足表9）。なお、原疾患コードは今回の2017年末調査で一部変更したことに注意が必要である。

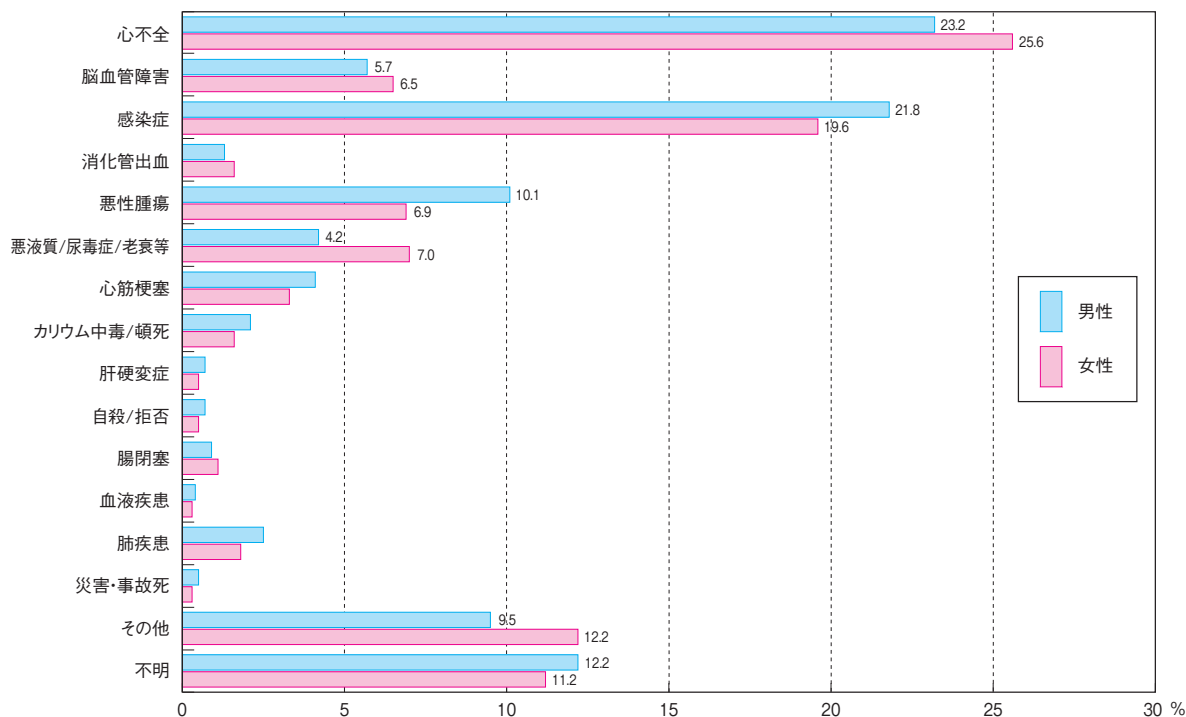


図 10 慢性透析患者 死亡原因と性別, 2017

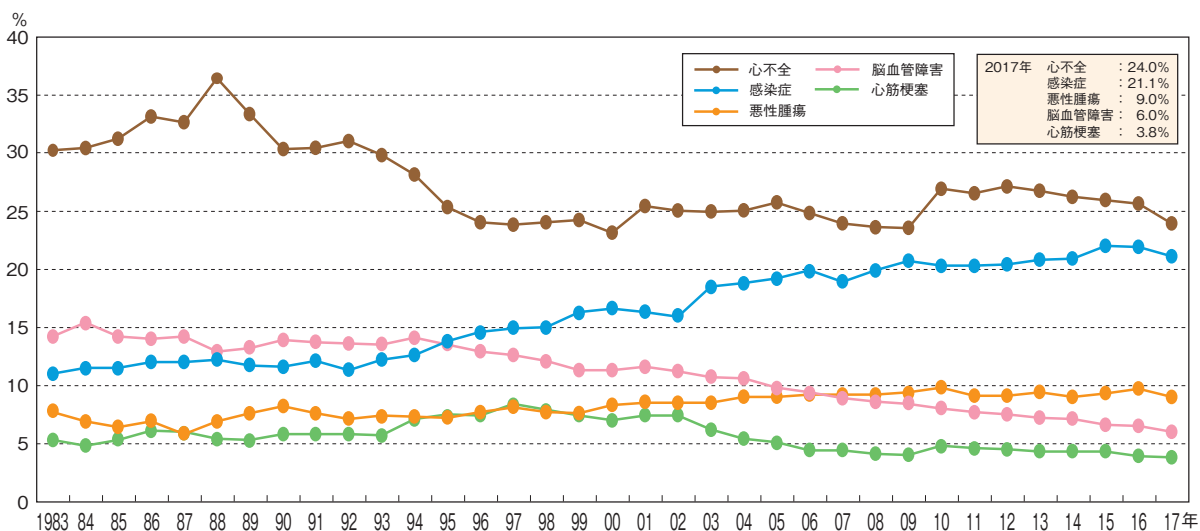


図 11 慢性透析患者 死亡原因割合の推移, 1983-2017

2. 死亡原因

2017年の施設調査票では、32,532人の死亡が報告されていたが、患者調査票において死亡原因と性別が記載された患者数は31,139人であった。死亡原因は多い順から心不全、感染症、悪性腫瘍、脳血管障害であり、それぞれ全体の24.0%、21.1%、9.0%、6.0%であった。その他は全体の10.4%であった。心不全、脳血管障害、心筋梗塞を併せた「心血管死」の割合は、33.8%であった（図10、補足表10）。

死亡原因の推移では、1983年から心不全による死亡が最も多く、1995年以降、25%前後で推移している。一方、感染症による死亡は1993年以降、増加傾向にある。脳血管障害は1994年以降一貫して漸減している。心筋梗塞による死亡は、1997年の8.4%をピークに漸減傾向である。悪性腫瘍死は1987年の5.8%を底に少しずつ増加していたが、2004年に9.0%台になってからは一定している。前述した心血管死の割合は、1988年には54.8%であったが一貫して減少し、2017年には33.8%であった（図11、補足表11）。なお、本調査における死亡原因分類コードは、2003年末、2010年末、今回の2017年末調査の3回改訂されていることに注意が必要である⁷⁾。

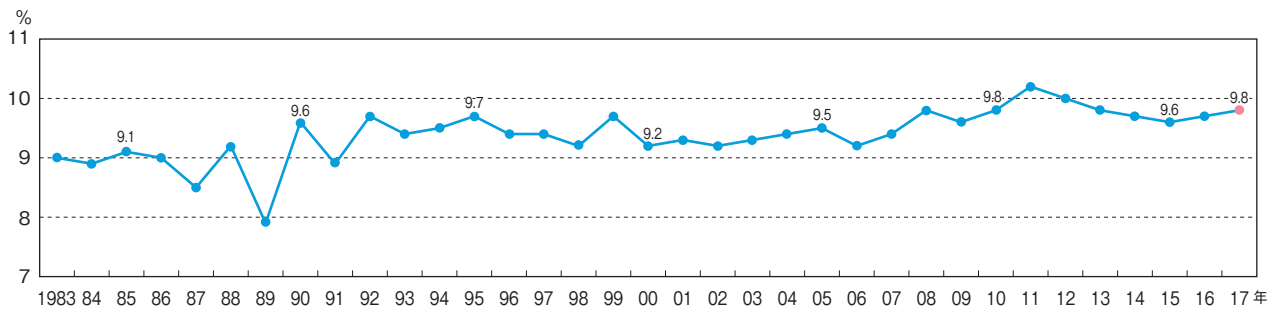


図 12 慢性透析患者 粗死亡率の推移, 1983-2017

3. 粗死亡率

施設調査における患者動態から年間粗死亡率を計算した。

$$\text{粗死亡率} = \left\{ \frac{\text{死亡数}}{(\text{前年患者数} + \text{調査年患者数}) \div 2} \right\} \times 100 (\%)$$

粗死亡率は、アンケート回収率が低かった1989年の7.9%が最低値を示したが、概ね9～10%で推移し、2017年末は9.8%であった（図12、補足表12）。

第3章 2017年透析導入患者の動態

1. 臨床背景

患者調査票に記載された2017年の導入患者において、年齢と性別の記載が確認された患者数は38,786人で、男性は26,677人、女性は12,109人であった（図13、補足表13）。導入患者全体の平均年齢は69.68歳、男性68.90歳、女性71.41歳であり、年々高齢化している（図14、補足表14）。導入患者を5歳刻みで層別化すると、最も割合が高い年齢層は男性が75～79歳で、女性は80～84歳であった。

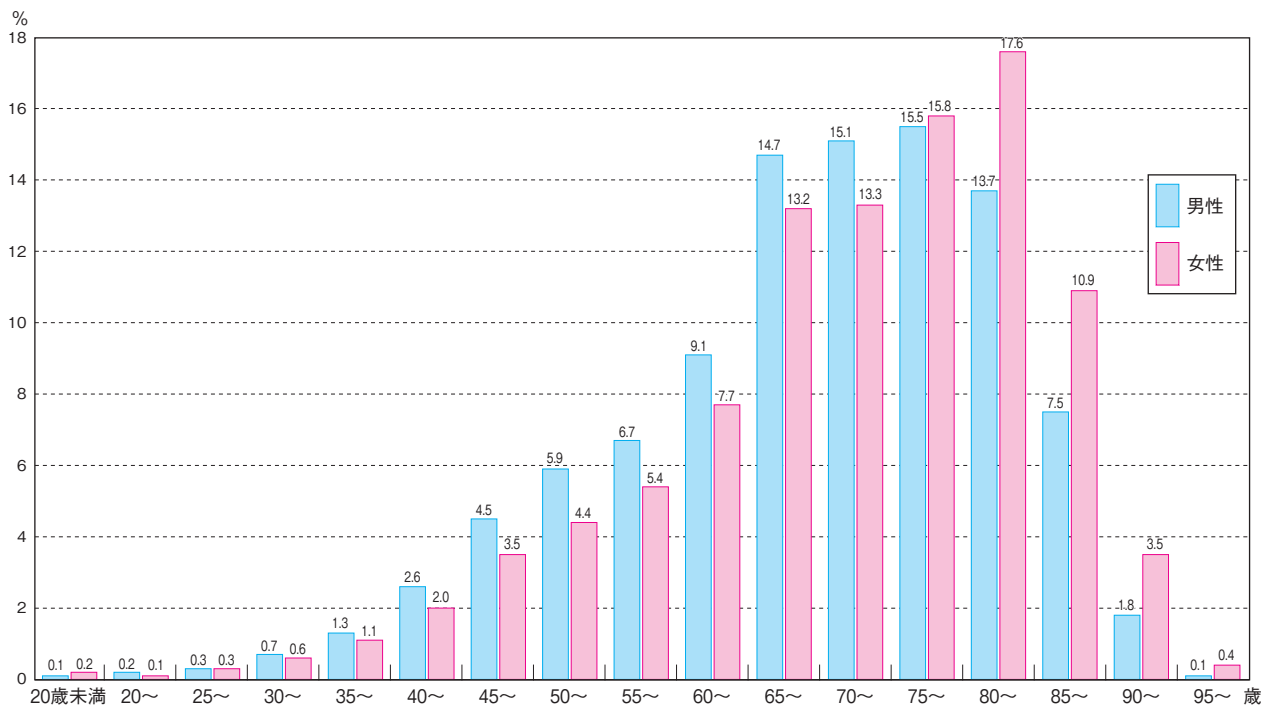


図13 導入患者 年齢と性別, 2017

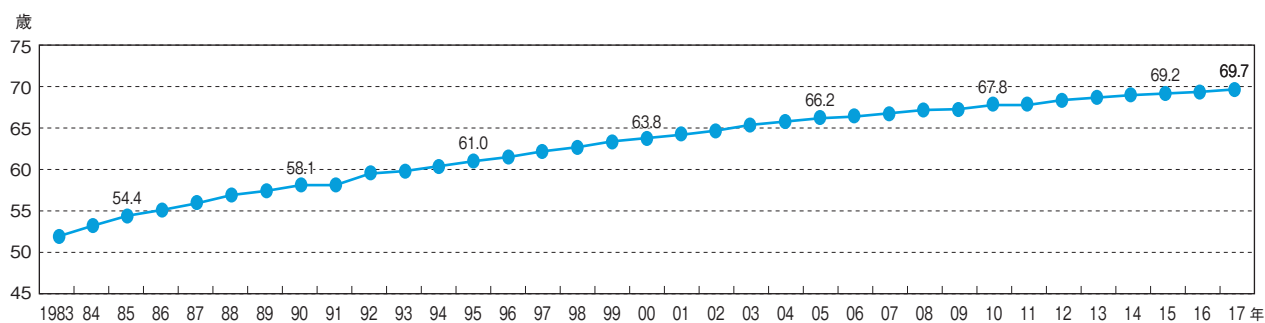


図14 導入患者 平均年齢の推移, 1983-2017

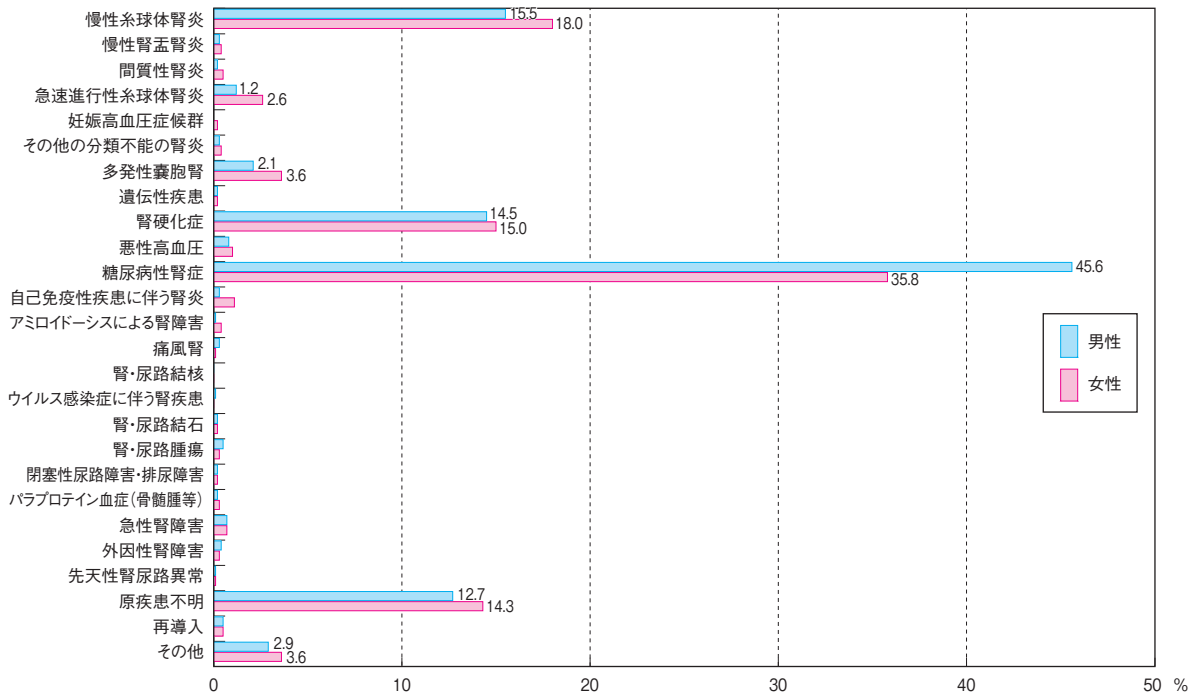


図 15 導入患者 原疾患と性別, 2017

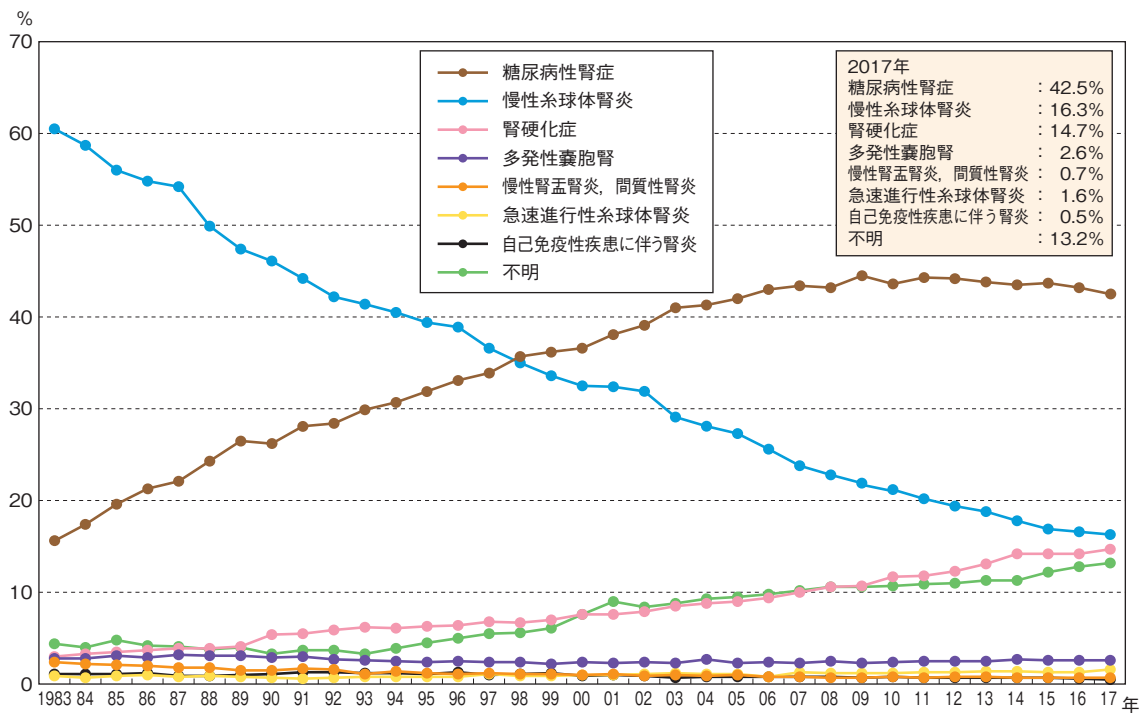


図 16 導入患者 原疾患割合の推移, 1983-2017

2017年導入患者の原疾患で最も多いのは糖尿病性腎症で42.5%、次いで慢性糸球体腎炎の16.3%、腎硬化症の14.7%であり、原疾患不明は13.2%であった（図15、補足表15）。

導入患者の原疾患は、1998年に慢性糸球体腎炎に代わって、糖尿病性腎症が原疾患の第1位になって以来、一貫して増加していたが、近年はほぼ横ばいで推移している。慢性糸球体腎炎の割合は直線的に低下している。一方、腎硬化症および原疾患不明の割合は年々上昇している（図16、補足表16）。

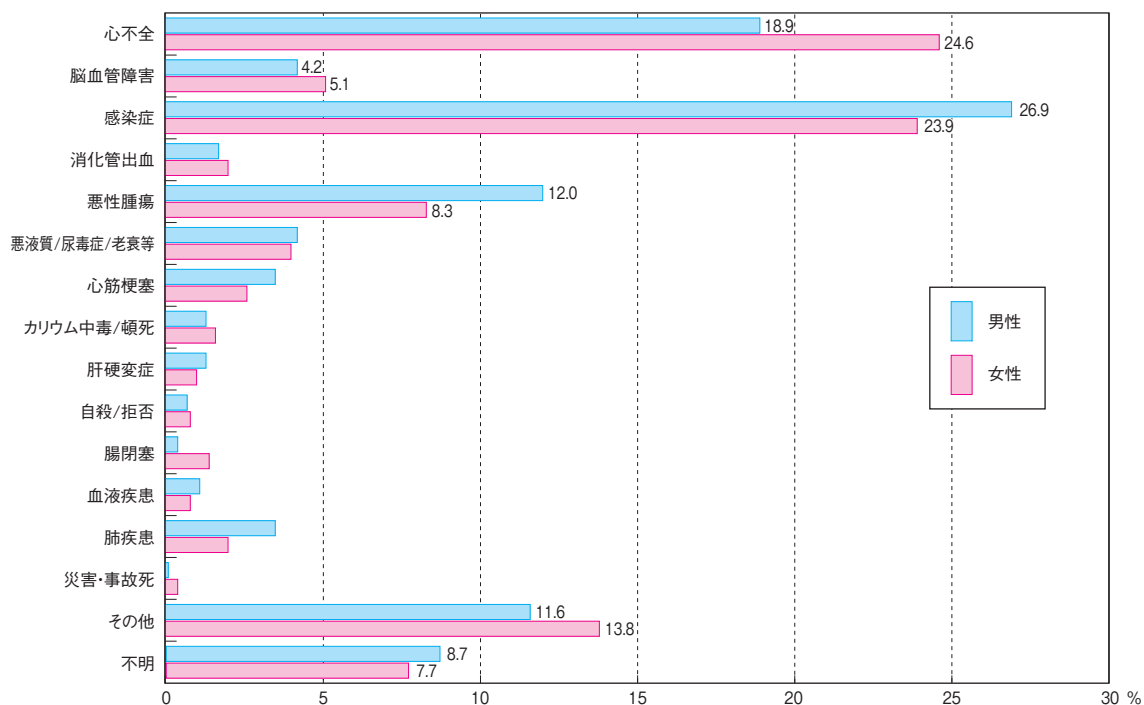


図 17 導入患者 死亡原因と性別, 2017

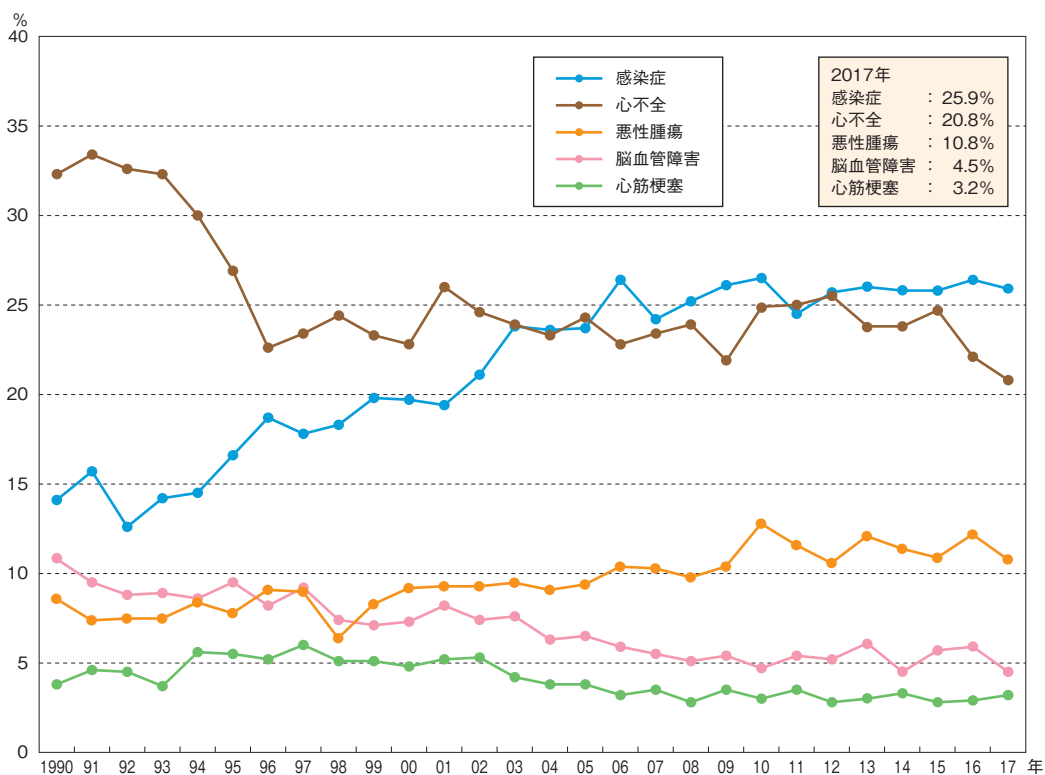


図 18 導入患者 死亡原因割合の推移, 1990-2017

2. 死亡原因

2017年導入患者の導入年内の死亡原因は、全体では感染症が25.9%と最も多く、次いで心不全が20.8%、悪性腫瘍が10.8%、脳血管障害が4.5%、心筋梗塞が3.2%であった。心血管死の合計は28.5%であった（図17、補足表17）。心不全は、2016年2017年と連続して減少しており、今後の推移を注視したい。透析導入年内の死亡原因の推移をみると、1990年代は心不全が最も多かったが、感染症が徐々に増加し、2006年頃から感染症が心不全を上回り、最も多い死因となった。悪性腫瘍による死亡も増加傾向であり、2006年以降、その割合は10%を超えている。脳血管障害による死亡は、徐々に減少傾向を示している（図18、補足表18）。

第4章 透析液水質管理

1. 背景および対象

日本透析医学会統計調査では2006年から、透析液の細菌学的水質とその管理状況の調査を開始した。その調査結果をもとに、2008年に透析液の細菌学的水質基準を改定し⁸⁾、さらに2016年に生化学的汚染基準が追加された⁹⁾。これらの基準では透析液の細菌学的水質をエンドトキシン (endotoxin: ET) 濃度と生菌数の両者で評価している。両者とも最低月1回以上の頻度で行い、透析コンソールは月最低1台以上で、全コンソールを最低年1回以上は検査するよう定めている。透析治療に用いる必要最低限の水質を「標準透析液」として規定し、透析液 ET 濃度 0.05 EU/mL 未満かつ生菌数 100 cfu/mL 未満と定めた。さらに「超純粋透析液 (ultrapure dialysis fluid: UPD)」を透析液 ET 濃度 0.001 EU/mL 未満 (測定感度未満) かつ生菌数 0.1 cfu/mL 未満で定義し、すべての透析治療に UPD の使用を推奨した。この基準は制定当時も、2017年時点においても世界で最も厳しい透析液水質基準である。

さらに2010年のわが国の診療報酬改定において、透析液水質加算が新設され、2010年の調査から透析液水質管理状況が飛躍的に向上した⁷⁾。2015年には統計調査による透析液 ET 濃度と透析患者の予後を解析し、透析液 ET 濃度 0.001 EU/mL 未満の施設で治療を受けている患者群は、0.100 EU/mL 以上の施設で治療を受けている患者群より明らかに1年生存率が高いと報告した¹⁰⁾。2017年調査においては、透析液の生物学的汚染に加えて、生化学的汚染とその対策についても調査した。

なお、本章の透析液水質管理に関しては、透析コンソールを1台以上保有する施設を対象に集計し、2017年の調査対象は4,346施設であった。

2. 透析液 ET 検査

日本透析医学会の水質基準では透析液 ET 濃度測定はリムルス試験で行うとしている^{8,9)}。わが国ではこれら ET 測定システムが比較的安価に市販されており一般の透析施設でも広く用いられているが、これは世界的にはかなり希な状況である。

透析液 ET 測定頻度は、調査対象のうち4,305施設から回答が得られ、水質基準の規定である月1回以上を満たす施設は3,601施設、全体の83.6%であった (図19a, 補足表19)。測定頻度の経年変化をみると、透析液 ET 検査は水質基準が施行された2008年には月1回以上の施設が33.1%であったが、水質管理加算が新設された2010年には70.6%に急増し、その後も一貫して増加している (図20a, 補足表20)。

透析液 ET 濃度に関しては4,188施設から回答が得られ、そのうち UPD の基準である 0.001 EU/mL 未満を達成している施設は3,446施設で全体の82.3%、標準透析液の基準である 0.050 EU/mL 未満の施設数は4,046施設で全体の96.6%であった (図19b, 補足表19)。透析液 ET 濃度の経年的変化をみると、0.001 EU/mL 未満、0.050 EU/mL 未満とも年々上昇している (図20b, 補足表20)。なお、透析液 ET 濃度について2008年の値が欠損しているのは、この年の調査において透析液 ET 濃度の表記を国際的ルールに合わせて EU/L から EU/mL に変更したことによる誤記入が多いと判断されたためである。

3. 透析液生菌数検査

水質基準では、透析液細菌培養検査結果は、後述する貧栄養寒天平板培地を用いて17～23度で7日間培養した後のコロニー数を透析液生菌数として評価すると規定している^{8,9)}。透析液生菌数の測定頻度に関しては4,289施設から回答が得られ、そのうち水質基準の規定である月1回以上を満たす施設は3,488施設で、全体の81.3%であった (図21a, 補足表21)。細菌培養検査の測定頻度は経年的に増加し、ET 測定と同様に2010年に著増しているが、いずれも ET 測定頻度よりは若干頻度が低い (図22a, 補足表22)。

透析液生菌数については4,072施設から回答が得られ、UPD の基準である 0.1 cfu/mL 未満は3,129施設で全体の76.8%、標準透析液の基準である 100 cfu/mL 未満は4,031施設、99.0%で達成されていた (図21b, 補足表21)。透析液生菌数の経年的変化をみると、0.1 cfu/mL 未満および100 cfu/mL 未満ともに、その割合は年々上昇している (図22b, 補足表22)。

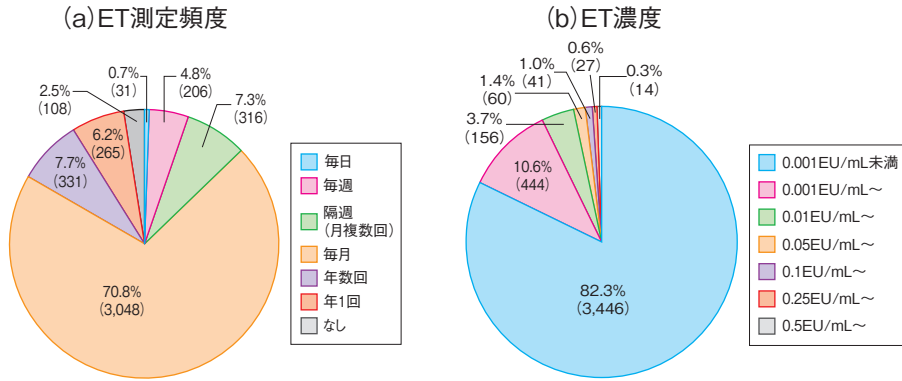


図 19 透析施設における (a) 透析液 ET 測定頻度と (b) ET 濃度, 2017

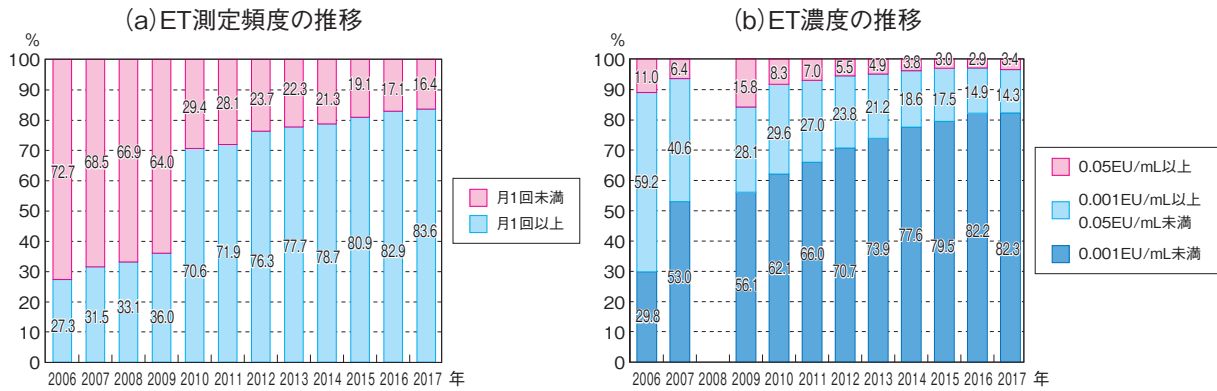


図 20 透析施設における (a) 透析液 ET 測定頻度と (b) ET 濃度の推移, 2006-2017

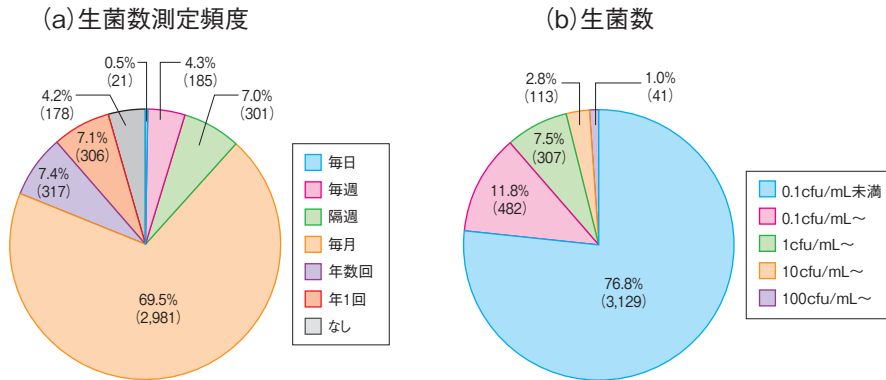


図 21 透析施設における (a) 透析液生菌数の測定頻度と (b) 生菌数, 2017

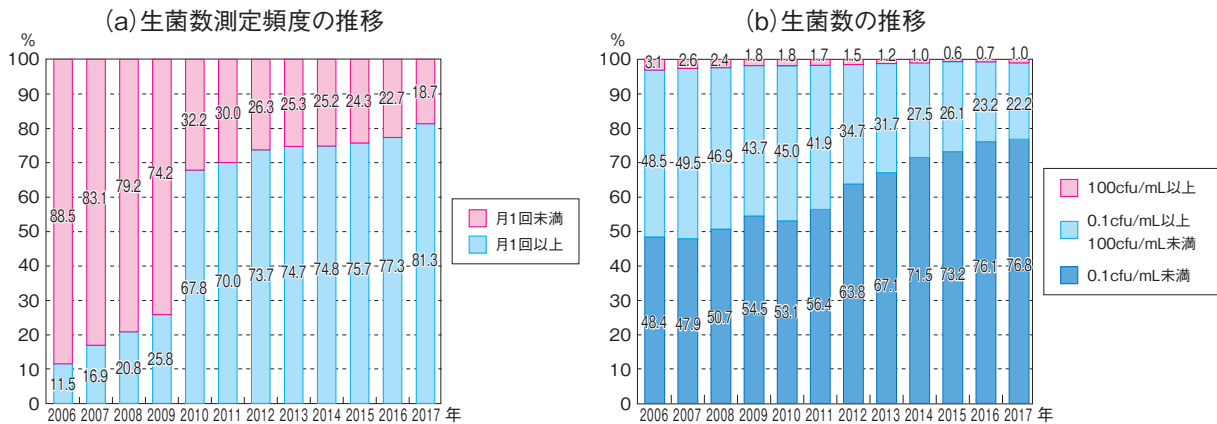


図 22 透析施設における (a) 透析液生菌数の測定頻度と (b) 生菌数の推移, 2006-2017

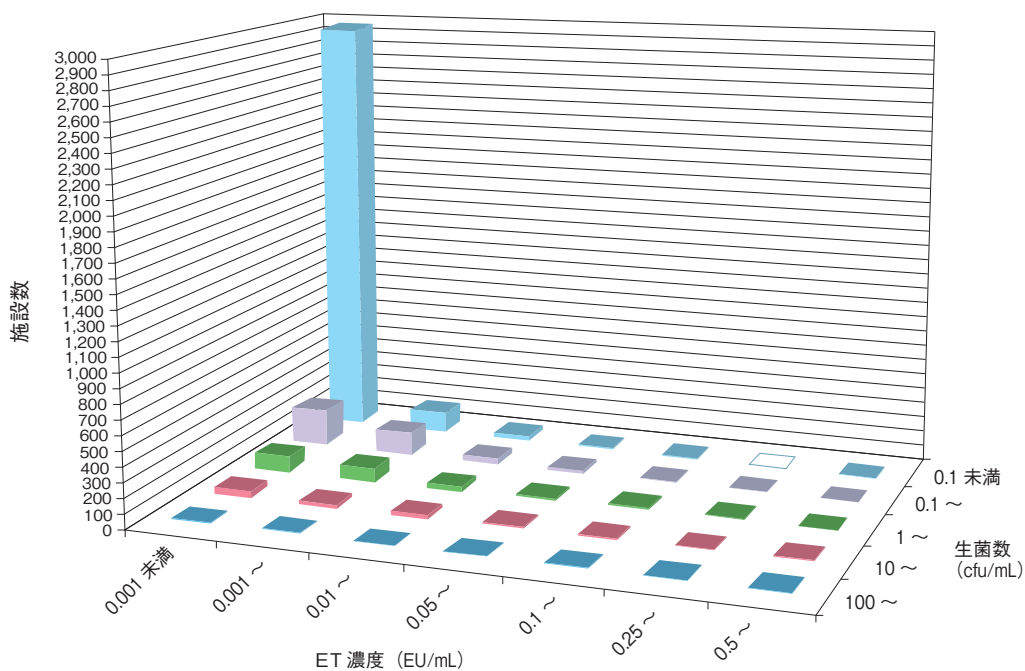


図 23 透析液 ET 濃度と生菌数, 2017

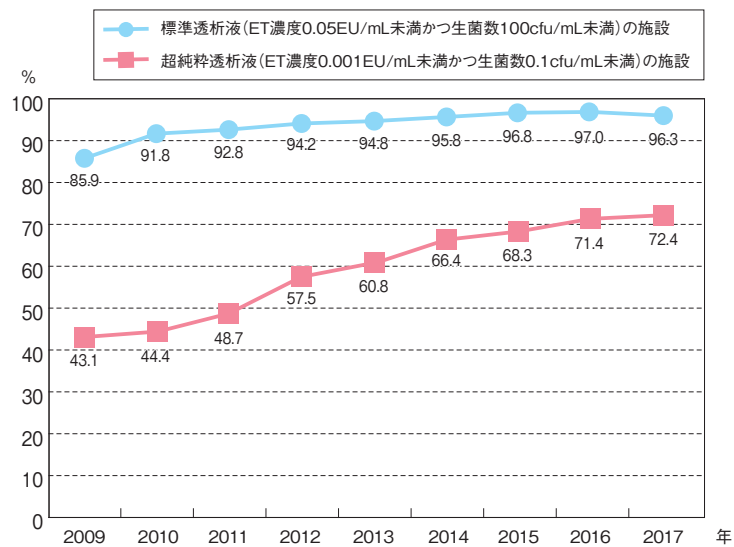


図 24 透析施設における超純粋透析液および標準透析液達成率の推移, 2009-2017

4. UPD および標準透析液の達成率

日本透析医学会水質基準では、UPDや標準透析液など透析液の細菌学的水質を規定するためには透析液 ET 濃度と生菌数の双方の数値を同時に満たさなければならない^{8,9)}。透析液 ET 濃度と生菌数の双方に回答があった施設数は、4,062 施設であった。このうち UPD の基準を満たす施設（透析液 ET 濃度 0.001 EU/mL 未満かつ生菌数 0.1 cfu/mL 未満）は、2,942 施設で全体の 72.4%、標準透析液の基準を満たす施設（透析液 ET 濃度 0.050 EU/mL 未満かつ生菌数 100 cfu/mL 未満）は、3,912 施設で全体の 96.3%であった（図 23, 補足表 23）。この UPD と標準透析液の達成率は経年的に上昇しており、わが国において透析液清浄化レベルが上昇していることが示唆される（図 24, 補足表 24）。

5. 透析用水の供給水源および化学的汚染対策

2017年の施設調査において、透析用水の供給水源について調査し、4,306施設から回答が得られた。水道水が3,668施設と最多で、全体の85.2%を占めた。次いで地下水が377施設、8.8%、ブレンドが251施設、5.8%であった(図25、補足表25)。

残留塩素の測定頻度については4,267施設から回答があり、毎日が2,377施設、55.7%と最多であり、週1回が927施設で21.7%、月1回が225施設、5.3%であった(図26a、補足表26)。さらに残留塩素を測定していない施設が510施設、全体の12.0%あり、今後測定頻度を含めて検討すべき課題と考えられる。残留塩素の測定方法については3,965施設から回答があり、遊離塩素のみが1,812施設、45.7%と最多であり、遊離塩素と総塩素の両方を測定しているのが1,275施設、32.2%であった。総塩素のみは799施設、20.2%であった(図26b、補足表26)。

日本透析医学会の化学的汚染基準⁹⁾の認知度については4,242施設から回答があり、“よく知っている”、“知っている”が全体の81.4%を占めた(図27a、補足表27)。また水質基準に定められた化学的汚染物質の測定頻度に関して4,106施設から回答があり、年1回が1,544施設、全体の37.6%であり、測定していない施設が1,348施設、32.8%であった(図27b、補足表27)。透析液の化学的汚染基準については、比較的広く認知されているが、実際は定期的に検査を施行していない施設が相当数あり、今後の課題と考えられる。

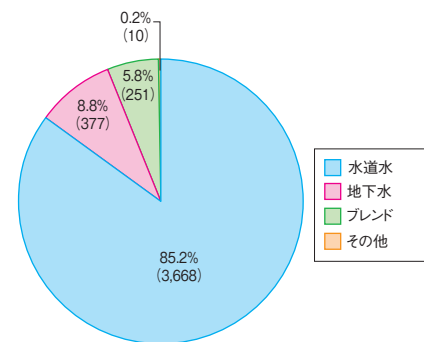


図 25 透析用水の供給水源

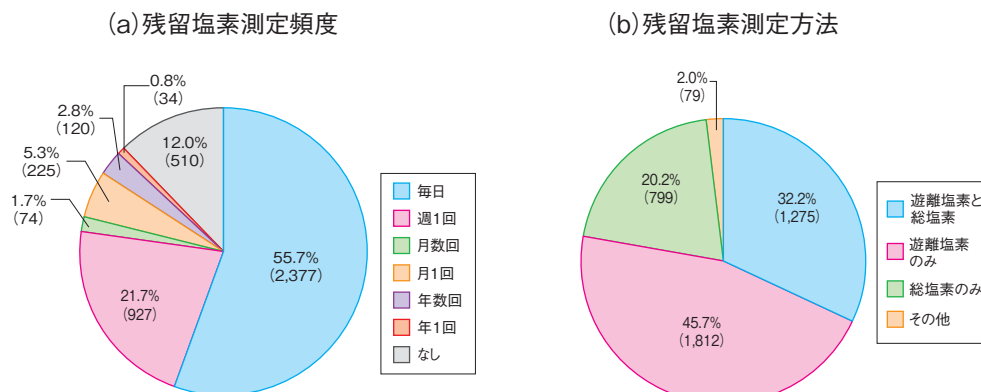


図 26 残留塩素の (a) 測定頻度および (b) 測定方法

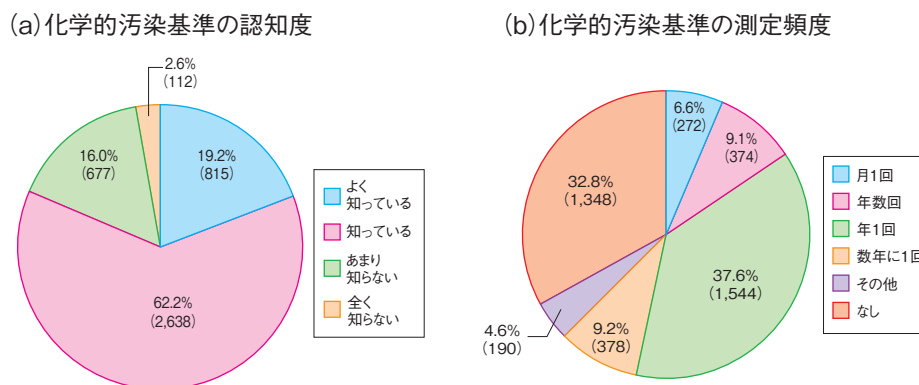


図 27 日本透析医学会 化学的汚染基準の (a) 認知度および (b) 測定頻度

第5章 血液透析・血液透析濾過の治療条件

1. 血液透析濾過の現況

血液透析濾過（hemodiafiltration: HDF）には、on-line HDF、off-line HDF、push/pull HDF、アセテートフリーバイオフィльтраーション（acetate-free biofiltration：AFBF）、間歇補充型血液透析濾過（intermittent infusion hemodiafiltration：IHDF）が含まれる。

わが国のHDF患者数は2012年以降急速に増加しており、施設調査による集計では2017年末には95,140名に達し（前年比+18,304名）、施設HD・HDF患者全体の29.4%（前年比+5.3ポイント）を占めている（表5）。

患者調査票による集計では、HDF患者は91,948人で、on-line HDFが70,604名（HDF患者の76.8%）と最も多く、IHDFが17,105名（HDF患者の18.6%）と続いている（図28、補足表28）。

HDF患者の平均年齢は全体で66.6歳で男性65.9歳、女性68.0歳であった。一方、施設HD患者の平均年齢は全体で69.4歳と約3歳高く、男性68.6歳、女性71.0歳であった（図29、補足表29）。

HDF患者の透析歴は全体で平均8.8年、男性8.1年、女性10.1年であった。透析歴5年未満の患者が全体で39.4%（男性41.9%、女性34.7%）と多くを占めていた。一方、HD患者の透析歴は全体で平均6.8年、男性6.3年、女性7.5年であった。透析歴5年未満の患者は全体で50.0%（男性52.1%、女性46.2%）であった（図30、補足表30）。このように、わが国のHDFはHDに比し透析歴が長く、比較的若い患者に適用されている。

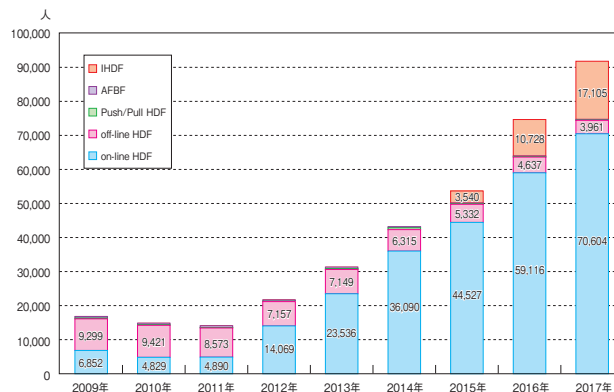


図28 HDF患者の推移 治療方法別, 2009-2017

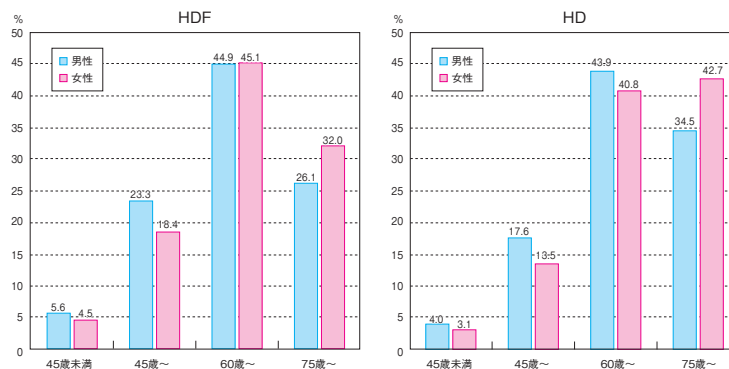


図29 HDF・HD患者 年齢と性別, 2017

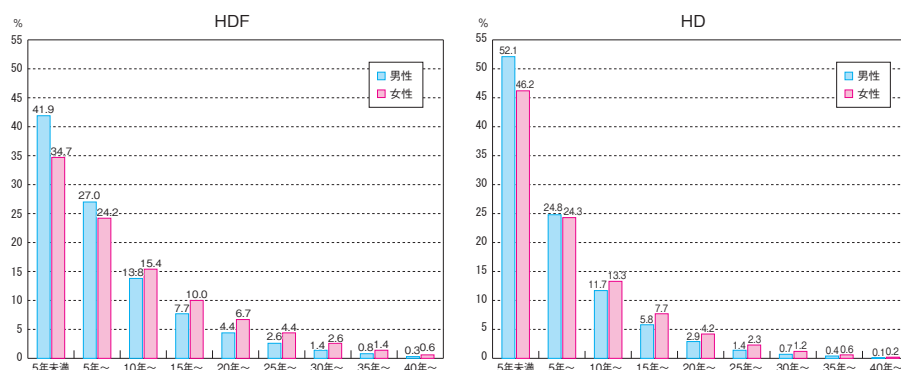


図30 HDF・HD患者 透析歴と性別, 2017

2. 施設血液透析（HD）と血液透析濾過（HDF）治療条件の比較

2.1 膜素材

2017年調査では2008年調査と同様に治療条件が詳しく調査された。膜素材について、HD患者で195,883人、HDF患者で82,436人から回答が得られた。HD患者では polysulfone (PS) を使用している患者が56.5%と最も多く、次いで polyethersulfone (PES) が16.4%, cellulose triacetate (CTA) が15.6%, polymethylmethacrylate (PMMA) 4.1%, polyether polymer alloy (PEPA) 3.1%であった。HDF患者全体では、PSが43.5%とHD患者同様に最も多く使用されており、PESが36.3%, CTAは14.3%, PEPA 4.6%であった（図31、補足表31）。

HDFの治療方法と膜素材については、on-line HDF患者で60,830人、off-line HDF患者で3,226人から回答が得られた。on-line HDF患者ではPSを使用している患者が前希釈で41.8%、後希釈で43.4%と最も多く、次にPESが前希釈で36.9%、後希釈で32.9%と多かった。off-line HDF患者でも同様にPSが前希釈で42.9%、後希釈で52.4%と最も多く、次いでPESが前希釈で36.4%、後希釈で33.1%と多かった。IHDF患者全体では膜素材については15,385人から回答が得られ、PSが46.5%と最も多く、PESが36.7%と続いた（図32、補足表32）。

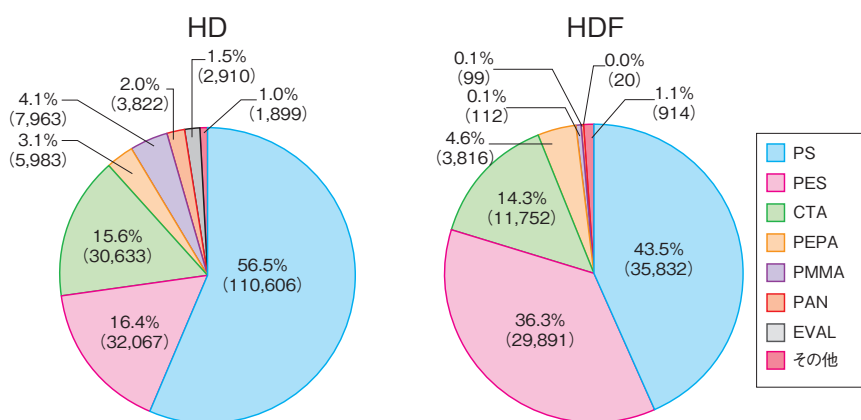


図 31 HD・HDF患者 膜素材, 2017

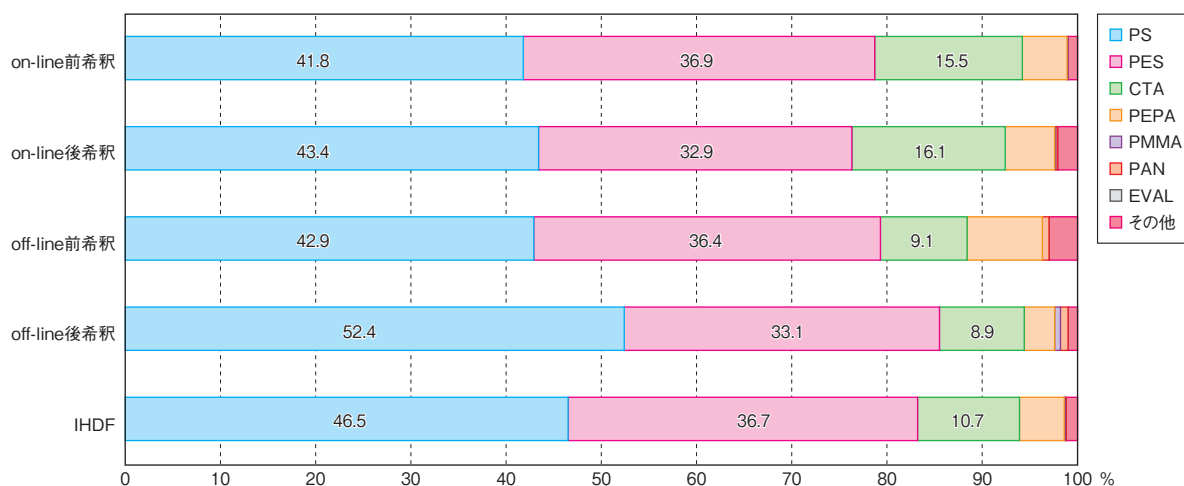


図 32 HDF患者 治療方法と膜素材, 2017

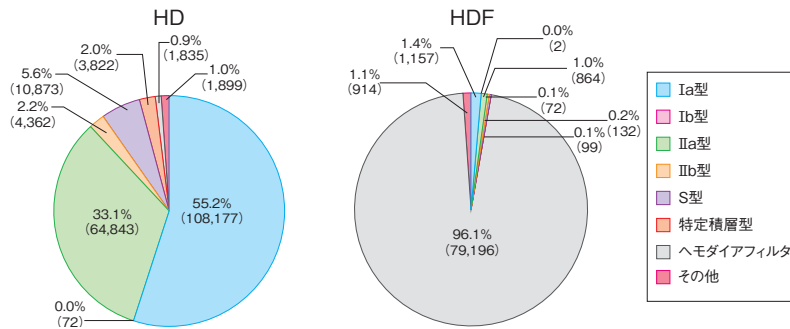


図 33 HD・HDF 患者 血液浄化器機能分類, 2017

2.2 血液浄化器機能分類

血液浄化器機能分類について、HD 患者 195,883 人、HDF 患者 82,436 人から回答が得られた。HD 患者では I a 型を使用している患者が 55.2%、II a 型 33.1%、S 型 5.6%、II b 型 2.2%、特定積層型 2.0% であった。HDF 患者ではへモダイアフィルタの使用が 96.1% とほとんどを占めた（図 33、補足表 33）。

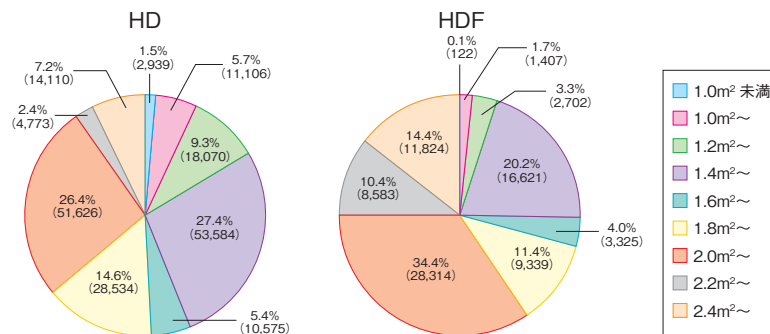


図 34 HD・HDF 患者 膜面積, 2017

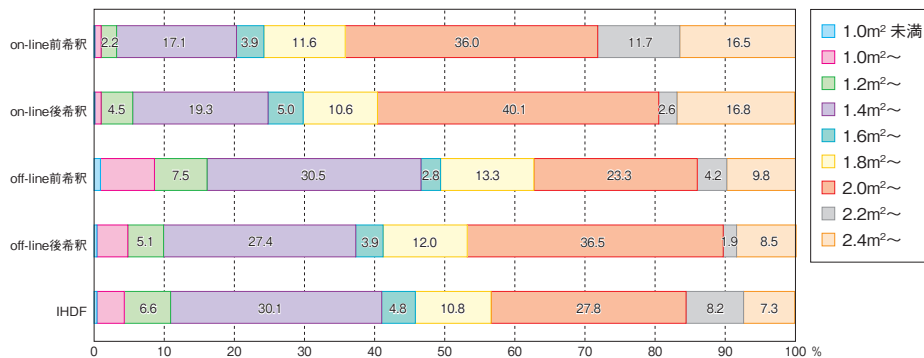


図 35 HDF 患者 治療方法と膜面積, 2017

2.3 膜面積

HD で使用されるダイアライザの膜面積について 195,317 人から回答が得られた。HD の膜面積の平均は 1.75m² であり、1.4m² 以上 1.6m² 未満が最も多く 27.4%、次に 2.0m² 以上 2.2m² 未満が 26.4% で多かった。一方 HDF で使用されるフィルタの膜面積について 82,237 人から回答が得られた。HDF の膜面積の平均は 1.96m² であり、2.0m² 以上 2.2m² 未満が最も多く 34.4%、次に 1.4m² 以上 1.6m² 未満が 20.2% で多かった（図 34、補足表 34）。対象患者にバイアスはあるが、HDF 治療ではより大きな膜面積のフィルタが用いられていた。

HDF の治療方法と膜面積について、on-line HDF 患者で 60,682 人、off-line HDF 患者で 3,230 人から回答が得られた。on-line HDF 患者全体の膜面積の平均は 2.00 m²（前希釈 2.01m²、後希釈 1.97m²）であった。on-line HDF では 2.0m² 以上 2.2m² 未満である患者が前希釈、後希釈でともに最も多く、次に 1.4m² 以上 1.6m² 未満が多かった。off-line HDF 患者全体の膜面積の平均は 1.82 m²（前希釈 1.76m²、後希釈 1.83m²）であった。off-line HDF の前希釈では 1.4m² 以上 1.6m² 未満の患者が最も多かった。IHDF 患者全体では、膜面積について 15,260 人から回答があった。IHDF 患者全体では膜面積の平均は 1.81m² で、1.4m² 以上 1.6m² 未満である患者が 30.1%、2.0m² 以上 2.2m² 未満が 27.8% であった（図 35、補足表 35）。

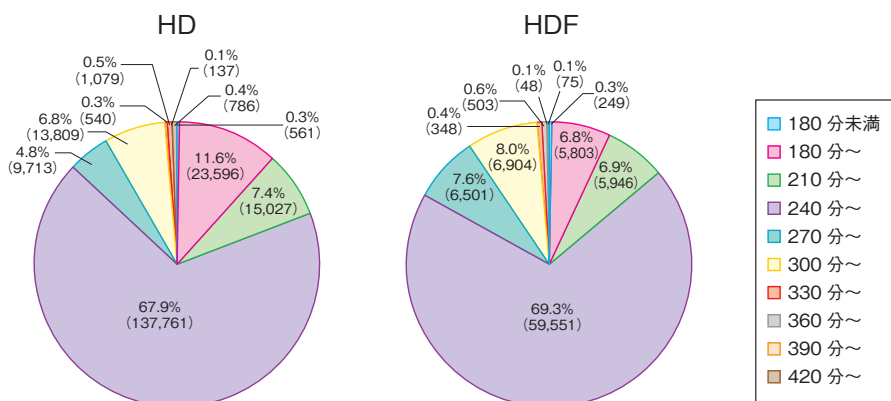


図 36 HD・HDF 患者 透析時間, 2017

2.4 透析時間

透析時間について HD 患者 203,009 人, HDF 患者 85,928 人から回答があった。平均透析時間は HD で 238.7 分, HDF で 243.2 分と約 5 分 HDF の方が長く 240 分を超えており, この傾向は 2009 年と同様である¹¹⁾。両群とも 240 分以上 270 分未満が HD で 67.9%, HDF で 69.3% と最も多い (図 36, 補足表 36)。

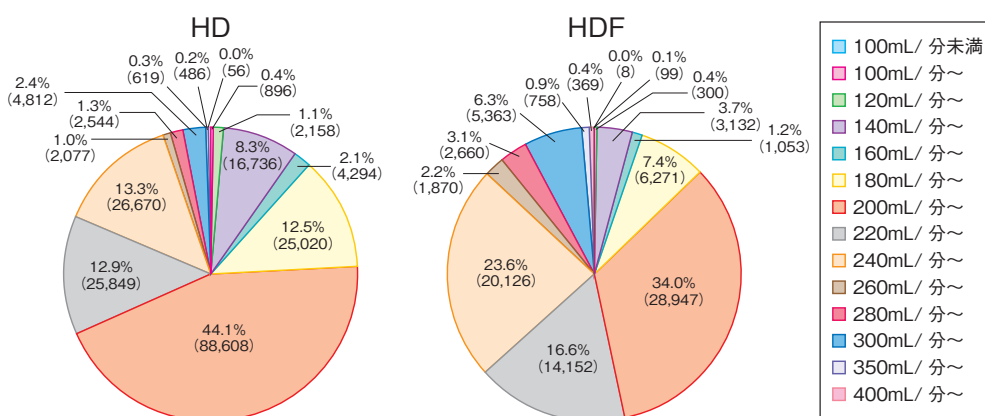


図 37 HD・HDF 患者 血流量, 2017

2.5 血流量

血流量について HD 患者 200,825 人, HDF 患者 85,108 人から回答があった。平均血流量は HD で 206mL/分, HDF で 224mL/分と HDF 群の方が高かった。2009 年の集計では HD 197mL/分, HDF 211 mL/分だったので, いずれも 10mL/分程度増加していた¹¹⁾。両群とも 200mL/分から 220mL/分未満が HD で 44.1%, HDF で 34.0% と最も多く, HDF 群では 240mL/分以上 260mL/分未満が 23.6% と高血流量が多いといえる (図 37, 補足表 37)。

2.6 β 2-MG 除去動態

2017年調査では、近年透析治療を評価する上で重要な指標と認識されている β 2-MGの除去動態について、透析前後 β 2-MG濃度、 β 2-MG除去率を評価した。日本透析医学会の透析処方ガイドラインでは透析前の血清 β 2-MG濃度を30mg/L未満に、可能であれば25mg/L未満に維持するように推奨している¹²⁾。

β 2-MG除去率は以下の計算式により算出した。

$$\beta\text{2-MG 除去率 (\%)} = \{(\text{透析前 } \beta\text{2-MG 濃度} - \text{透析後 } \beta\text{2-MG 濃度}) \div \text{透析前 } \beta\text{2-MG 濃度}\} \times 100$$

本項では、治療方法別の β 2-MG動態を理解しやすくするために、施設HD患者における血液浄化器機能分類とHDF患者における治療方法別分類で比較した。

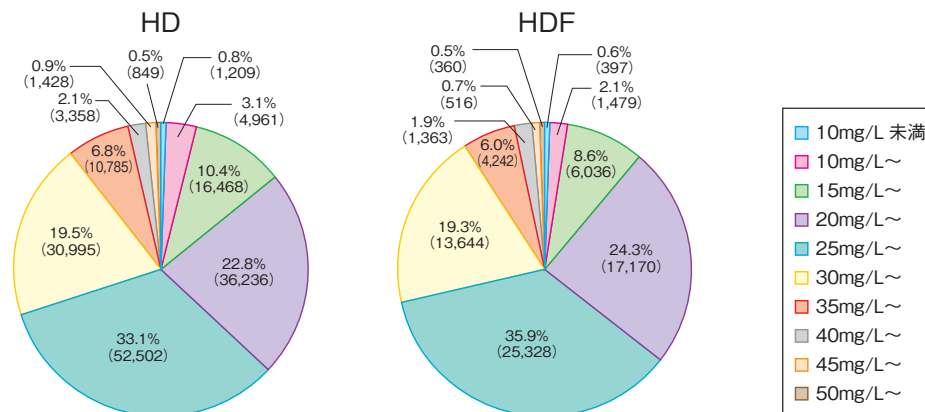


図 38 HD・HDF 患者 透析前 β 2-MG濃度, 2017

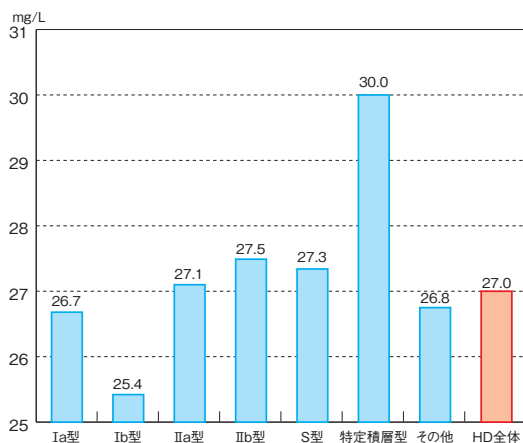


図 39 透析前 β 2-MG平均濃度 (HD) 血液浄化器機能分類, 2017

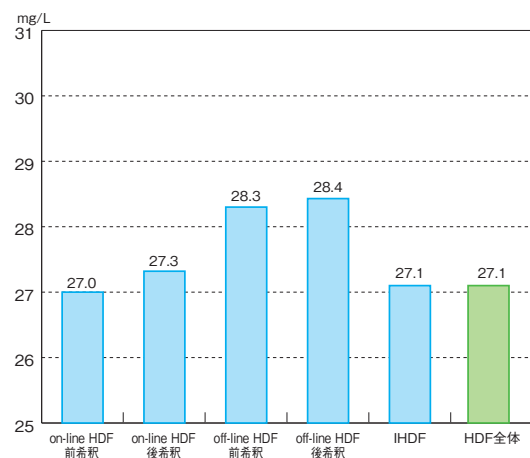
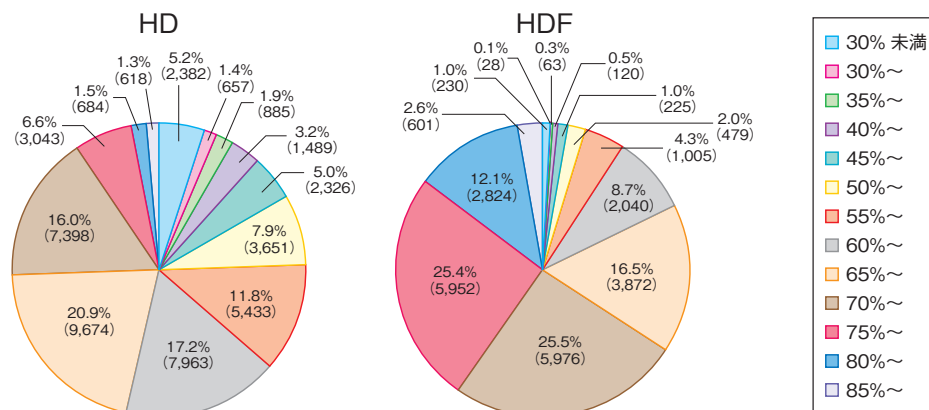
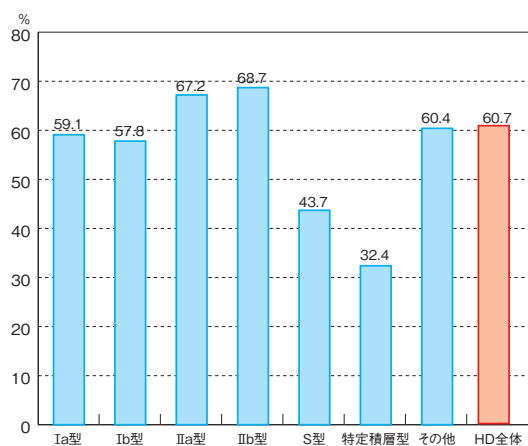
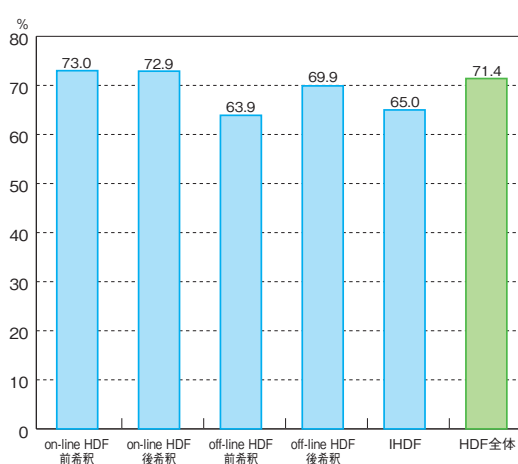


図 40 透析前 β 2-MG平均濃度 (HDF) 治療方法, 2017

透析前 β 2-MG濃度について、HD患者で158,791人、HDF患者で70,535人から回答が得られた。HD患者全体の透析前 β 2-MG濃度の平均値は27.0 mg/L、HDF患者全体では27.1 mg/Lでありほとんど変わりがなかった（図38、補足表38）。

HD患者において透析前 β 2-MG濃度と血液浄化器機能分類の両者に記載があったのは155,022人であった。血液浄化器機能分類別の平均値はIa型26.7 mg/L、Ib型25.4 mg/L、IIa型27.1 mg/L、IIb型27.5 mg/L、特定積層型30.0 mg/Lであった（図39、補足表39）。HDF患者において透析前 β 2-MG濃度とHDF治療方法の両者に記載があったのは、on-line HDF 52,509人、off-line HDF 2,743人であった。それぞれの治療方法の平均値は、on-line 前希釈27.0 mg/L、on-line 後希釈27.3 mg/L、off-line 前希釈28.3 mg/L、off-line 後希釈28.4 mg/L、IHDF 27.1 mg/Lであった（図40、補足表40）。

対象患者全体でのガイドライン30mg/Lの達成率は70.5%（HD 70.1%、HDF 71.5%）、25mg/Lの達成率は36.9%（HD 37.1%、HDF 35.6%）であった。

図 41 HD・HDF 患者 β 2-MG 除去率, 2017図 42 HD 患者の β 2-MG 除去率平均値 血液浄化器機能分類, 2017図 43 HDF 患者の β 2-MG 除去率平均値 治療方法, 2017

β 2-MG 除去率について、HD 患者で 46,203 人、HDF 患者で 23,415 人から回答が得られた。HD 患者全体の β 2-MG 除去率の平均値は 60.7%、HDF 患者全体では 71.4%であり、HDF 患者全体の方が HD 患者全体の平均より高値であった (図 41, 補足表 41)。

HD 患者において β 2-MG 除去率が算出可能で機能分類に記載があったのは 45,346 人であった。機能分類別の平均値は Ia 型 59.1%、Ib 型 57.8%、IIa 型 67.2%、IIb 型 68.7%、S 型 43.7%、特定積層型 32.4%であった (図 42, 補足表 42)。HDF 患者において β 2-MG 除去率が算出可能で HDF 希釈方法に記載があったのは、on-line HDF 17,892 人、off-line HDF 837 人であった。それぞれの治療方法の平均値は on-line 前希釈 73.0%、on-line 後希釈 72.9%、off-line 前希釈 63.9%、off-line 後希釈 69.9%、IHDF 全体で 65.0%であった (図 43, 補足表 43)。

β 2-MG 除去率を治療方法別で概括すると、on-line HDF がそれ以外の治療方法に比較して高く、次いで IIa、IIb 型ダイアライザによる HD も β 2-MG 除去効率は比較的高かった。

第6章 腹膜透析

1. 腹膜透析の現況

施設調査票による集計では、2017年末の腹膜透析（peritoneal dialysis：PD）患者数は9,090人（前年比+69人）であった（表5）。その内訳は、PD単独が7,325人、HD(F)の併用は週1回が1,505人、2回が155人、3回が37人、それ以外の併用が68人であった。2015年よりPDで新規に透析導入した患者数を施設調査で開始しているが、2017年は2,117人（前年比+171人）であった（図44、補足表44）。

患者調査票による集計で性別と年齢に回答のあったPD患者8,669人のうち、男性は65.5%、女性は34.5%であった（図45、補足表45）。

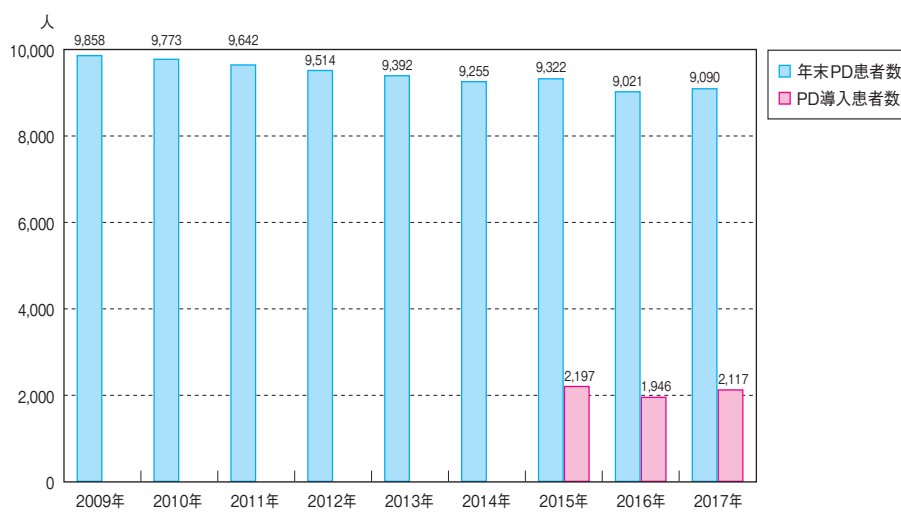


図44 PD患者数およびPD導入患者数の推移，2009-2017

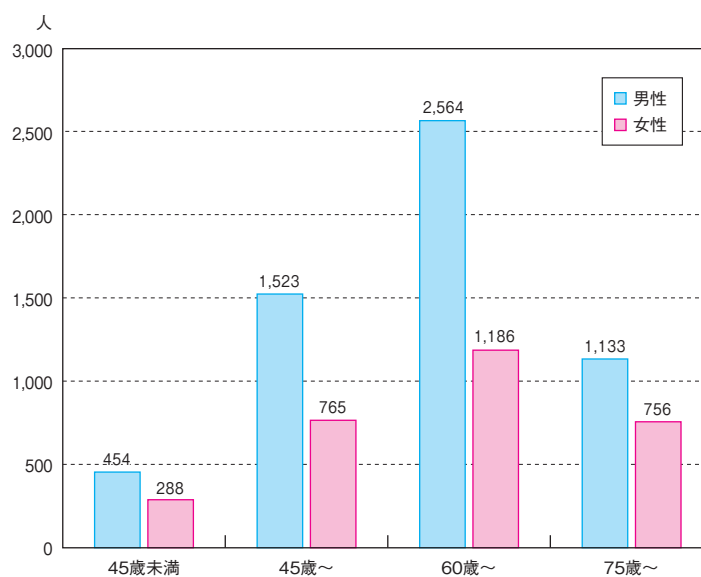


図45 PD患者 年齢と性別，2017

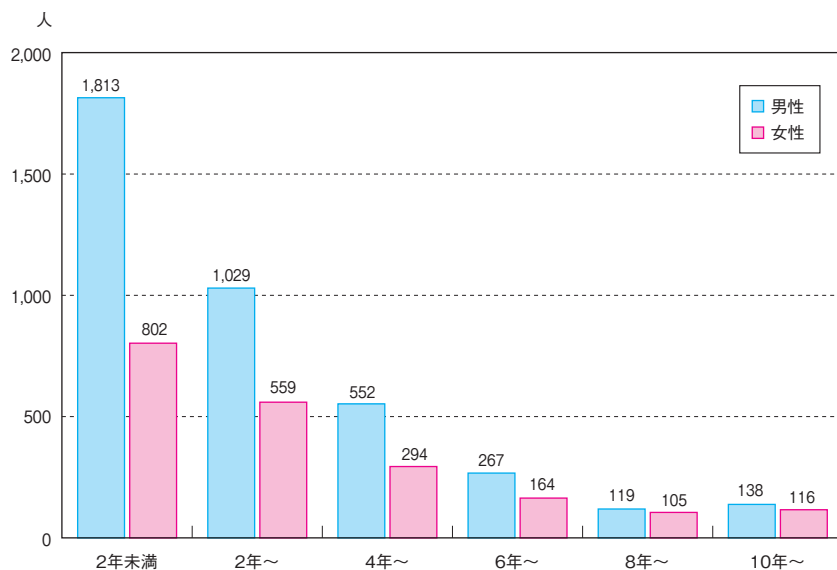


図 46 PD 患者 PD 歴と性別, 2017

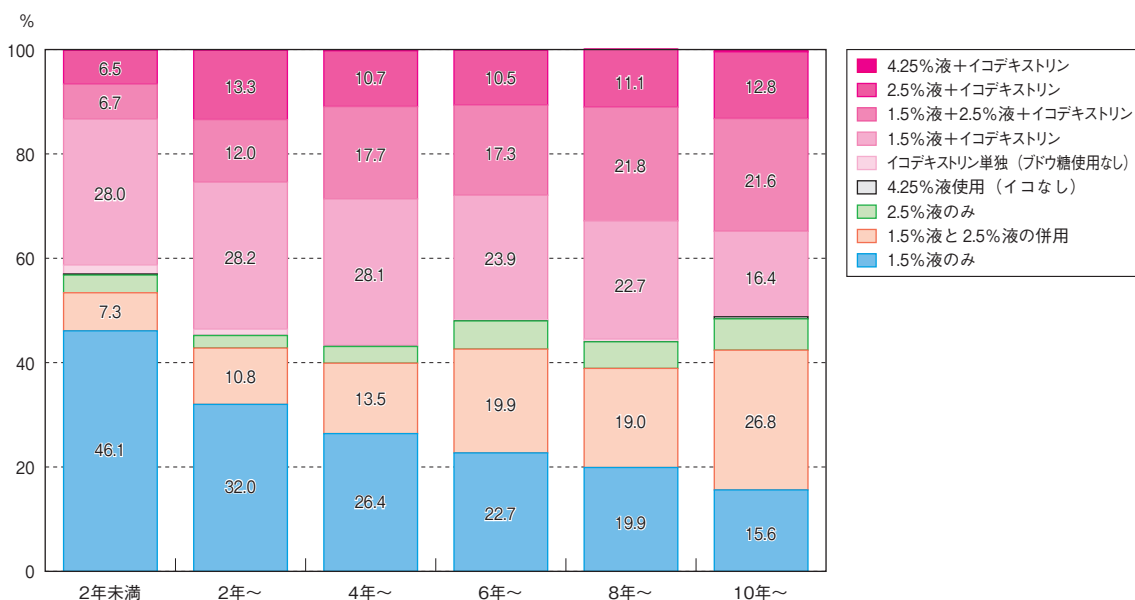


図 47 PD 患者 透析液の種類とPD 歴, 2017

PD 歴、性別について 5,958 人から回答が得られた。PD 患者の PD 歴は全体で平均 3.3 年（男性 3.0 年、女性 3.7 年）であった。PD 歴 2 年未満の患者が全体で 43.9%（男性 46.3%、女性 39.3%）と多くを占めていた。PD 歴 8 年以上の長期継続例は、全体で 8.0%（男性 6.6%、女性 10.8%）であった（図 46、補足表 46）。

使用透析液および PD 歴については 5,778 人から回答が得られた。1.5%ブドウ糖液のみ使用している患者は、PD 歴が長くなるにつれて、全体に占める割合が低下していた。PD 歴に記載がある患者で 1.5%もしくは 2.5%ブドウ糖液のみ使用している患者は 2,904 人（50.3%）、4.25%ブドウ糖液のみ使用患者は 6 人（0.1%）とごく少数だった。イコデキストリン使用患者は 2,868 人（49.6%）であった（図 47、補足表 47）。

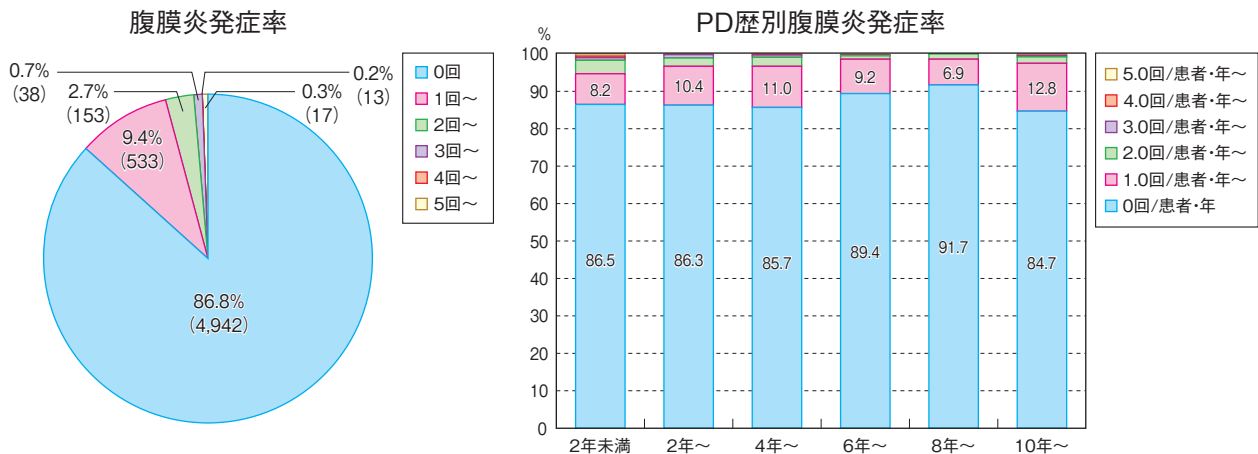
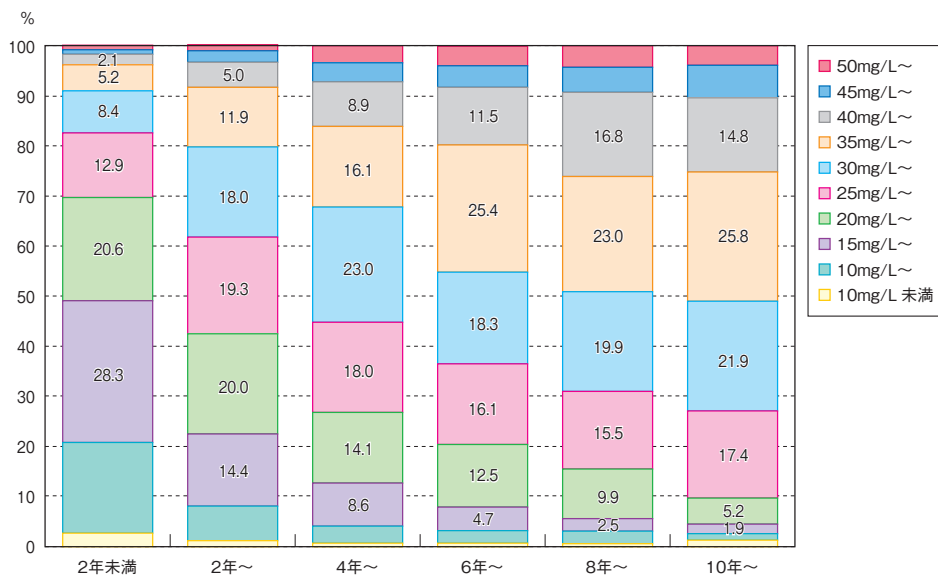


図 48 PD 患者 腹膜炎発症率 / PD 歴別腹膜炎発症率, 2017

図 49 PD 患者 透析前 β 2-MG 濃度と PD 歴, 2017

腹膜炎発症回数に回答があった5,696人のうち、2017年中に一度も腹膜炎を発症しなかった患者は4,942人(86.8%)であった(図48, 補足表48)。

腹膜炎発症回数およびPD歴については、5,638人から回答が得られた。

腹膜炎の発症率は下記の計算式によって算出した。

$$\text{腹膜炎発症率} = \frac{\text{2017年中の腹膜炎発症回数}}{\text{2017年中のPD実施月数} \div 12}$$

腹膜炎発症率は全体で0.20回/1患者・年(1回/60.0患者・月)であり、International Society for Peritoneal Dialysis (ISPD) ガイドラインの勧告値(0.50回/1患者・年)を大きく下回っている¹³⁾。PD歴別にみると、腹膜炎発症率はPD歴1年未満で0.26回/1患者・年(1回/46.2患者・月)と最も高く、PD歴が長くなるにつれて低下傾向にあった(図48, 補足表48)。

透析前 β 2-MG濃度およびPD歴については、3,561人から回答が得られた。PD歴別にみると、PD歴1年未満で平均透析前 β 2-MG濃度は19.68mg/Lと最も低く、PD歴が長くなるにつれて上昇する傾向であった。PD歴に記載のある患者の平均透析前 β 2-MG濃度は26.97mg/Lだった(図49, 補足表49)。

第7章 バスキュラーアクセス

バスキュラーアクセスについては、腹膜透析を除く体外循環透析（施設血液透析、血液透析濾過、血液濾過、血液吸着透析、在宅血液透析）患者を対象に集計した。

バスキュラーアクセス種類と年齢および性別について274,382人から回答が得られた。自己血管による動静脈瘻（arteriovenous fistula: AVF）は男性で91.5%、女性で84.6%を占めた。男女とも年齢が高くなるにつれて、AVFの占める割合が低下する傾向を認めた。人工血管による動静脈瘻（arteriovenous graft: AVG）は男性で5.5%、女性で10.6%を認めた。表在化動脈を使用しているのは男性で1.6%、女性で2.0%であり、表在化動脈の占める割合は男女ともに増える傾向にあった。長期留置型静脈カテーテルは男性で0.9%、女性で2.2%使用されていた（図50、補足表50）。

バスキュラーアクセス種類と透析歴および性別について274,243人から回答が得られた。自己血管による動静脈瘻（AVF）の占める割合は、透析歴5年以上で男女ともに透析歴が長くなるにつれて低下する傾向を認めた。一方、人工血管による動静脈瘻（AVG）は、男女ともに透析歴が長くなるにつれて増加する傾向を認めた（図51、補足表51）。

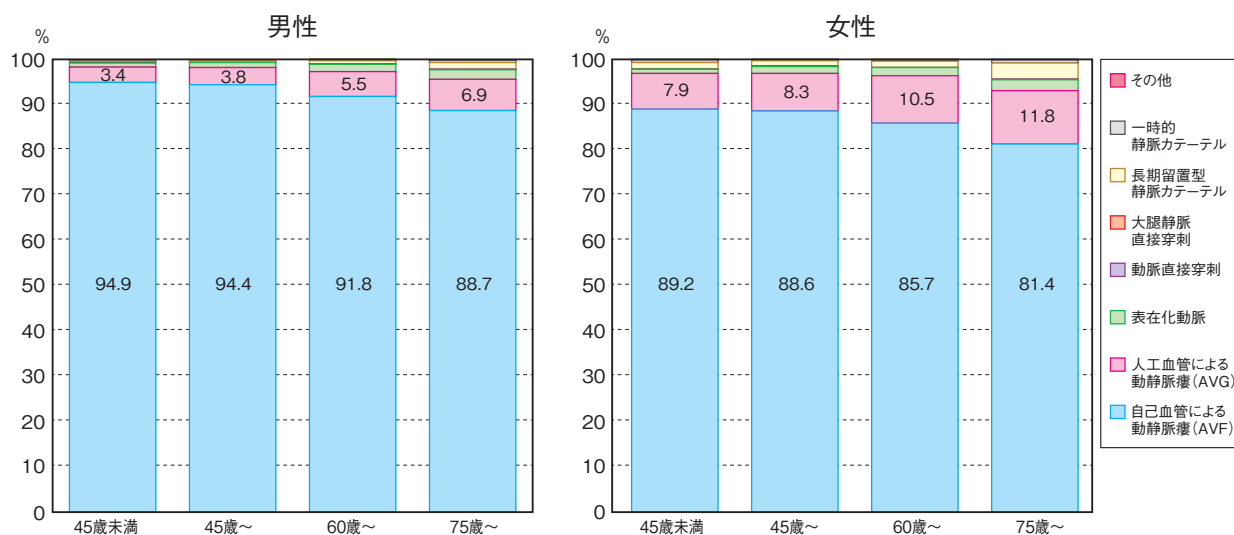


図 50 バスキュラーアクセス種類と年齢 性別, 2017

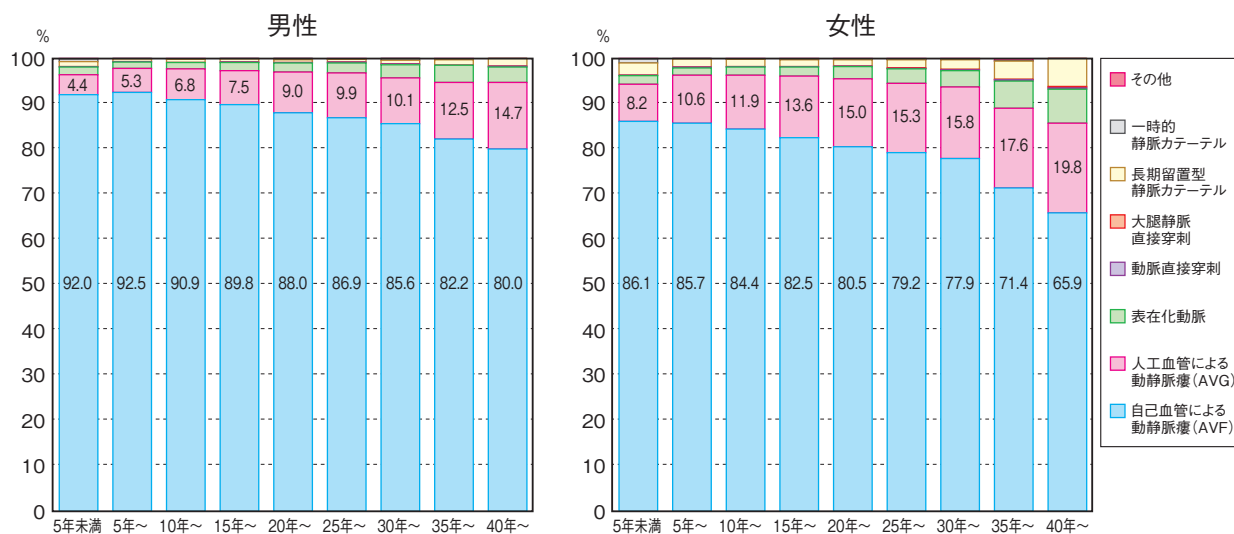


図 51 バスキュラーアクセス種類と透析歴 性別, 2017

第8章 手根管開放術の既往

手根管開放術既往と透析歴および性別について、226,791人（男性147,041人、女性79,750人）から回答が得られた。手根管開放術既往ありの割合は女性の方が男性より多かった（男性2.9%、女性5.5%）。透析歴が長期になるほど、手根管開放術既往ありの割合は男女ともに高くなり、透析歴40年以上では男性62.4%、女性67.5%に手根管開放術の既往があった（図52、補足表52）。

手根管開放術既往と透析前および透析後 β 2-MG除去率について、58,686人から回答が得られた。

β 2-MG除去率は以下の計算式により算出した。

$$\beta\text{-MG除去率}(\%) = \{(\text{透析前}\beta\text{2-MG濃度} - \text{透析後}\beta\text{2-MG濃度}) \div \text{透析前}\beta\text{2-MG濃度}\} \times 100$$

β 2-MG除去率を手根管開放術既往の有無別にみると、既往ありで $68.1 \pm 13.4\%$ 、既往なしで $64.0 \pm 15.3\%$ と、手根管開放術既往あり患者の方が β 2-MG除去率の高い治療を受けていた（図53、補足表53）。

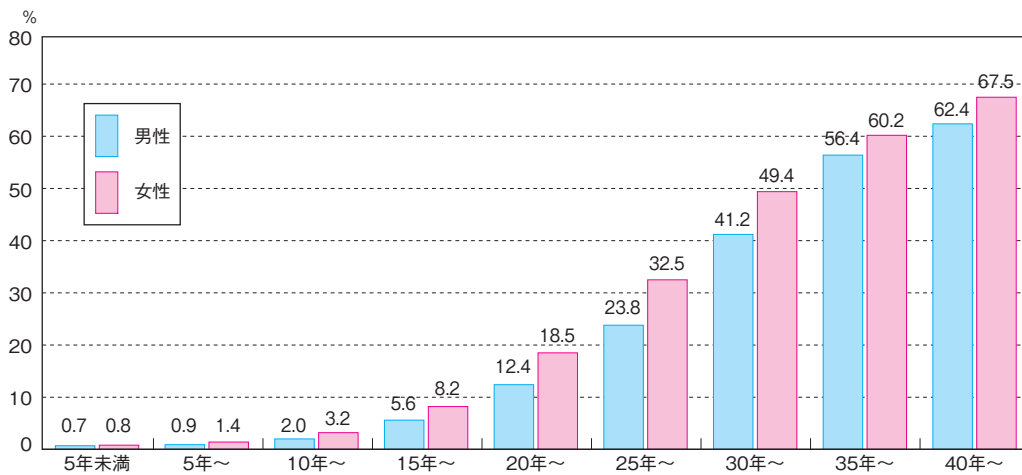


図52 手根管開放術既往ありの割合 透析歴と性別, 2017

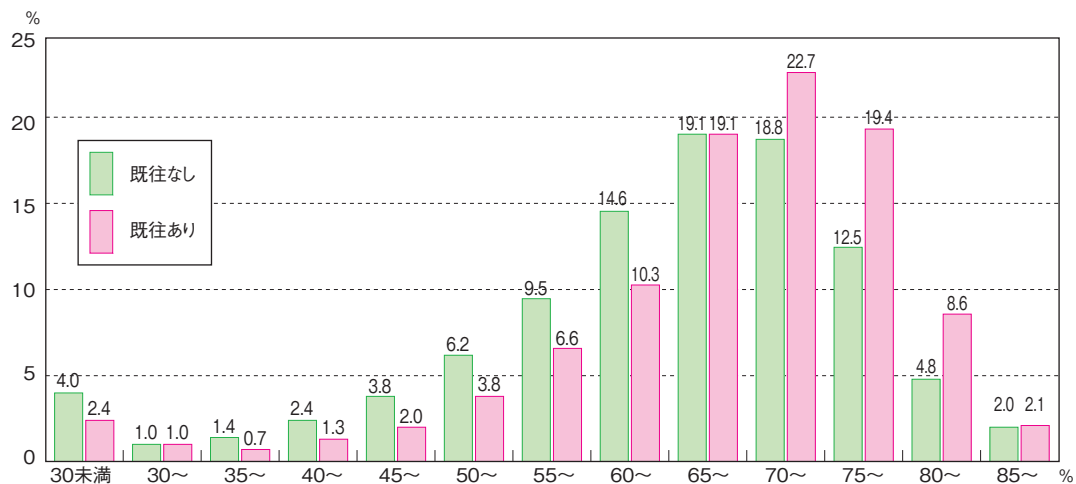


図53 手根管開放術の既往と β 2-MG除去率, 2017

第9章 入院の有無と入院理由

2017年調査では、透析患者の疫学で重要なアウトカムとなる入院について調査が行われた。2017年中の入院の有無（調査対象期間：2017年1月～12月の入院の有無）と年齢および性別について、237,931人（男性154,171人、女性83,760人）から回答が得られた。入院ありの割合は男性で40.3%、女性で42.1%であった。年齢別にみると、入院ありの割合は男女ともに年齢が高くなるにつれて増加傾向にあり、75歳以上では（男性46.7%、女性50.1%）と高かった（図54、補足表54）。

2017年中の入院の有無と透析歴および性別について、237,784人（男性154,070人、女性83,714人）から回答が得られた。透析歴別にみると、入院ありの割合は男女ともに透析導入早期（5年未満）は高く（男性41.9%、女性44.6%）、その後漸減する傾向にあった。透析歴が30年以上と超長期になると入院割合は上昇し、男女ともにほぼ40%以上となっていた（図55、補足表55）。

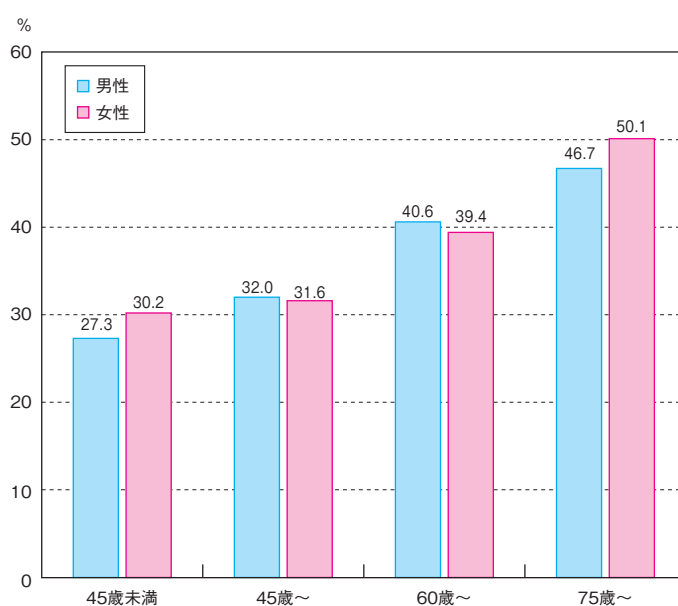


図 54 入院ありの割合 年齢と性別, 2017

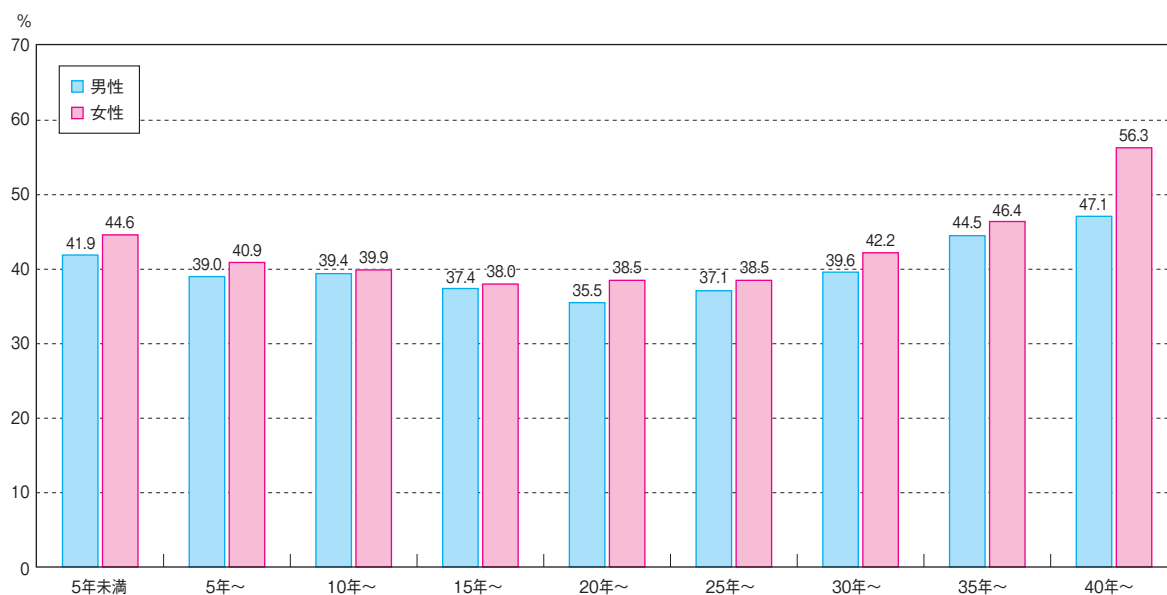


図 55 入院ありの割合 透析歴と性別, 2017

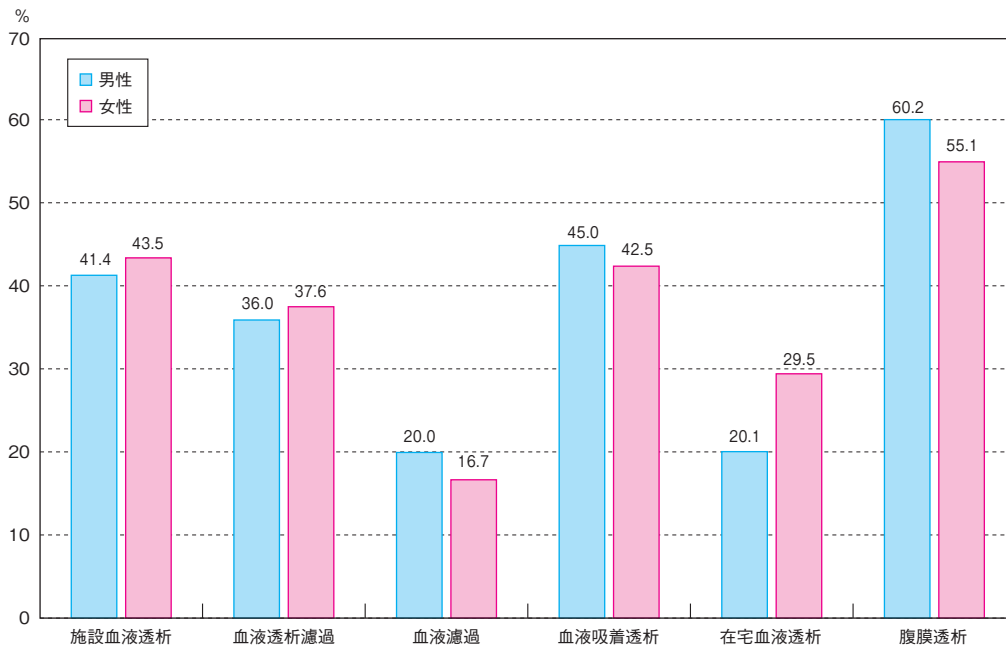


図 56 入院ありの割合 治療方法と性別, 2017

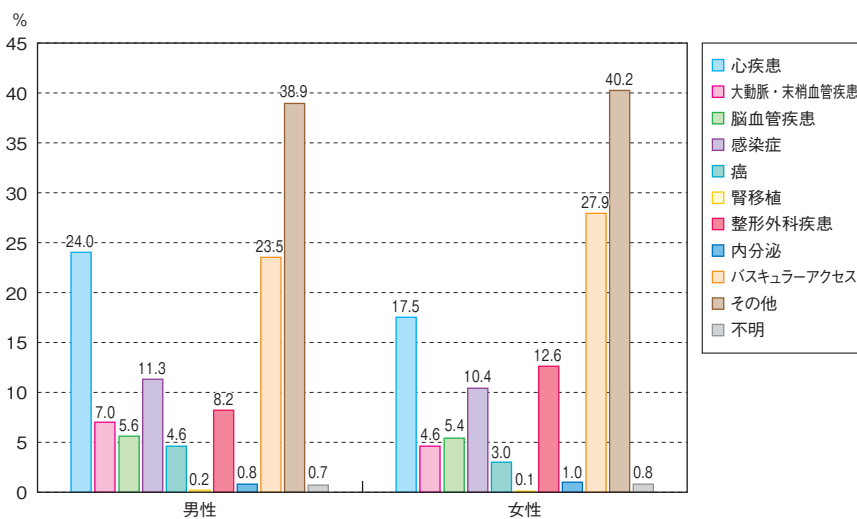


図 57 入院理由と性別, 2017

2017年中の入院の有無と治療方法および性別について、237,932人（男性154,171人、女性83,761人）から回答が得られた。治療方法別にみると、入院ありの割合は腹膜透析で男女ともに最も高かった（男性60.2%、女性55.1%）。施設血液透析での入院ありの割合（男性41.4%、女性43.5%）と比較すると、血液透析濾過での入院ありの割合は低い傾向にあった（男性36.0%、女性37.6%）（図56、補足表56）。

2017年中の入院ありと回答があった患者のうち、入院理由と性別についての調査には89,748人（男性57,331人、女性32,417人）から回答が得られた。「入院理由」は1人につき3つまで回答可としたため、割合の合計は100%ではないことに留意されたい。入院理由は、「その他」を除くと、男性では「心疾患」が24.0%と最も多く、「バスキュラーアクセス関連」が23.5%、「感染症」が11.3%、「整形外科疾患」が8.2%と続いた。女性では「その他」を除くと「バスキュラーアクセス関連」が最も多く27.9%を占め、続いて「心疾患」が17.5%、「整形外科疾患」が12.6%、「感染症」が10.4%であった（図57、補足表57）。

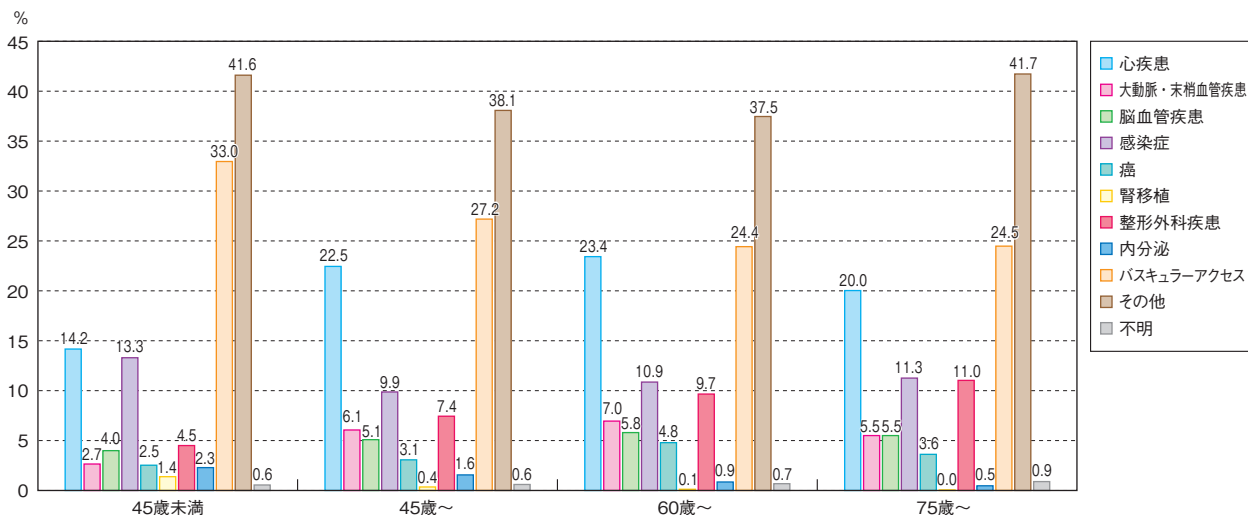


図 58 入院理由と年齢, 2017

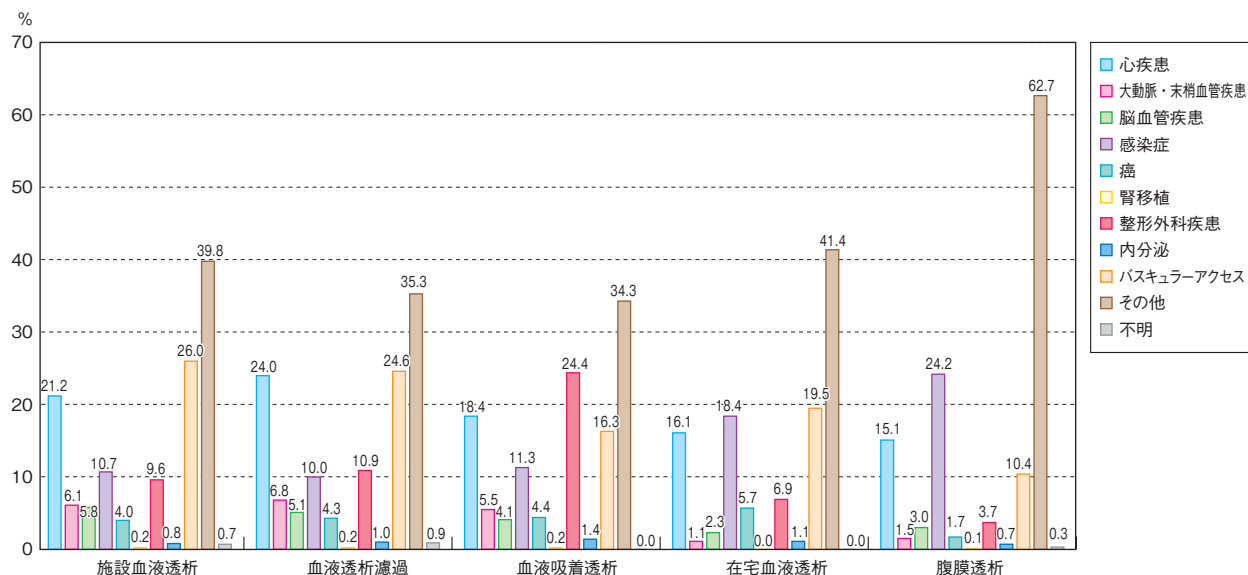


図 59 入院理由と治療方法, 2017

2017年中の入院ありと回答があった患者のうち、入院理由と年齢についての調査には89,747人から回答が得られた。入院理由は、「その他」を除くと、「バスキュラーアクセス関連」が全ての年齢層を通じて最も多く、全体では25.1%を占めた。全体では「心疾患」が21.7%、「感染症」が11.0%、「整形外科疾患」が9.8%と続いた。「整形外科疾患」を理由とする入院は年齢が高くなるにつれて増加傾向であった（図58、補足表58）。

2017年中の入院理由と治療方法についての調査には89,748人から回答が得られた。

施設血液透析での入院理由は「その他」を除くと、「バスキュラーアクセス関連」が26.0%と最も多く、「心疾患」が21.2%、「感染症」が10.7%、「整形外科疾患」が9.6%と続いた。血液透析濾過患者でも入院理由は「その他」を除くと、「バスキュラーアクセス関連」が最も多く24.6%を占め、続いて「心疾患」が24.0%、「整形外科疾患」が10.9%、「感染症」が10.0%であった。腹膜透析では入院理由は「その他」を除くと、「感染症」が24.2%と最も高く、「心疾患」が15.1%と続いた。なお、血液濾過は対象患者が2名と少ないため図には示していない（図59、補足表59）。

結 言

2017年のJRDR年次調査結果を総括すると、わが国の慢性透析患者数、透析施設とも依然として増加しているが、その増加速度は徐々に低下してきている。導入患者と年末患者の基礎疾患は変わらず、糖尿病が第1位であるが、導入患者に占める糖尿病性腎症の割合はここ数年頭打ちの状態である。2012年の診療報酬改定から急速に増加してきたHDF治療はさらに増加して、全透析患者の28.4%に達した。腹膜透析と在宅血液透析は2016年に比較して微増したが、両者を合わせた在宅透析の比率は依然として2.9%と低かった。

2017年調査では2008年と同様の透析条件の詳細な調査が行われた。蛋白漏出量が比較的多いわが国のon-line HDFや透析条件は、世界的にみて特徴のあるものと言える。JRDRはこれまでに、この特徴と生命予後に関する重要な報告をしてきた¹⁴⁻¹⁶⁾。2017年の調査結果をさらに解析して、透析条件についてのさらなる発信が期待される。

また、2017年調査においては、慢性透析治療の疫学において、生命予後と並ぶ主要な転帰となる、入院の有無とその理由が調査された。こちらもまた、主要な予後因子、さまざまな治療指標との関係を解析し、エビデンスに基づいた透析治療質の向上に対する新たな提言が期待される。

■地域協力委員 (敬称略)

(北海道) 前野七門, 河田哲也, (青森) 大山 力, (岩手) 清野耕治, (宮城) 佐藤壽伸, (秋田) 佐藤 滋, (山形) 伊東 稔, (福島) 風間順一郎, (茨城) 植田敦志, (栃木) 齋藤 修, (群馬) 安藤哲郎, (埼玉) 小川智也, 熊谷裕生, (千葉) 小倉 誠, 寺脇博之, (東京) 安藤亮一, 阿部雅紀, 柏木哲也, 濱田千江子, (神奈川) 柴垣有吾, 平和伸仁, (新潟) 島田久基, (富山) 石田陽一, (石川) 横山 仁, (福井) 宮崎良一, (山梨) 深澤瑞也, (長野) 上條祐司, (岐阜) 松岡哲平, (静岡) 加藤明彦, 森 典子, (愛知) 伊藤恭彦, 春日弘毅, (三重) 小薮助成, (滋賀) 有村徹朗, (京都) 橋本哲也, (大阪) 稲葉雅章, 林 晃正, 山川智之, (兵庫) 西 慎一, 藤森 明, (奈良) 米田龍生, (和歌山) 根木茂雄, (鳥取) 中岡明久, (島根) 伊藤孝史, (岡山) 杉山 斉, (広島) 正木崇生, (山口) 新田 豊, (徳島) 橋本寛文, (香川) 山中正人, (愛媛) 菅 政治, (高知) 大田和道, (福岡) 田村雅仁, 満生浩司, (佐賀) 池田裕次, (長崎) 錦戸雅春, (熊本) 宮田 昭, (大分) 友 雅司, (宮崎) 藤元昭一, (鹿児島) 野崎 剛, (沖縄) 大城吉則

文献

- 1) 中井滋. 日本透析医学会統計調査の歴史. 透析会誌 2010; 43: 119-52.
- 2) 政金生人. 透析療法の動向～統計調査から見えてくるもの～. 透析会誌 2016; 49: 211-8.
- 3) 厚生労働省, 文部科学省. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」
http://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1443_01.pdf (2018.11.27 最終アクセス)
- 4) 一般社団法人日本透析医学会, <http://www.jsdt.or.jp/info/2308.html> (2018.11.27 最終アクセス)
- 5) 中井滋, 若井建志, 山縣邦弘, 井関邦敏, 椿原美治. わが国の慢性維持透析人口将来推計の試み. 透析会誌 2012; 45: 599-613.
- 6) Chapter 11: International Comparison, the 2017 USRDS Annual Data Report. Washington: United States Renal Data System, 2017 https://www.usrds.org/2017/view/v2_11.aspx (2018.11.27 最終アクセス)
- 7) 中井滋, 井関邦敏, 伊丹儀友, 他. わが国の慢性透析療法の現況 (2010年12月31日現在). 透析会誌 2012; 45: 1-47.
- 8) 秋葉隆, 川西秀樹, 峰島三千男, 他. 透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準 2008. 透析会誌 2008; 41: 159-67.
- 9) 峰島三千男, 川西秀樹, 阿瀬智暢, 川崎忠行, 友雅司, 中元秀友. 2016年版透析液水質基準. 透析会誌 2016; 49: 697-725.
- 10) Hasegawa T, Nakai S, Masakane I, et al. Dialysis fluid endotoxin level and mortality in maintenance hemodialysis: nationwide cohort study. Am J Kidney Dis 2015; 65: 899-904.
- 11) 中井滋, 井関邦敏, 伊丹儀友, 他. わが国の慢性透析療法の現況 (2009年12月31日現在). 透析会誌 2011; 44: 1-36.
- 12) 一般社団法人日本透析医学会. 維持血液透析ガイドライン: 血液透析処方. 透析会誌 2013; 46: 587-632.
- 13) Li PK, Szeto CC, Piraino B, et al. ISPD peritonitis recommendation: 2016 update on prevention and treatment. <http://www.pdconnect.com/content/36/5/481.full> (2018.11.27 最終アクセス)

- 14) Abe M, Hamano T, Wada A, Nakai S, Masakane I, Renal Data Registry Committee JSfDT. Effect of dialyzer membrane materials on survival in chronic hemodialysis patients: Results from the annual survey of the Japanese Nationwide Dialysis Registry. *PLoS One* 2017; 12: e0184424.
- 15) Abe M, Hamano T, Wada A, Nakai S, Masakane I. High-performance membrane dialyzers and mortality in hemodialysis patients: a 2-Year cohort study from the annual survey of the Japanese Renal Data Registry. *Am J Nephrol* 2017; 46: 82-92.
- 16) Kikuchi K, Hamano T, Wada A, Nakai S, Masakane I. Association between predilution on-line hemodiafiltration and survival outcomes in dialysis patients. *Kidney Int* (in press)

補足表

補足表1 慢性透析患者数（1968-2017）と有病率（人口100万対比，1983-2017）の推移

※4月 ★8月																		
年	1966 /12	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982		
透析コンソール台数	48	105★	206★	606	1,575	3,022	4,986	5,515	7,246	9,204	10,545	12,569	16,519	18,963	21,032	22,939		
年末透析患者数	-	215※	301※	949	1,826	3,631	6,148	9,245	13,059	18,010	22,579	27,048	32,331	36,397	42,223	47,978		
年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
透析コンソール台数	24,474	26,558	28,715	30,846	33,527	36,447	34,099	40,723	45,682	49,650	53,262	58,561	59,715	63,742	66,880	69,733	75,448	79,709
年末透析患者数	53,017	59,811	66,310	73,537	80,553	88,534	83,221	103,296	116,303	123,926	134,298	143,709	154,413	167,192	175,988	185,322	197,213	206,134
人口100万人対患者数	443.7	497.5	547.8	604.4	658.8	721.1	790.0	835.7	937.6	995.8	1,076.4	1,149.4	1,229.7	1,328.4	1,394.9	1,465.2	1,556.7	1,624.1
年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
透析コンソール台数	83,914	89,070	92,710	97,366	100,552	104,382	108,583	111,998	114,979	118,622	121,863	125,003	128,150	131,555	133,538	135,211	137,248	
年末透析患者数	219,183	229,538	237,710	248,166	257,765	264,473	275,242	283,421	290,661	298,252	304,856	310,007	314,438	320,448	324,986	329,609	334,505	
人口100万人対患者数	1,721.9	1,801.2	1,862.7	1,943.5	2,017.6	2,069.9	2,154.2	2,219.6	2,279.5	2,329.1	2,385.4	2,431.1	2,470.1	2,521.6	2,557.0	2,596.7	2,640.0	

(施設調査による集計)

補足表2 導入患者数および死亡患者数の推移，1983-2017

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
台数	24,474	26,558	28,715	30,846	33,527	36,447	34,099	40,723	45,682	49,650	53,262	58,561	59,715	63,742	66,880	69,733	75,448	79,709
年末透析患者数	53,017	59,811	66,310	73,537	80,553	88,534	83,221	103,296	116,303	123,926	134,298	143,709	154,413	167,192	175,988	185,322	197,213	206,134
年間導入患者数	11,348	12,606	13,416	14,175	14,699	16,470	14,174	18,411	20,877	22,475	23,874	24,296	26,398	28,409	28,870	29,641	31,483	32,018
年間死亡患者数	4,538	5,000	5,770	6,296	6,581	7,765	6,766	8,939	9,722	11,621	12,143	13,187	14,406	15,174	16,102	16,687	18,524	18,938
人口100万人対患者数	443.7	497.5	547.8	604.4	658.8	721.1	790.0	835.7	937.6	995.8	1,076.4	1,149.4	1,229.7	1,328.4	1,394.9	1,465.2	1,556.7	1,624.1
年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
台数	83,914	89,070	92,710	97,366	100,552	104,382	108,583	111,998	114,979	118,622	121,863	125,003	128,150	131,555	133,538	135,211	137,248	
年末透析患者数	219,183	229,538	237,710	248,166	257,765	264,473	275,242	283,421	290,661	298,252	304,856	310,007	314,438	320,448	324,986	329,609	334,505	
年間導入患者数	33,243	33,710	33,966	35,084	36,063	36,373	36,934	38,180	37,566	37,512	38,613	38,055	38,095	38,327	39,462	39,344	40,959	
年間死亡患者数	19,850	20,614	21,672	22,715	23,983	24,034	25,253	27,266	27,646	28,882	30,743	30,710	30,751	30,707	31,068	31,790	32,532	
人口100万人対患者数	1,721.9	1,801.2	1,862.7	1,943.5	2,017.6	2,069.9	2,154.2	2,219.6	2,279.5	2,329.1	2,385.4	2,431.1	2,470.1	2,521.6	2,557.0	2,596.7	2,640.0	

(施設調査による集計)

補足表3 慢性透析患者 年齢と性別, 2017

年齢	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
5歳未満	19 (0.0)	22 (0.0)	41 (0.0)	0	41 (0.0)
5歳～	15 (0.0)	11 (0.0)	26 (0.0)	0	26 (0.0)
10歳～	12 (0.0)	13 (0.0)	25 (0.0)	0	25 (0.0)
15歳～	42 (0.0)	37 (0.0)	79 (0.0)	0	79 (0.0)
20歳～	146 (0.1)	85 (0.1)	231 (0.1)	0	231 (0.1)
25歳～	415 (0.2)	188 (0.2)	603 (0.2)	0	603 (0.2)
30歳～	1,038 (0.5)	461 (0.4)	1,499 (0.5)	0	1,499 (0.5)
35歳～	2,360 (1.1)	1,032 (0.9)	3,392 (1.1)	0	3,392 (1.1)
40歳～	5,529 (2.6)	2,264 (2.0)	7,793 (2.4)	0	7,793 (2.4)
45歳～	10,034 (4.8)	4,015 (3.6)	14,049 (4.4)	0	14,049 (4.4)
50歳～	13,761 (6.6)	5,539 (4.9)	19,300 (6.0)	0	19,300 (6.0)
55歳～	17,080 (8.2)	7,623 (6.8)	24,703 (7.7)	0	24,703 (7.7)
60歳～	22,935 (11.0)	11,194 (9.9)	34,129 (10.6)	0	34,129 (10.6)
65歳～	36,502 (17.5)	18,697 (16.6)	55,199 (17.2)	0	55,199 (17.2)
70歳～	33,059 (15.8)	17,545 (15.6)	50,604 (15.7)	0	50,604 (15.7)
75歳～	29,116 (13.9)	16,937 (15.0)	46,053 (14.3)	0	46,053 (14.3)
80歳～	22,546 (10.8)	14,451 (12.8)	36,997 (11.5)	0	36,997 (11.5)
85歳～	11,099 (5.3)	9,020 (8.0)	20,119 (6.3)	0	20,119 (6.3)
90歳～	2,871 (1.4)	3,055 (2.7)	5,926 (1.8)	0	5,926 (1.8)
95歳～	291 (0.1)	457 (0.4)	748 (0.2)	0	748 (0.2)
合計	208,870 (100.0)	112,646 (100.0)	321,516 (100.0)	0	321,516 (100.0)
不明	0	0	0	0	0
記載なし	0	2	2	0	2
総計	208,870	112,648	321,518	0	321,518
平均	67.63	69.92	68.43		68.43
標準偏差	12.41	12.52	12.50		12.50

(患者調査による集計)

補足表4 慢性透析患者 平均年齢の推移, 1983-2017

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
慢性透析患者 平均年齢	48.3	49.2	50.3	51.1	52.1	52.9	53.8	54.5	55.3	56.0	56.6	57.3	58.0	58.6	59.2	59.9	60.6	61.2
年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
慢性透析患者 平均年齢	61.6	62.2	62.8	63.3	63.9	64.4	64.9	65.3	65.8	66.2	66.6	66.9	67.2	67.5	67.9	68.2	68.4	

(患者調査による集計)

補足表5 慢性透析患者 年齢分布の推移, 1982-2017

年	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
～19歳	849	683	628	527	517	587	505	438	470	606	580	576	596	579	555	546	516	473
20～29歳	3,050	3,060	2,972	2,900	2,758	2,927	2,703	2,512	2,656	2,985	2,947	3,001	3,153	3,125	3,240	3,177	3,028	2,846
30～39歳	9,378	10,191	10,790	11,490	11,695	12,285	11,089	9,782	9,611	9,913	9,426	9,340	9,123	8,984	8,842	8,934	8,857	8,541
40～49歳	10,668	12,030	13,399	14,609	15,493	18,495	19,671	20,011	22,088	25,169	25,751	26,510	27,355	28,420	29,267	28,019	26,087	23,958
50～59歳	9,835	11,783	13,512	15,648	17,418	21,196	22,221	22,254	25,259	30,444	32,392	35,043	37,711	39,047	41,068	43,463	46,401	48,113
60～64歳	3,346	4,101	5,086	6,094	6,931	8,943	9,922	10,496	12,296	15,045	16,596	18,069	20,056	21,817	23,550	25,052	25,838	25,965
65～69歳	2,633	3,107	3,628	4,469	5,066	6,382	7,177	7,837	9,388	12,060	13,566	15,612	17,600	19,572	21,635	23,484	25,160	26,208
70～74歳	1,657	2,232	2,788	3,437	3,975	4,899	5,339	5,497	6,669	8,370	9,371	10,756	12,450	14,016	16,277	18,597	20,607	22,066
75～79歳	668	955	1,258	1,662	2,021	2,896	3,377	3,853	4,608	5,891	6,550	7,350	8,126	9,200	10,471	11,738	13,282	14,657
80～89歳	180	256	369	541	725	1,179	1,430	1,730	2,384	3,252	3,872	4,787	6,003	7,052	8,366	9,344	10,650	11,679
90歳～	2	4	10	12	14	43	52	62	68	92	124	181	219	313	354	473	599	724
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
～19歳	417	388	389	308	274	253	227	232	215	215	179	183	215	210	226	207	188	171
20～29歳	2,809	2,572	2,427	2,246	2,039	1,842	1,653	1,571	1,454	1,346	1,260	1,221	1,119	1,027	928	866	816	834
30～39歳	8,953	8,910	8,896	8,860	8,681	8,228	8,371	8,235	7,960	7,687	7,312	7,009	6,674	6,251	5,789	5,459	5,206	4,891
40～49歳	23,371	22,601	21,895	21,227	20,454	19,798	19,530	20,203	20,385	20,690	20,999	21,360	21,534	21,837	21,901	21,674	22,365	21,842
50～59歳	51,868	53,261	54,600	55,504	55,390	55,779	56,711	55,424	52,730	49,874	47,261	45,802	44,593	43,933	43,263	43,064	43,195	44,003
60～64歳	28,155	29,890	31,358	33,417	34,975	33,666	33,492	36,939	39,849	42,982	46,894	48,955	47,162	44,032	40,352	37,925	36,197	34,129
65～69歳	29,022	30,473	32,733	33,747	34,759	35,290	37,469	39,521	41,922	43,932	43,160	42,203	45,664	49,118	52,259	55,981	58,289	55,199
70～74歳	25,001	26,212	28,638	30,564	32,198	33,966	35,862	38,861	40,096	41,173	42,638	44,581	45,430	47,622	49,367	47,728	47,143	50,604
75～79歳	16,953	18,466	20,961	23,248	25,272	26,767	28,552	31,638	33,565	35,605	37,951	39,700	41,255	41,937	42,251	43,032	45,215	46,053
80～89歳	13,978	15,034	16,785	18,714	20,639	22,765	25,663	29,090	32,133	35,174	38,028	40,681	43,578	46,210	48,746	51,716	54,398	57,116
90歳～	933	984	1,284	1,550	1,824	2,100	2,363	2,636	2,924	3,301	3,762	4,036	4,314	4,736	5,005	5,560	6,095	6,674

(患者調査による集計)

補足表6 慢性透析患者 透析歴と性別, 2017

透析歴	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
5年未満	103,706 (49.7)	48,710 (43.3)	152,416 (47.4)	0	152,416 (47.4)
5年～	52,564 (25.2)	27,026 (24.0)	79,590 (24.8)	0	79,590 (24.8)
10年～	25,103 (12.0)	15,294 (13.6)	40,397 (12.6)	0	40,397 (12.6)
15年～	13,007 (6.2)	9,232 (8.2)	22,239 (6.9)	0	22,239 (6.9)
20年～	6,958 (3.3)	5,578 (5.0)	12,536 (3.9)	0	12,536 (3.9)
25年～	3,696 (1.8)	3,319 (2.9)	7,015 (2.2)	0	7,015 (2.2)
30年～	2,074 (1.0)	1,952 (1.7)	4,026 (1.3)	0	4,026 (1.3)
35年～	1,150 (0.6)	1,021 (0.9)	2,171 (0.7)	0	2,171 (0.7)
40年～	473 (0.2)	448 (0.4)	921 (0.3)	0	921 (0.3)
合計	208,731 (100.0)	112,580 (100.0)	321,311 (100.0)	0	321,311 (100.0)
不明	139	67	206	0	206
記載なし	0	1	1	0	1
総計	208,870	112,648	321,518	0	321,518
平均	6.82	8.30	7.34		7.34
標準偏差	7.22	8.30	7.65		7.65

(患者調査による集計)

最長透析歴	49年4か月
-------	--------

補足表7 慢性透析患者 透析歴分布の推移, 1988-2017

年	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
～4年	47,087	46,617	52,327	63,584	65,835	71,547	77,690	82,757	89,049	93,402	97,230	99,120	106,993	107,803	113,075
5～9年	22,423	22,238	24,472	27,709	29,775	31,340	33,162	35,145	37,524	39,781	42,163	43,365	47,792	50,888	53,766
10～14年	11,783	12,285	13,704	15,418	16,438	17,102	18,228	18,934	19,820	20,604	21,052	21,150	22,826	24,050	25,376
15～19年	2,441	3,485	5,089	6,974	8,429	9,479	10,436	11,142	11,755	12,193	12,600	12,594	13,199	13,765	14,206
20～24年	28	95	242	566	1,170	2,001	3,035	4,202	5,364	6,308	6,952	7,342	8,024	8,450	8,765
25年～	0	0	0	2	8	23	75	193	448	874	1,485	2,114	3,076	4,080	5,008

年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
～4年	117,116	120,159	121,803	124,576	130,708	133,827	136,934	139,371	141,076	143,360	145,064	146,085	148,017	150,706	152,416
5～9年	56,169	58,357	59,295	62,117	66,076	68,617	71,251	73,320	75,073	75,991	77,197	77,862	77,801	79,145	79,590
10～14年	26,710	27,738	28,550	30,318	32,270	33,696	35,074	36,338	37,588	38,547	39,490	40,032	40,060	40,556	40,397
15～19年	14,463	14,453	14,605	15,419	16,472	17,265	18,111	18,852	19,534	20,238	20,874	21,213	21,555	22,094	22,239
20～24年	8,992	9,034	8,838	9,252	9,603	9,815	9,876	10,335	10,629	11,015	11,421	11,802	12,031	12,484	12,536
25年～	5,996	6,865	7,422	8,275	9,227	10,017	10,750	11,233	11,835	12,307	12,766	13,028	13,360	13,829	14,133

(患者調査による集計)

補足表8 慢性透析患者 原疾患と性別, 2017

	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
慢性糸球体腎炎	54,256 (26.0)	35,216 (31.3)	89,472 (27.8)	0	89,472 (27.8)
慢性腎盂腎炎	922 (0.4)	1,006 (0.9)	1,928 (0.6)	0	1,928 (0.6)
間質性腎炎	412 (0.2)	486 (0.4)	898 (0.3)	0	898 (0.3)
急速進行性糸球体腎炎	1,408 (0.7)	1,392 (1.2)	2,800 (0.9)	0	2,800 (0.9)
妊娠高血圧症候群	0 (0.0)	1,432 (1.3)	1,432 (0.4)	0	1,432 (0.4)
その他の分類不能の腎炎	667 (0.3)	450 (0.4)	1,117 (0.3)	0	1,117 (0.3)
多発性嚢胞腎	6,348 (3.0)	5,276 (4.7)	11,624 (3.6)	0	11,624 (3.6)
遺伝性疾患	385 (0.2)	204 (0.2)	589 (0.2)	0	589 (0.2)
腎硬化症	22,112 (10.6)	11,049 (9.8)	33,161 (10.3)	0	33,161 (10.3)
悪性高血圧	1,882 (0.9)	880 (0.8)	2,762 (0.9)	0	2,762 (0.9)
糖尿病性腎症	89,148 (42.7)	36,099 (32.0)	125,247 (39.0)	0	125,247 (39.0)
自己免疫性疾患に伴う腎炎	682 (0.3)	1,441 (1.3)	2,123 (0.7)	0	2,123 (0.7)
アミロイドーシスによる腎障害	177 (0.1)	248 (0.2)	425 (0.1)	0	425 (0.1)
痛風腎	919 (0.4)	135 (0.1)	1,054 (0.3)	0	1,054 (0.3)
腎・尿路結核	82 (0.0)	73 (0.1)	155 (0.0)	0	155 (0.0)
ウイルス感染症に伴う腎疾患	22 (0.0)	5 (0.0)	27 (0.0)	0	27 (0.0)
腎・尿路結石	385 (0.2)	201 (0.2)	586 (0.2)	0	586 (0.2)
腎・尿路腫瘍	728 (0.3)	213 (0.2)	941 (0.3)	0	941 (0.3)
閉塞性尿路障害・排尿障害	510 (0.2)	265 (0.2)	775 (0.2)	0	775 (0.2)
パラプロテイン血症(骨髄腫等)	156 (0.1)	107 (0.1)	263 (0.1)	0	263 (0.1)
急性腎障害	131 (0.1)	70 (0.1)	201 (0.1)	0	201 (0.1)
外因性腎障害	125 (0.1)	58 (0.1)	183 (0.1)	0	183 (0.1)
先天性腎尿路異常	366 (0.2)	240 (0.2)	606 (0.2)	0	606 (0.2)
原疾患不明	20,593 (9.9)	12,242 (10.9)	32,835 (10.2)	0	32,835 (10.2)
再導入	1,449 (0.7)	754 (0.7)	2,203 (0.7)	0	2,203 (0.7)
その他	5,005 (2.4)	3,106 (2.8)	8,111 (2.5)	0	8,111 (2.5)
合計	208,870 (100.0)	112,648 (100.0)	321,518 (100.0)	0	321,518 (100.0)
記載なし	0	0	0	0	0
総計	208,870	112,648	321,518	0	321,518

(患者調査による集計)

補足表9 慢性透析患者 原疾患割合の推移, 1983-2017

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
糖尿病性腎症	7.4	8.4	9.4	10.5	11.7	12.8	14.0	14.9	16.4	17.1	18.2	19.2	20.4	21.6	22.7	24.0	25.1	26.0
慢性糸球体腎炎	74.5	72.1	72.3	70.6	69.4	67.9	65.9	64.1	61.7	60.4	58.8	57.7	56.6	55.4	54.1	52.5	51.1	49.7
腎硬化症	1.5	1.7	1.9	2.0	2.1	2.1	2.3	2.6	2.9	3.1	3.4	3.6	3.8	4.0	4.2	4.4	4.5	4.8
多発性嚢胞腎	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
慢性腎盂腎炎, 間質性腎炎	3.1	3.3	2.6	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4
急速進行性糸球体腎炎	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6
自己免疫性疾患に伴う腎炎	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0
不明	2.2	2.3	2.3	2.5	2.6	2.5	2.6	2.6	2.9	2.9	2.9	3.1	3.2	3.6	3.9	4.2	4.4	5.0

年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
糖尿病性腎症	27.2	28.1	29.2	30.2	31.4	32.3	33.4	34.2	35.1	35.9	36.7	37.1	37.6	38.1	38.4	38.8	39.0
慢性糸球体腎炎	49.6	48.2	46.6	45.1	43.6	42.2	40.4	39.0	37.6	36.2	34.8	33.6	32.4	31.3	29.8	28.8	27.8
腎硬化症	5.0	5.1	5.3	5.7	5.9	6.2	6.5	6.8	7.1	7.5	7.9	8.3	8.7	9.1	9.5	9.9	10.3
多発性嚢胞腎	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6
慢性腎盂腎炎, 間質性腎炎	1.4	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9
急速進行性糸球体腎炎	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9
自己免疫性疾患に伴う腎炎	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
不明	5.6	5.9	6.3	6.4	6.6	7.0	7.4	7.6	7.7	8.0	8.2	8.5	8.7	8.9	9.5	9.8	10.2

(患者調査による集計)

補足表10 慢性透析患者 死亡原因と性別, 2017

死因	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
心不全	4,743 (23.2)	2,741 (25.6)	7,484 (24.0)	0	7,484 (24.0)
脳血管障害	1,163 (5.7)	692 (6.5)	1,855 (6.0)	0	1,855 (6.0)
感染症	4,453 (21.8)	2,103 (19.6)	6,556 (21.1)	0	6,556 (21.1)
消化管出血	266 (1.3)	170 (1.6)	436 (1.4)	0	436 (1.4)
悪性腫瘍	2,061 (10.1)	741 (6.9)	2,802 (9.0)	0	2,802 (9.0)
悪液質/尿毒症/老衰等	865 (4.2)	750 (7.0)	1,615 (5.2)	0	1,615 (5.2)
心筋梗塞	846 (4.1)	351 (3.3)	1,197 (3.8)	0	1,197 (3.8)
カリウム中毒/頓死	434 (2.1)	170 (1.6)	604 (1.9)	0	604 (1.9)
肝硬変症	138 (0.7)	54 (0.5)	192 (0.6)	0	192 (0.6)
自殺/拒否	146 (0.7)	50 (0.5)	196 (0.6)	0	196 (0.6)
腸閉塞	179 (0.9)	120 (1.1)	299 (1.0)	0	299 (1.0)
血液疾患	77 (0.4)	37 (0.3)	114 (0.4)	0	114 (0.4)
肺疾患	518 (2.5)	197 (1.8)	715 (2.3)	0	715 (2.3)
災害・事故死	96 (0.5)	29 (0.3)	125 (0.4)	0	125 (0.4)
その他	1,942 (9.5)	1,312 (12.2)	3,254 (10.4)	0	3,254 (10.4)
不明	2,497 (12.2)	1,198 (11.2)	3,695 (11.9)	0	3,695 (11.9)
合計	20,424 (100.0)	10,715 (100.0)	31,139 (100.0)	0	31,139 (100.0)
記載なし	3	3	6	0	6
総計	20,427	10,718	31,145	0	31,145

(患者調査による集計)

補足表 11 慢性透析患者 死亡原因割合の推移, 1983-2017

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
心不全	30.3	30.5	31.3	33.2	32.7	36.5	33.4	30.4	30.5	31.1	29.9	28.2	25.4	24.1	23.9	24.1	24.3	23.2
感染症	11.0	11.5	11.5	12.0	12.0	12.2	11.7	11.6	12.1	11.3	12.2	12.6	13.8	14.6	14.9	15.0	16.3	16.6
脳血管障害	14.2	15.4	14.2	14.0	14.2	12.9	13.2	13.9	13.7	13.6	13.5	14.1	13.5	12.9	12.6	12.1	11.3	11.3
悪性腫瘍	7.7	6.9	6.4	6.9	5.8	6.9	7.6	8.2	7.6	7.1	7.4	7.3	7.2	7.7	8.1	7.7	7.6	8.3
心筋梗塞	5.3	4.8	5.3	6.1	6.0	5.4	5.3	5.8	5.8	5.8	5.7	7.1	7.5	7.4	8.4	7.9	7.4	7.0

年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
心不全	25.5	25.1	25.0	25.1	25.8	24.9	24.0	23.7	23.6	27.0	26.6	27.2	26.8	26.3	26.0	25.7	24.0
感染症	16.3	15.9	18.5	18.8	19.2	19.9	18.9	19.9	20.7	20.3	20.3	20.4	20.8	20.9	22.0	21.9	21.1
脳血管障害	11.6	11.2	10.7	10.6	9.8	9.4	8.9	8.6	8.4	8.1	7.7	7.5	7.2	7.1	6.6	6.5	6.0
悪性腫瘍	8.5	8.5	8.5	9.0	9.0	9.2	9.2	9.2	9.4	9.8	9.1	9.1	9.4	9.0	9.3	9.7	9.0
心筋梗塞	7.4	7.4	6.2	5.4	5.1	4.4	4.4	4.1	4.0	4.7	4.6	4.5	4.3	4.3	4.3	3.9	3.8

(患者調査による集計)

補足表 12 慢性透析患者 粗死亡率の推移, 1983-2017

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
粗死亡率 (%)	9.0	8.9	9.1	9.0	8.5	9.2	7.9	9.6	8.9	9.7	9.4	9.5	9.7	9.4	9.4	9.2	9.7	9.2

年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
粗死亡率 (%)	9.3	9.2	9.3	9.4	9.5	9.2	9.4	9.8	9.6	9.8	10.2	10.0	9.8	9.7	9.6	9.7	9.8

(施設調査による集計)

補足表 13 導入患者 年齢と性別, 2017

年齢	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
5歳未満	9 (0.0)	8 (0.1)	17 (0.0)	0	17 (0.0)
5歳～	4 (0.0)	1 (0.0)	5 (0.0)	0	5 (0.0)
10歳～	4 (0.0)	6 (0.0)	10 (0.0)	0	10 (0.0)
15歳～	11 (0.0)	9 (0.1)	20 (0.1)	0	20 (0.1)
20歳～	49 (0.2)	16 (0.1)	65 (0.2)	0	65 (0.2)
25歳～	84 (0.3)	40 (0.3)	124 (0.3)	0	124 (0.3)
30歳～	186 (0.7)	75 (0.6)	261 (0.7)	0	261 (0.7)
35歳～	342 (1.3)	134 (1.1)	476 (1.2)	0	476 (1.2)
40歳～	694 (2.6)	241 (2.0)	935 (2.4)	0	935 (2.4)
45歳～	1,207 (4.5)	426 (3.5)	1,633 (4.2)	0	1,633 (4.2)
50歳～	1,584 (5.9)	531 (4.4)	2,115 (5.5)	0	2,115 (5.5)
55歳～	1,792 (6.7)	654 (5.4)	2,446 (6.3)	0	2,446 (6.3)
60歳～	2,429 (9.1)	932 (7.7)	3,361 (8.7)	0	3,361 (8.7)
65歳～	3,924 (14.7)	1,594 (13.2)	5,518 (14.2)	0	5,518 (14.2)
70歳～	4,022 (15.1)	1,616 (13.3)	5,638 (14.5)	0	5,638 (14.5)
75歳～	4,137 (15.5)	1,908 (15.8)	6,045 (15.6)	0	6,045 (15.6)
80歳～	3,661 (13.7)	2,134 (17.6)	5,795 (14.9)	0	5,795 (14.9)
85歳～	2,011 (7.5)	1,316 (10.9)	3,327 (8.6)	0	3,327 (8.6)
90歳～	493 (1.8)	420 (3.5)	913 (2.4)	0	913 (2.4)
95歳～	34 (0.1)	48 (0.4)	82 (0.2)	0	82 (0.2)
合計	26,677 (100.0)	12,109 (100.0)	38,786 (100.0)	0	38,786 (100.0)
不明	0	0	0	0	0
記載なし	0	0	0	0	0
総計	26,677	12,109	38,786	0	38,786
平均	68.90	71.41	69.68		69.68
標準偏差	13.26	13.47	13.38		13.38

(患者調査による集計)

補足表 14 導入患者 平均年齢の推移, 1983-2017

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
導入患者 平均年齢	51.9	53.2	54.4	55.1	55.9	56.9	57.4	58.1	58.1	59.5	59.8	60.4	61.0	61.5	62.2	62.7	63.4	63.8
年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
導入患者 平均年齢	64.2	64.7	65.4	65.8	66.2	66.4	66.8	67.2	67.3	67.8	67.8	68.4	68.7	69.0	69.2	69.4	69.7	

(患者調査による集計)

補足表 15 導入患者 原疾患と性別, 2017

	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
慢性糸球体腎炎	4,148 (15.5)	2,179 (18.0)	6,327 (16.3)	0	6,327 (16.3)
慢性腎盂腎炎	78 (0.3)	53 (0.4)	131 (0.3)	0	131 (0.3)
間質性腎炎	64 (0.2)	63 (0.5)	127 (0.3)	0	127 (0.3)
急速進行性糸球体腎炎	315 (1.2)	315 (2.6)	630 (1.6)	0	630 (1.6)
妊娠高血圧症候群	0 (0.0)	30 (0.2)	30 (0.1)	0	30 (0.1)
その他の分類不能の腎炎	82 (0.3)	47 (0.4)	129 (0.3)	0	129 (0.3)
多発性嚢胞腎	567 (2.1)	437 (3.6)	1,004 (2.6)	0	1,004 (2.6)
遺伝性疾患	57 (0.2)	26 (0.2)	83 (0.2)	0	83 (0.2)
腎硬化症	3,875 (14.5)	1,814 (15.0)	5,689 (14.7)	0	5,689 (14.7)
悪性高血圧	224 (0.8)	121 (1.0)	345 (0.9)	0	345 (0.9)
糖尿病性腎症	12,157 (45.6)	4,335 (35.8)	16,492 (42.5)	0	16,492 (42.5)
自己免疫性疾患に伴う腎炎	72 (0.3)	138 (1.1)	210 (0.5)	0	210 (0.5)
アミロイドーシスによる腎障害	40 (0.1)	53 (0.4)	93 (0.2)	0	93 (0.2)
痛風腎	69 (0.3)	14 (0.1)	83 (0.2)	0	83 (0.2)
腎・尿路結核	3 (0.0)	2 (0.0)	5 (0.0)	0	5 (0.0)
ウイルス感染症に伴う腎疾患	21 (0.1)	2 (0.0)	23 (0.1)	0	23 (0.1)
腎・尿路結石	45 (0.2)	24 (0.2)	69 (0.2)	0	69 (0.2)
腎・尿路腫瘍	135 (0.5)	36 (0.3)	171 (0.4)	0	171 (0.4)
閉塞性尿路障害・排尿障害	66 (0.2)	24 (0.2)	90 (0.2)	0	90 (0.2)
パラプロテイン血症(骨髄腫等)	46 (0.2)	31 (0.3)	77 (0.2)	0	77 (0.2)
急性腎障害	187 (0.7)	81 (0.7)	268 (0.7)	0	268 (0.7)
外因性腎障害	100 (0.4)	39 (0.3)	139 (0.4)	0	139 (0.4)
先天性腎尿路異常	19 (0.1)	16 (0.1)	35 (0.1)	0	35 (0.1)
原疾患不明	3,395 (12.7)	1,734 (14.3)	5,129 (13.2)	0	5,129 (13.2)
再導入	128 (0.5)	61 (0.5)	189 (0.5)	0	189 (0.5)
その他	784 (2.9)	434 (3.6)	1,218 (3.1)	0	1,218 (3.1)
合計	26,677 (100.0)	12,109 (100.0)	38,786 (100.0)	0	38,786 (100.0)
記載なし	0	0	0	0	0
総計	26,677	12,109	38,786	0	38,786

(患者調査による集計)

補足表 16 導入患者 原疾患割合の推移, 1983-2017

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
糖尿病性腎症	15.6	17.4	19.6	21.3	22.1	24.3	26.5	26.2	28.1	28.4	29.9	30.7	31.9	33.1	33.9	35.7	36.2	36.6
慢性糸球体腎炎	60.5	58.7	56.0	54.8	54.2	49.9	47.4	46.1	44.2	42.2	41.4	40.5	39.4	38.9	36.6	35.0	33.6	32.5
腎硬化症	3.0	3.3	3.5	3.7	3.9	3.9	4.1	5.4	5.5	5.9	6.2	6.1	6.3	6.4	6.8	6.7	7.0	7.6
多発性嚢胞腎	2.8	2.8	3.1	2.9	3.2	3.1	3.1	2.9	3.0	2.7	2.6	2.5	2.4	2.5	2.4	2.4	2.2	2.4
慢性腎盂腎炎, 間質性腎炎	2.4	2.2	2.1	2	1.8	1.8	1.5	1.5	1.7	1.6	1.1	1.4	1.2	1.1	1.2	1.1	1.1	1.0
急速進行性糸球体腎炎	0.9	0.7	0.9	1.0	0.8	0.9	0.8	0.7	0.6	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	1.1	0.9	0.9	1.0
自己免疫性疾患に伴う腎炎	1.1	1.1	1.1	1.2	0.9	0.9	1.0	1.1	1.3	1.3	1.2	1.2	1.1	1.3	1.0	1.1	1.2	0.9
不明	4.4	4.0	4.8	4.2	4.1	3.8	4.0	3.3	3.7	3.7	3.3	3.9	4.5	5.0	5.5	5.6	6.1	7.6

年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
糖尿病性腎症	38.1	39.1	41.0	41.3	42.0	42.9	43.4	43.3	44.5	43.6	44.3	44.2	43.8	43.5	43.7	43.2	42.5
慢性糸球体腎炎	32.4	31.9	29.1	28.1	27.4	25.6	23.8	22.8	21.9	21.0	20.2	19.4	18.8	17.8	16.9	16.6	16.3
腎硬化症	7.6	7.8	8.5	8.8	9.0	9.4	10.0	10.6	10.7	11.7	11.8	12.3	13.1	14.2	14.2	14.2	14.7
多発性嚢胞腎	2.3	2.4	2.3	2.7	2.3	2.4	2.3	2.5	2.3	2.4	2.5	2.5	2.5	2.7	2.6	2.6	2.6
慢性腎盂腎炎, 間質性腎炎	1.1	0.9	1.0	0.9	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
急速進行性糸球体腎炎	1.0	1.1	1.2	1.1	1.1	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3	1.6
自己免疫性疾患に伴う腎炎	1.0	0.9	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5
不明	9.0	8.4	8.8	9.3	9.5	9.9	10.2	10.6	10.7	10.7	10.9	11.0	11.3	11.3	12.2	12.8	13.2

(患者調査による集計)

補足表 17 導入患者 死亡原因と性別, 2017

死因	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
心不全	284 (18.9)	189 (24.6)	473 (20.8)	0	473 (20.8)
脳血管障害	63 (4.2)	39 (5.1)	102 (4.5)	0	102 (4.5)
感染症	405 (26.9)	183 (23.9)	588 (25.9)	0	588 (25.9)
消化管出血	25 (1.7)	15 (2.0)	40 (1.8)	0	40 (1.8)
悪性腫瘍	181 (12.0)	64 (8.3)	245 (10.8)	0	245 (10.8)
悪液質/尿毒症/老衰等	64 (4.2)	31 (4.0)	95 (4.2)	0	95 (4.2)
心筋梗塞	53 (3.5)	20 (2.6)	73 (3.2)	0	73 (3.2)
カリウム中毒/頓死	19 (1.3)	12 (1.6)	31 (1.4)	0	31 (1.4)
肝硬変症	19 (1.3)	8 (1.0)	27 (1.2)	0	27 (1.2)
自殺/拒否	11 (0.7)	6 (0.8)	17 (0.7)	0	17 (0.7)
腸閉塞	6 (0.4)	11 (1.4)	17 (0.7)	0	17 (0.7)
血液疾患	16 (1.1)	6 (0.8)	22 (1.0)	0	22 (1.0)
肺疾患	52 (3.5)	15 (2.0)	67 (2.9)	0	67 (2.9)
災害・事故死	2 (0.1)	3 (0.4)	5 (0.2)	0	5 (0.2)
その他	175 (11.6)	106 (13.8)	281 (12.4)	0	281 (12.4)
不明	131 (8.7)	59 (7.7)	190 (8.4)	0	190 (8.4)
合計	1,506 (100.0)	767 (100.0)	2,273 (100.0)	0	2,273 (100.0)
記載なし	0	0	0	0	0
総計	1,506	767	2,273	0	2,273

(患者調査による集計)

補足表 18 導入患者 死亡原因割合の推移, 1990-2017

年	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
心不全	32.3	33.4	32.6	32.3	30.0	26.9	22.6	23.4	24.4	23.3	22.8	26.0	24.6	23.9
感染症	14.1	15.7	12.6	14.2	14.5	16.6	18.7	17.8	18.3	19.8	19.7	19.4	21.1	23.8
脳血管障害	10.8	9.5	8.8	8.9	8.6	9.5	8.2	9.2	7.4	7.1	7.3	8.2	7.4	7.6
悪性腫瘍	8.6	7.4	7.5	7.5	8.4	7.8	9.1	9.0	6.4	8.3	9.2	9.3	9.3	9.5
心筋梗塞	3.8	4.6	4.5	3.7	5.6	5.5	5.2	6.0	5.1	5.1	4.8	5.2	5.3	4.2

年	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
心不全	23.3	24.3	22.8	23.2	24.1	21.8	24.9	25.0	25.5	23.8	23.8	24.7	22.1	20.8
感染症	23.6	23.7	26.4	24.2	25.2	26.1	26.5	24.5	25.7	26.0	25.8	25.8	26.4	25.9
脳血管障害	6.3	6.5	5.9	5.5	5.1	5.4	4.8	5.4	5.2	6.1	4.5	5.7	5.9	4.5
悪性腫瘍	9.1	9.4	10.4	10.3	9.8	10.4	12.5	11.6	10.6	12.1	11.4	10.9	12.2	10.8
心筋梗塞	3.8	3.8	3.2	3.5	2.8	3.5	3.0	3.5	2.8	3.0	3.3	2.8	2.9	3.2

(患者調査による集計)

補足表 19 透析施設における (a) 透析液 ET 測定頻度と (b) ET 濃度, 2017

ET 測定値	毎日	毎週	隔週	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
0.001 EU/mL 未満 (%)	26 (0.8)	179 (5.2)	265 (7.7)	2,514 (73.0)	244 (7.1)	217 (6.3)	0 (0.0)	3,445 (100.0)	1	0	3,446
0.001~0.01 EU/mL 未満 (%)	1 (0.2)	19 (4.3)	26 (5.9)	332 (75.1)	45 (10.2)	19 (4.3)	0 (0.0)	442 (100.0)	2	0	444
0.01~0.05 EU/mL 未満 (%)	0 (0.0)	5 (3.2)	12 (7.7)	102 (65.4)	23 (14.7)	14 (9.0)	0 (0.0)	156 (100.0)	0	0	156
0.05~0.1 EU/mL 未満 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (8.3)	48 (80.0)	5 (8.3)	2 (3.3)	0 (0.0)	60 (100.0)	0	0	60
0.1~0.25 EU/mL 未満 (%)	1 (2.4)	2 (4.9)	4 (9.8)	23 (56.1)	5 (12.2)	6 (14.6)	0 (0.0)	41 (100.0)	0	0	41
0.25~0.5 EU/mL 未満 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.7)	18 (66.7)	4 (14.8)	4 (14.8)	0 (0.0)	27 (100.0)	0	0	27
0.5 EU/mL 以上 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (21.4)	7 (50.0)	3 (21.4)	1 (7.1)	0 (0.0)	14 (100.0)	0	0	14
合計 (%)	28 (0.7)	205 (4.9)	316 (7.6)	3,044 (72.7)	329 (7.9)	263 (6.3)	0 (0.0)	4,185 (100.0)	3	0	4,188
不明 (%)	3 (3.1)	1 (1.0)	0 (0.0)	4 (4.2)	2 (2.1)	2 (2.1)	84 (87.5)	96 (100.0)	35	0	131
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (100.0)	24 (100.0)	0	3	27
総計 (%)	31 (0.7)	206 (4.8)	316 (7.3)	3,048 (70.8)	331 (7.7)	265 (6.2)	108 (2.5)	4,305 (100.0)	38	3	4,346

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 20 透析施設における (a) 透析液 ET 測定頻度と (b) ET 濃度の推移, 2006-2017

(a)

年	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
月1回以上 (%)	953 (27.3)	1,153 (31.5)	1,253 (33.1)	1,373 (36.0)	2,810 (70.6)	2,914 (71.9)	3,141 (76.3)	3,238 (77.7)	3,329 (78.7)	3,424 (80.9)	3,526 (82.9)	3,601 (83.6)
月1回未満 (%)	2,535 (72.7)	2,511 (68.5)	2,531 (66.9)	2,436 (64.0)	1,170 (29.4)	1,137 (28.1)	977 (23.7)	929 (22.3)	900 (21.3)	809 (19.1)	728 (17.1)	704 (16.4)
合計 (%)	3,488 (100.0)	3,664 (100.0)	3,784 (100.0)	3,809 (100.0)	3,980 (100.0)	4,051 (100.0)	4,118 (100.0)	4,167 (100.0)	4,229 (100.0)	4,233 (100.0)	4,254 (100.0)	4,305 (100.0)
不明	185	209	244	193	92	99	77	65	69	63	63	38
記載なし	312	179	53	48	52	27	8	3	6	7	1	3
総計	3,985	4,052	4,081	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

(b)

年	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
0.001 EU/mL 未満 (%)	817 (29.8)	1,688 (53.0)	— —	1,865 (56.1)	2,343 (62.1)	2,549 (66.0)	2,787 (70.7)	2,963 (73.9)	3,167 (77.6)	3,268 (79.5)	3,406 (82.2)	3,446 (82.3)
0.001 EU/mL 以上 0.05 EU/mL 未満 (%)	1,627 (59.2)	1,295 (40.6)	— —	933 (28.1)	1,115 (29.6)	1,042 (27.0)	938 (23.8)	849 (21.2)	759 (18.6)	718 (17.5)	619 (14.9)	600 (14.3)
0.05 EU/mL 以上 (%)	302 (11.0)	203 (6.4)	— —	527 (15.8)	314 (8.3)	271 (7.0)	216 (5.5)	195 (4.9)	153 (3.8)	123 (3.0)	119 (2.9)	142 (3.4)
合計 (%)	2,746 (100.0)	3,186 (100.0)	— —	3,325 (100.0)	3,772 (100.0)	3,862 (100.0)	3,941 (100.0)	4,007 (100.0)	4,079 (100.0)	4,109 (100.0)	4,144 (100.0)	4,188 (100.0)
不明	—	215	—	253	105	112	197	148	164	131	128	131
記載なし	1,239	651	—	472	247	203	65	80	61	63	46	27
総計	3,985	4,052	—	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346

* 2008年は単位表記をEU/L→EU/mLに変更した年。誤記入が多かったと思われるため出力せず
(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 21 透析施設における (a) 透析液生菌数の測定頻度と (b) 生菌数, 2017

生菌数	毎日	毎週	隔週	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
0.1 cfu/mL 未満 (%)	19 (0.6)	141 (4.5)	222 (7.1)	2,280 (72.9)	223 (7.1)	244 (7.8)	0 (0.0)	3,129 (100.0)	0	0	3,129
0.1 cfu/mL~ (%)	2 (0.4)	31 (6.4)	42 (8.7)	344 (71.4)	43 (8.9)	20 (4.1)	0 (0.0)	482 (100.0)	0	0	482
1 cfu/mL~ (%)	0 (0.0)	10 (3.3)	26 (8.5)	223 (72.6)	29 (9.4)	19 (6.2)	0 (0.0)	307 (100.0)	0	0	307
10 cfu/mL~ (%)	0 (0.0)	2 (1.8)	3 (2.7)	86 (76.1)	11 (9.7)	11 (9.7)	0 (0.0)	113 (100.0)	0	0	113
100 cfu/mL 以上 (%)	0 (0.0)	1 (2.4)	5 (12.2)	29 (70.7)	4 (9.8)	2 (4.9)	0 (0.0)	41 (100.0)	0	0	41
合計 (%)	21 (0.5)	185 (4.5)	298 (7.3)	2,962 (72.7)	310 (7.6)	296 (7.3)	0 (0.0)	4,072 (100.0)	0	0	4,072
不明 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.7)	19 (11.0)	7 (4.1)	10 (5.8)	133 (77.3)	172 (100.0)	53	0	225
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	45 (100.0)	45 (100.0)	1	3	49
総計 (%)	21 (0.5)	185 (4.3)	301 (7.0)	2,981 (69.5)	317 (7.4)	306 (7.1)	178 (4.2)	4,289 (100.0)	54	3	4,346

(施設調査による集計)
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 22 透析施設における (a) 透析液生菌数の測定頻度と (b) 生菌数の推移, 2006-2017

(a)

年	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
月1回以上 (%)	371 (11.5)	580 (16.9)	751 (20.8)	934 (25.8)	2,649 (67.8)	2,794 (70.0)	3,018 (73.7)	3,091 (74.7)	3,148 (74.8)	3,189 (75.7)	3,276 (77.3)	3,488 (81.3)
月1回未満 (%)	2,857 (88.5)	2,861 (83.1)	2,856 (79.2)	2,693 (74.2)	1,260 (32.2)	1,196 (30.0)	1,077 (26.3)	1,046 (25.3)	1,059 (25.2)	1,023 (24.3)	963 (22.7)	801 (18.7)
合計 (%)	3,228 (100.0)	3,441 (100.0)	3,607 (100.0)	3,627 (100.0)	3,909 (100.0)	3,990 (100.0)	4,095 (100.0)	4,137 (100.0)	4,207 (100.0)	4,212 (100.0)	4,239 (100.0)	4,289 (100.0)
不明	386	412	418	367	158	159	100	94	90	84	78	54
記載なし	371	199	56	56	57	28	8	4	7	7	1	3
総計	3,985	4,052	4,081	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

(b)

年	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
0.1 cfu/mL 未満 (%)	508 (48.4)	750 (47.9)	915 (50.7)	1,123 (54.5)	1,819 (53.1)	2,017 (56.4)	2,397 (63.8)	2,570 (67.1)	2,811 (71.5)	2,905 (73.2)	3,057 (76.1)	3,129 (76.8)
0.1 cfu/mL 以上 100 cfu/mL 未満 (%)	509 (48.5)	775 (49.5)	847 (46.9)	901 (43.7)	1,542 (45.0)	1,498 (41.9)	1,305 (34.7)	1,214 (31.7)	1,079 (27.5)	1,037 (26.1)	930 (23.2)	902 (22.2)
100 cfu/mL 以上 (%)	32 (3.1)	40 (2.6)	43 (2.4)	38 (1.8)	62 (1.8)	62 (1.7)	55 (1.5)	46 (1.2)	40 (1.0)	24 (0.6)	28 (0.7)	41 (1.0)
合計 (%)	1,049 (100.0)	1,565 (100.0)	1,805 (100.0)	2,062 (100.0)	3,423 (100.0)	3,577 (100.0)	3,757 (100.0)	3,830 (100.0)	3,930 (100.0)	3,966 (100.0)	4,015 (100.0)	4,072 (100.0)
不明	2,036	552	575	494	216	227	320	273	264	227	232	225
記載なし	900	1,935	1,701	1,494	485	373	126	132	110	110	71	49
総計	3,985	4,052	4,081	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 23 透析液 ET 濃度と生菌数, 2017

生菌数	0.001 EU/mL 未満	0.001~0.01 EU/mL 未満	0.01~0.05 EU/mL 未満	0.05~0.1 EU/mL 未満	0.1~0.25 EU/mL 未満	0.25~0.5 EU/mL 未満	0.5 EU/mL 以上	合計	不明	記載なし	総計
0.1 cfu/mL 未満 (%)	2,942 (94.2)	137 (4.4)	33 (1.1)	7 (0.2)	2 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.0)	3,122 (100.0)	7	0	3,129
0.1 cfu/mL~ (%)	259 (54.1)	157 (32.8)	39 (8.1)	14 (2.9)	5 (1.0)	4 (0.8)	1 (0.2)	479 (100.0)	3	0	482
1 cfu/mL~ (%)	114 (37.1)	101 (32.9)	44 (14.3)	20 (6.5)	17 (5.5)	10 (3.3)	1 (0.3)	307 (100.0)	0	0	307
10 cfu/mL~ (%)	37 (32.7)	23 (20.4)	26 (23.0)	9 (8.0)	9 (8.0)	6 (5.3)	3 (2.7)	113 (100.0)	0	0	113
100 cfu/mL 以上 (%)	12 (29.3)	5 (12.2)	5 (12.2)	4 (9.8)	5 (12.2)	4 (9.8)	6 (14.6)	41 (100.0)	0	0	41
合計 (%)	3,364 (82.8)	423 (10.4)	147 (3.6)	54 (1.3)	38 (0.9)	24 (0.6)	12 (0.3)	4,062 (100.0)	10	0	4,072
不明 (%)	68 (64.8)	16 (15.2)	9 (8.6)	5 (4.8)	2 (1.9)	3 (2.9)	2 (1.9)	105 (100.0)	120	0	225
記載なし (%)	14 (66.7)	5 (23.8)	0 (0.0)	1 (4.8)	1 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	21 (100.0)	1	27	49
総計 (%)	3,446 (82.3)	444 (10.6)	156 (3.7)	60 (1.4)	41 (1.0)	27 (0.6)	14 (0.3)	4,188 (100.0)	131	27	4,346

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 24 透析施設における超純粋透析液および標準透析液達成率の推移，2009-2017

年	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
超純粋透析液 (ET濃度0.001EU/mL未滿かつ 生菌数0.1cfu/mL未滿)の施設 (%)	866 (43.1)	1,512 (44.4)	1,735 (48.7)	2,152 (57.5)	2,325 (60.8)	2,602 (66.4)	2,704 (68.3)	2,863 (71.4)	2,942 (72.4)
標準透析液 (ET濃度0.05EU/mL未滿かつ 生菌数100cfu/mL未滿)の施設 (%)	1,725 (85.9)	3,124 (91.8)	3,307 (92.8)	3,525 (94.2)	3,624 (94.8)	3,753 (95.8)	3,833 (96.8)	3,888 (97.0)	3,912 (96.3)

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 25 透析用水の供給水源

透析用水の 供給水源	水道水	地下水	ブレンド	その他	合計	不明	記載 なし	総計
施設数 (%)	3,668 (85.2)	377 (8.8)	251 (5.8)	10 (0.2)	4,306 (100.0)	36	4	4,346

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 26 残留塩素の (a) 測定頻度および (b) 測定方法

(a)

残留塩素の 測定頻度	毎日	週1回	月数回	月1回	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載 なし	総計
施設数 (%)	2,377 (55.7)	927 (21.7)	74 (1.7)	225 (5.3)	120 (2.8)	34 (0.8)	510 (12.0)	4,267 (100.0)	75	4	4,346

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

(b)

残留塩素の 測定方法	遊離塩素 と総塩素	遊離塩素 のみ	総塩素 のみ	その他	合計	不明	記載 なし	総計
施設数 (%)	1,275 (32.2)	1,812 (45.7)	799 (20.2)	79 (2.0)	3,965 (100.0)	328	53	4,346

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 27 日本透析医学会 化学的汚染基準の (a) 認知度および (b) 測定頻度

(a)

日本透析医学会 化学的汚染基準 の認知	よく知っ ている	知って いる	あまり 知らない	全く 知らない	合計	不明	記載 なし	総計
施設数 (%)	815 (19.2)	2,638 (62.2)	677 (16.0)	112 (2.6)	4,242 (100.0)	97	7	4,346

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

(b)

日本透析医学会 化学的汚染基準 の測定頻度	月1回	年数回	年1回	数年に 1回	その他	なし	合計	不明	記載 なし	総計
施設数 (%)	272 (6.6)	374 (9.1)	1,544 (37.6)	378 (9.2)	190 (4.6)	1,348 (32.8)	4,106 (100.0)	234	6	4,346

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 28 HD・HDF 患者数の推移, 2009-2017

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
施設血液透析	253,807	262,973	270,072	268,275	264,211	255,641	248,725	233,704	218,760
on-line HDF (%)	6,852 (40.7)	4,829 (32.5)	4,890 (34.6)	14,069 (64.8)	23,536 (75.0)	36,090 (83.4)	44,527 (82.8)	59,116 (79.0)	70,604 (76.8)
off-line HDF (%)	9,299 (55.2)	9,421 (63.4)	8,573 (60.7)	7,157 (32.9)	7,149 (22.8)	6,315 (14.6)	5,332 (9.9)	4,637 (6.2)	3,961 (4.3)
Push/Pull HDF (%)	237 (1.4)	159 (1.1)	145 (1.0)	109 (0.5)	263 (0.8)	537 (1.2)	110 (0.2)	66 (0.1)	36 (0.0)
AFBF (%)	465 (2.8)	458 (3.1)	507 (3.6)	390 (1.8)	423 (1.3)	341 (0.8)	267 (0.5)	252 (0.3)	242 (0.3)
IHDF (%)							3,540 (6.6)	10,728 (14.3)	17,105 (18.6)
HDF 合計 (%)	16,853 (100.0)	14,867 (100.0)	14,115 (100.0)	21,725 (100.0)	31,371 (100.0)	43,283 (100.0)	53,776 (100.0)	74,799 (100.0)	91,948 (100.0)
HD・HDF 合計	270,660	277,840	284,187	290,000	295,582	298,924	302,501	308,503	310,708

(患者調査による集計)

補足表 29 HDF・HD 患者 年齢と性別, 2017

HDF 患者

年齢	男性	女性	合計	記載なし	総計
15歳未満 (%)	1 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.0)	0	1 (0.0)
15歳～ (%)	200 (0.3)	97 (0.3)	297 (0.3)	0	297 (0.3)
30歳～ (%)	3,175 (5.3)	1,341 (4.2)	4,516 (4.9)	0	4,516 (4.9)
45歳～ (%)	13,944 (23.3)	5,924 (18.4)	19,868 (21.6)	0	19,868 (21.6)
60歳～ (%)	26,870 (44.9)	14,472 (45.1)	41,342 (45.0)	0	41,342 (45.0)
75歳～ (%)	15,017 (25.1)	9,645 (30.0)	24,662 (26.8)	0	24,662 (26.8)
90歳～ (%)	620 (1.0)	642 (2.0)	1,262 (1.4)	0	1,262 (1.4)
合計 (%)	59,827 (100.0)	32,121 (100.0)	91,948 (100.0)	0	91,948 (100.0)
不明	0	0	0	0	0
記載なし	0	0	0	0	0
総計	59,827	32,121	91,948	0	91,948
平均	65.86	68.00	66.61		66.61
標準偏差	12.47	12.39	12.48		12.48

(患者調査による集計)

HD 患者

年齢	男性	女性	合計	記載なし	総計
15歳未満 (%)	2 (0.0)	3 (0.0)	5 (0.0)	0	5 (0.0)
15歳～ (%)	348 (0.2)	174 (0.2)	522 (0.2)	0	522 (0.2)
30歳～ (%)	5,320 (3.7)	2,177 (2.8)	7,497 (3.4)	0	7,497 (3.4)
45歳～ (%)	25,058 (17.6)	10,326 (13.5)	35,384 (16.2)	0	35,384 (16.2)
60歳～ (%)	62,421 (43.9)	31,249 (40.8)	93,670 (42.8)	0	93,670 (42.8)
75歳～ (%)	46,515 (32.7)	29,893 (39.0)	76,408 (34.9)	0	76,408 (34.9)
90歳～ (%)	2,475 (1.7)	2,797 (3.7)	5,272 (2.4)	0	5,272 (2.4)
合計 (%)	142,139 (100.0)	76,619 (100.0)	218,758 (100.0)	0	218,758 (100.0)
不明	0	0	0	0	0
記載なし	0	2	2	0	2
総計	142,139	76,621	218,760	0	218,760
平均	68.58	71.01	69.43		69.43
標準偏差	12.21	12.27	12.29		12.29

(患者調査による集計)

補足表 30 HDF・HD患者 透析歴と性別, 2017

HDF患者

	5年未満	5年～	10年～	15年～	20年～	25年～	30年～	35年～	40年～	合計	不明	記載なし	総計	平均	標準偏差
男性 (%)	25,035 (41.9)	16,159 (27.0)	8,271 (13.8)	4,626 (7.7)	2,645 (4.4)	1,527 (2.6)	862 (1.4)	476 (0.8)	202 (0.3)	59,803 (100.0)	24	0	59,827	8.12	7.82
女性 (%)	11,154 (34.7)	7,763 (24.2)	4,931 (15.4)	3,222 (10.0)	2,160 (6.7)	1,410 (4.4)	838 (2.6)	444 (1.4)	190 (0.6)	32,112 (100.0)	9	0	32,121	10.10	9.04
合計 (%)	36,189 (39.4)	23,922 (26.0)	13,202 (14.4)	7,848 (8.5)	4,805 (5.2)	2,937 (3.2)	1,700 (1.8)	920 (1.0)	392 (0.4)	91,915 (100.0)	33	0	91,948	8.81	8.32
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
総計 (%)	36,189 (39.4)	23,922 (26.0)	13,202 (14.4)	7,848 (8.5)	4,805 (5.2)	2,937 (3.2)	1,700 (1.8)	920 (1.0)	392 (0.4)	91,915 (100.0)	33	0	91,948	8.81	8.32

(患者調査による集計)

HD患者

	5年未満	5年～	10年～	15年～	20年～	25年～	30年～	35年～	40年～	合計	不明	記載なし	総計	平均	標準偏差
男性 (%)	74,009 (52.1)	35,289 (24.8)	16,547 (11.7)	8,218 (5.8)	4,145 (2.9)	2,025 (1.4)	1,039 (0.7)	546 (0.4)	212 (0.1)	142,030 (100.0)	109	0	142,139	6.32	6.78
女性 (%)	35,341 (46.2)	18,593 (24.3)	10,176 (13.3)	5,868 (7.7)	3,242 (4.2)	1,750 (2.3)	943 (1.2)	468 (0.6)	189 (0.2)	76,570 (100.0)	50	1	76,621	7.54	7.68
合計 (%)	109,350 (50.0)	53,882 (24.6)	26,723 (12.2)	14,086 (6.4)	7,387 (3.4)	3,775 (1.7)	1,982 (0.9)	1,014 (0.5)	401 (0.2)	218,600 (100.0)	159	1	218,760	6.75	7.13
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
総計 (%)	109,350 (50.0)	53,882 (24.6)	26,723 (12.2)	14,086 (6.4)	7,387 (3.4)	3,775 (1.7)	1,982 (0.9)	1,014 (0.5)	401 (0.2)	218,600 (100.0)	159	1	218,760	6.75	7.13

(患者調査による集計)

補足表 31 PDを除く体外循環患者 膜素材と治療方法, 2017

治療方法	PS	PES	CTA	PEPA	PMMA	PAN	EVAL	その他	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析 (%)	110,606 (56.5)	32,067 (16.4)	30,633 (15.6)	5,983 (3.1)	7,963 (4.1)	3,822 (2.0)	2,910 (1.5)	1,899 (1.0)	195,883 (100.0)	25	22,852	218,760
血液透析濾過 (%)	35,832 (43.5)	29,891 (36.3)	11,752 (14.3)	3,816 (4.6)	112 (0.1)	99 (0.1)	20 (0.0)	914 (1.1)	82,436 (100.0)	20	9,492	91,948
血液濾過 (%)	10 (41.7)	10 (41.7)	3 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.2)	24 (100.0)	0	5	29
血液吸着透析 (%)	820 (62.9)	257 (19.7)	89 (6.8)	27 (2.1)	55 (4.2)	27 (2.1)	8 (0.6)	20 (1.5)	1,303 (100.0)	0	129	1,432
在宅血液透析 (%)	360 (66.1)	82 (15.0)	54 (9.9)	19 (3.5)	24 (4.4)	1 (0.2)	3 (0.6)	2 (0.4)	545 (100.0)	0	135	680
合計 (%)	147,628 (52.7)	62,307 (22.2)	42,531 (15.2)	9,845 (3.5)	8,154 (2.9)	3,949 (1.4)	2,941 (1.0)	2,836 (1.0)	280,191 (100.0)	45	32,613	312,849
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計 (%)	147,628 (52.7)	62,307 (22.2)	42,531 (15.2)	9,845 (3.5)	8,154 (2.9)	3,949 (1.4)	2,941 (1.0)	2,836 (1.0)	280,191 (100.0)	45	32,613	312,849

(患者調査による集計)

補足表 32 on-line HDF 患者・off-line HDF 患者・IHDF 患者 膜素材と希釈方法, 2017

on-line HDF								off-line HDF								IHDF											
膜の種類 (膜素材)	前希釈	後希釈	前・後 希釈	その他	合計	不明	記載 なし	総計	膜の種類 (膜素材)	前希釈	後希釈	前・後 希釈	その他	合計	不明	記載 なし	総計	膜の種類 (膜素材)	前希釈	後希釈	前・後 希釈	その他	合計	不明	記載 なし	総計	
PS (%)	24,206 (41.8)	1,174 (43.4)	0	138 (59.7)	25,518 (41.9)	0 (0.0)	1,150 (48.5)	26,668 (42.2)	PS (%)	184 (42.9)	1,461 (52.4)	4 (100.0)	3 (60.0)	1,652 (51.2)	2 (100.0)	207 (57.7)	1,861 (51.9)	PS (%)	799 (40.5)	177 (53.6)	6 (5.1)	2,862 (48.3)	3,844 (46.0)	14 (20.9)	3,294 (47.3)	7,152 (46.5)	
PES (%)	21,363 (36.9)	891 (32.9)	0	60 (26.0)	22,314 (36.7)	2 (100.0)	695 (29.3)	23,011 (36.4)	PES (%)	156 (36.4)	922 (33.1)	0 (0.0)	2 (40.0)	1,080 (33.5)	0 (0.0)	91 (25.3)	1,171 (32.6)	PES (%)	828 (41.9)	85 (25.8)	19 (16.1)	2,264 (38.2)	3,196 (38.3)	42 (62.7)	2,401 (34.5)	5,639 (36.7)	
CTA (%)	8,957 (15.5)	435 (16.1)	0	10 (4.3)	9,402 (15.5)	0 (0.0)	359 (15.1)	9,761 (15.4)	CTA (%)	39 (9.1)	249 (8.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	288 (8.9)	0 (0.0)	34 (9.5)	322 (9.0)	CTA (%)	207 (10.5)	54 (16.4)	92 (78.0)	578 (9.8)	931 (11.1)	1 (1.5)	719 (10.3)	1,651 (10.7)	
PEPA (%)	2,695 (4.7)	140 (5.2)	0	22 (9.5)	2,857 (4.7)	0 (0.0)	101 (4.3)	2,958 (4.7)	PEPA (%)	34 (7.9)	90 (3.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	124 (3.8)	0 (0.0)	6 (1.7)	130 (3.6)	PEPA (%)	110 (5.6)	8 (2.4)	1 (0.8)	151 (2.5)	270 (3.2)	0 (0.0)	450 (6.5)	720 (4.7)	
PMMA (%)	43 (0.1)	3 (0.1)	0	0 (0.0)	46 (0.1)	0 (0.0)	18 (0.8)	64 (0.1)	PMMA (%)	0 (0.0)	17 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (0.5)	0 (0.0)	5 (1.4)	22 (0.6)	PMMA (%)	2 (0.1)	1 (0.3)	0 (0.0)	7 (0.1)	10 (0.1)	0 (0.0)	9 (0.1)	19 (0.1)	
PAN (%)	19 (0.0)	5 (0.2)	0	0 (0.0)	24 (0.0)	0 (0.0)	16 (0.7)	40 (0.1)	PAN (%)	3 (0.7)	22 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	25 (0.8)	0 (0.0)	9 (2.5)	34 (0.9)	PAN (%)	2 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (0.1)	7 (0.1)	0 (0.0)	12 (0.2)	19 (0.1)	
EVAL (%)	4 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	4 (0.0)	0 (0.0)	6 (0.3)	10 (0.0)	EVAL (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.6)	2 (0.1)	EVAL (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.1)	3 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.0)	6 (0.0)	
その他 (%)	606 (1.0)	58 (2.1)	0	1 (0.4)	665 (1.1)	0 (0.0)	25 (1.1)	690 (1.1)	その他 (%)	13 (3.0)	27 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	40 (1.2)	0 (0.0)	5 (1.4)	45 (1.3)	その他 (%)	26 (1.3)	5 (1.5)	0 (0.0)	58 (1.0)	89 (1.1)	10 (14.9)	80 (1.1)	179 (1.2)	
合計 (%)	57,893 (100.0)	2,706 (100.0)	0	231 (100.0)	60,830 (100.0)	2 (100.0)	3,587 (100.0)	63,202 (100.0)	合計 (%)	429 (100.0)	2,788 (100.0)	4 (100.0)	5 (100.0)	3,226 (100.0)	2 (100.0)	359 (100.0)	3,587 (100.0)	合計 (%)	1,974 (100.0)	330 (100.0)	118 (100.0)	5,928 (100.0)	8,350 (100.0)	67 (100.0)	6,968 (100.0)	15,385 (100.0)	
不明	15	0	0	0	15	0	0	15	不明	0	3	0	0	3	0	0	3	不明	0	0	0	0	0	0	0	2	2
記載なし	1,710	25	0	0	1,735	1	5,651	7,387	記載なし	9	59	0	0	68	0	303	371	記載なし	40	2	0	146	188	2	1,528	1,718	
総計	59,618	2,731	0	231	62,580	3	8,021	70,604	総計	438	2,850	4	5	3,297	2	662	3,961	総計	2,014	332	118	6,074	8,538	69	8,498	17,105	

(患者調査による集計)

(患者調査による集計)

(患者調査による集計)

補足表 33 PD を除く体外循環患者 膜機能分類と治療方法, 2017

治療方法	I a 型	I b 型	II a 型	II b 型	S 型	特定 積層型	ヘモダイヤ フィルタ	その他	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析 (%)	108,177 (55.2)	72 (0.0)	64,843 (33.1)	4,362 (2.2)	10,873 (5.6)	3,822 (2.0)	1,835 (0.9)	1,899 (1.0)	195,883 (100.0)	25	22,852	218,760
血液透析濾過 (%)	1,157 (1.4)	2 (0.0)	864 (1.0)	72 (0.1)	132 (0.2)	99 (0.1)	79,196 (96.1)	914 (1.1)	82,436 (100.0)	20	9,492	91,948
血液濾過 (%)	2 (8.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	21 (87.5)	1 (4.2)	24 (100.0)	0	5	29
血液吸着透析 (%)	470 (36.1)	2 (0.2)	646 (49.6)	51 (3.9)	63 (4.8)	27 (2.1)	24 (1.8)	20 (1.5)	1,303 (100.0)	0	129	1,432
在宅血液透析 (%)	299 (54.9)	0 (0.0)	191 (35.0)	18 (3.3)	27 (5.0)	1 (0.2)	7 (1.3)	2 (0.4)	545 (100.0)	0	135	680
合計 (%)	110,105 (39.3)	76 (0.0)	66,544 (23.7)	4,503 (1.6)	11,095 (4.0)	3,949 (1.4)	81,083 (28.9)	2,836 (1.0)	280,191 (100.0)	45	32,613	312,849
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計 (%)	110,105 (39.3)	76 (0.0)	66,544 (23.7)	4,503 (1.6)	11,095 (4.0)	3,949 (1.4)	81,083 (28.9)	2,836 (1.0)	280,191 (100.0)	45	32,613	312,849

(患者調査による集計)

補足表 34 PD を除く体外循環患者 膜面積と治療方法, 2017

治療方法	1.0m ² 未満	1.0m ² ～	1.2m ² ～	1.4m ² ～	1.6m ² ～	1.8m ² ～	2.0m ² ～	2.2m ² ～	2.4m ² ～	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
施設血液透析 (%)	2,939 (1.5)	11,106 (5.7)	18,070 (9.3)	53,584 (27.4)	10,575 (5.4)	28,534 (14.6)	51,626 (26.4)	4,773 (2.4)	14,110 (7.2)	195,317 (100.0)	23,443	218,760	1.75	0.40
血液透析濾過 (%)	122 (0.1)	1,407 (1.7)	2,702 (3.3)	16,621 (20.2)	3,325 (4.0)	9,339 (11.4)	28,314 (34.4)	8,583 (10.4)	11,824 (14.4)	82,237 (100.0)	9,711	91,948	1.96	0.38
血液濾過 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (8.7)	3 (13.0)	0 (0.0)	2 (8.7)	15 (65.2)	0 (0.0)	1 (4.3)	23 (100.0)	6	29	1.93	0.30
血液吸着透析 (%)	4 (0.3)	25 (1.9)	50 (3.8)	340 (26.2)	63 (4.8)	236 (18.2)	464 (35.7)	50 (3.8)	67 (5.2)	1,299 (100.0)	133	1,432	1.84	0.33
在宅血液透析 (%)	0 (0.0)	3 (0.6)	6 (1.1)	62 (11.4)	12 (2.2)	87 (16.0)	240 (44.1)	59 (10.8)	75 (13.8)	544 (100.0)	136	680	2.03	0.30
合計 (%)	3,065 (1.1)	12,541 (4.5)	20,830 (7.5)	70,610 (25.3)	13,975 (5.0)	38,198 (13.7)	80,659 (28.9)	13,465 (4.8)	26,077 (9.3)	279,420 (100.0)	33,429	312,849	1.81	0.40
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
総計 (%)	3,065 (1.1)	12,541 (4.5)	20,830 (7.5)	70,610 (25.3)	13,975 (5.0)	38,198 (13.7)	80,659 (28.9)	13,465 (4.8)	26,077 (9.3)	279,420 (100.0)	33,429	312,849	1.81	0.40

(患者調査による集計)

補足表 35 on-line HDF 患者・off-line HDF 患者・IHDF 患者 膜面積と希釈方法, 2017

on-line HDF											off-line HDF											IHDF										
膜面積	前希釈	後希釈	前・後希釈	その他	合計	不明	記載なし	総計	膜面積	前希釈	後希釈	前・後希釈	その他	合計	不明	記載なし	総計	膜面積	前希釈	後希釈	前・後希釈	その他	合計	不明	記載なし	総計						
1.0 m ² 未満 (%)	31 (0.1)	3 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.1)	34 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.1)	36 (0.1)	1.0 m ² 未満 (%)	4 (0.9)	10 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (0.4)	0 (0.0)	2 (0.6)	16 (0.4)	1.0 m ² 未満 (%)	15 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	43 (0.7)	58 (0.7)	0 (0.0)	10 (0.1)	68 (0.4)						
1.0 m ² ～ (%)	545 (0.9)	24 (0.9)	0 (0.0)	10 (4.3)	579 (1.0)	0 (0.0)	49 (2.0)	628 (1.0)	1.0 m ² ～ (%)	33 (7.7)	123 (4.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	156 (4.8)	0 (0.0)	12 (3.3)	168 (4.7)	1.0 m ² ～ (%)	95 (4.8)	23 (7.0)	0 (0.0)	199 (3.4)	317 (3.8)	0 (0.0)	280 (4.1)	597 (3.9)						
1.2 m ² ～ (%)	1269 (2.2)	122 (4.5)	0 (0.0)	19 (8.3)	1410 (2.3)	0 (0.0)	62 (2.5)	1472 (2.3)	1.2 m ² ～ (%)	32 (7.5)	141 (5.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	173 (5.4)	0 (0.0)	20 (5.5)	193 (5.4)	1.2 m ² ～ (%)	134 (6.8)	16 (4.9)	6 (5.1)	368 (6.2)	524 (6.3)	1 (1.5)	488 (7.1)	1013 (6.6)						
1.4 m ² ～ (%)	9860 (17.1)	521 (19.3)	0 (0.0)	80 (34.8)	10461 (17.2)	0 (0.0)	491 (20.1)	10952 (17.4)	1.4 m ² ～ (%)	131 (30.5)	765 (27.4)	2 (50.0)	2 (40.0)	290 (27.9)	0 (0.0)	105 (29.1)	1005 (28.0)	1.4 m ² ～ (%)	663 (33.6)	130 (39.5)	2 (1.7)	1514 (25.6)	2309 (27.7)	13 (19.4)	2273 (33.2)	4595 (30.1)						
1.6 m ² ～ (%)	2232 (3.9)	134 (5.0)	0 (0.0)	9 (3.9)	2375 (3.9)	0 (0.0)	67 (2.7)	2442 (3.9)	1.6 m ² ～ (%)	12 (2.8)	109 (3.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	121 (3.7)	1 (100.0)	21 (5.8)	143 (4.0)	1.6 m ² ～ (%)	78 (4.0)	6 (1.8)	42 (35.6)	342 (5.8)	468 (5.6)	0 (0.0)	265 (3.9)	733 (4.8)						
1.8 m ² ～ (%)	6700 (11.6)	287 (10.6)	0 (0.0)	27 (11.7)	7014 (11.6)	0 (0.0)	191 (7.8)	7205 (11.4)	1.8 m ² ～ (%)	57 (13.3)	334 (12.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	391 (12.1)	0 (0.0)	43 (11.9)	434 (12.1)	1.8 m ² ～ (%)	168 (8.5)	10 (3.0)	2 (1.7)	712 (12.0)	892 (10.7)	1 (1.5)	762 (11.1)	1655 (10.8)						
2.0 m ² ～ (%)	20812 (36.0)	1082 (40.1)	0 (0.0)	52 (22.6)	21946 (36.2)	1 (50.0)	821 (33.7)	22768 (36.1)	2.0 m ² ～ (%)	100 (23.3)	1020 (36.5)	2 (50.0)	1 (20.0)	1123 (34.8)	0 (0.0)	113 (31.3)	1236 (34.4)	2.0 m ² ～ (%)	547 (27.7)	111 (33.7)	49 (41.5)	1565 (26.4)	2272 (27.2)	43 (64.2)	1923 (28.1)	4238 (27.8)						
2.2 m ² ～ (%)	6775 (11.7)	70 (2.6)	0 (0.0)	23 (10.0)	6868 (11.3)	0 (0.0)	360 (14.8)	7228 (11.5)	2.2 m ² ～ (%)	18 (4.2)	52 (1.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	70 (2.2)	0 (0.0)	22 (6.1)	92 (2.6)	2.2 m ² ～ (%)	162 (8.2)	27 (8.2)	1 (0.8)	590 (10.0)	780 (9.4)	8 (11.9)	463 (6.8)	1251 (8.2)						
2.4 m ² ～ (%)	9531 (16.5)	454 (16.8)	0 (0.0)	10 (4.3)	9995 (16.5)	1 (50.0)	395 (16.2)	10391 (16.5)	2.4 m ² ～ (%)	42 (9.8)	238 (8.5)	0 (0.0)	2 (40.0)	282 (8.7)	0 (0.0)	23 (6.4)	305 (8.5)	2.4 m ² ～ (%)	111 (5.6)	6 (1.8)	16 (13.6)	586 (9.9)	719 (8.6)	1 (1.5)	390 (5.7)	1110 (7.3)						
合計 (%)	57,755 (100.0)	2,697 (100.0)	0 (100.0)	230 (100.0)	60,682 (100.0)	2 (100.0)	2,438 (100.0)	63,122 (100.0)	合計 (%)	429 (100.0)	2,792 (100.0)	4 (100.0)	5 (100.0)	3,230 (100.0)	1 (100.0)	361 (100.0)	3,592 (100.0)	合計 (%)	1,973 (100.0)	329 (100.0)	118 (100.0)	5,919 (100.0)	8,339 (100.0)	67 (100.0)	6,854 (100.0)	15,260 (100.0)						
記載なし	1,863	34	0	1	1,898	1	5,583	7,482	記載なし	9	58	0	0	67	1	301	369	記載なし	41	3	0	155	199	2	1,644	1,845						
総計	59,618	2,731	0	231	62,580	3	8,021	70,604	総計	438	2,850	4	5	3,297	2	662	3,961	総計	2,014	332	118	6,074	8,538	69	8,498	17,105						
平均	2.01	1.97		1.76	2.00	2.30	1.99	2.00	平均	1.76	1.83	1.80	2.02	1.82	1.70	1.81	1.82	平均	1.78	1.75	1.96	1.85	1.83	1.99	1.78	1.81						
標準偏差	0.36	0.39		0.37	0.36	0.28	0.38	0.36	標準偏差	0.44	0.38	0.35	0.50	0.39		0.37	0.39	標準偏差	0.39	0.36	0.32	0.39	0.39	0.27	0.37	0.38						

(患者調査による集計)

(患者調査による集計)

(患者調査による集計)

補足表 36 透析時間と治療方法, 2017

治療方法	180分未満	180分～	210分～	240分～	270分～	300分～	330分～	360分～	390分～	420分～	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
施設血液透析 (%)	561 (0.3)	23,596 (11.6)	15,027 (7.4)	137,761 (67.9)	9,713 (4.8)	13,809 (6.8)	540 (0.3)	1,079 (0.5)	137 (0.1)	786 (0.4)	203,009 (100.0)	15,751	218,760	238.70	33.53
血液透析濾過 (%)	249 (0.3)	5,803 (6.8)	5,946 (6.9)	59,551 (69.3)	6,501 (7.6)	6,904 (8.0)	348 (0.4)	503 (0.6)	48 (0.1)	75 (0.1)	85,928 (100.0)	6,020	91,948	243.19	29.36
血液濾過 (%)	0 (0.0)	5 (17.2)	6 (20.7)	16 (55.2)	0 (0.0)	2 (6.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	29 (100.0)	0	29	227.59	30.55
血液吸着透析 (%)	4 (0.3)	16 (1.2)	46 (3.3)	874 (63.5)	182 (13.2)	208 (15.1)	17 (1.2)	19 (1.4)	4 (0.3)	7 (0.5)	1,377 (100.0)	55	1,432	256.35	34.31
在宅血液透析 (%)	49 (8.8)	106 (19.1)	40 (7.2)	143 (25.8)	21 (3.8)	83 (15.0)	8 (1.4)	40 (7.2)	11 (2.0)	53 (9.6)	554 (100.0)	126	680	261.47	89.77
腹膜透析 (%)	5 (0.4)	136 (10.5)	34 (2.6)	950 (73.1)	44 (3.4)	117 (9.0)	2 (0.2)	5 (0.4)	3 (0.2)	3 (0.2)	1,299 (100.0)	7,370	8,669	241.06	32.91
合計 (%)	868 (0.3)	29,662 (10.2)	21,099 (7.2)	199,295 (68.2)	16,461 (5.6)	21,123 (7.2)	915 (0.3)	1,646 (0.6)	203 (0.1)	924 (0.3)	292,196 (100.0)	29,322	321,518	240.16	32.66
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総計 (%)	868 (0.3)	29,662 (10.2)	21,099 (7.2)	199,295 (68.2)	16,461 (5.6)	21,123 (7.2)	915 (0.3)	1,646 (0.6)	203 (0.1)	924 (0.3)	292,196 (100.0)	29,322	321,518	240.16	32.66

(患者調査による集計)

補足表 37 血流量と治療方法, 2017

治療方法	100mL/分未満	100mL/分～	120mL/分～	140mL/分～	160mL/分～	180mL/分～	200mL/分～	220mL/分～	240mL/分～	260mL/分～	280mL/分～	300mL/分～	350mL/分～	400mL/分～	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
施設血液透析 (%)	56 (0.0)	896 (0.4)	2,158 (1.1)	16,736 (8.3)	4,294 (2.1)	25,020 (12.5)	88,608 (44.1)	25,849 (12.9)	26,670 (13.3)	2,077 (1.0)	2,544 (1.3)	4,812 (2.4)	619 (0.3)	486 (0.2)	200,825 (100.0)	17,935	218,760	206.00	36.74
血液透析濾過 (%)	8 (0.0)	99 (0.1)	300 (0.4)	3,132 (3.7)	1,053 (1.2)	6,271 (7.4)	28,947 (34.0)	14,152 (16.6)	20,126 (23.6)	1,870 (2.2)	2,660 (3.1)	5,363 (6.3)	758 (0.9)	369 (0.4)	85,108 (100.0)	6,840	91,948	224.12	40.29
血液濾過 (%)	0 (0.0)	1 (3.4)	2 (6.9)	1 (3.4)	0 (0.0)	2 (6.9)	15 (51.7)	3 (10.3)	5 (17.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	29 (100.0)	0	29	198.97	36.78
血液吸着透析 (%)	0 (0.0)	1 (0.1)	6 (0.4)	31 (2.3)	23 (1.7)	113 (8.4)	565 (42.0)	261 (19.4)	255 (19.0)	20 (1.5)	32 (2.4)	27 (2.0)	2 (0.1)	8 (0.6)	1,344 (100.0)	88	1,432	216.56	34.92
在宅血液透析 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.2)	14 (2.6)	9 (1.7)	29 (5.3)	222 (40.8)	94 (17.3)	114 (21.0)	10 (1.8)	9 (1.7)	38 (7.0)	4 (0.7)	0 (0.0)	544 (100.0)	136	680	222.30	36.19
腹膜透析 (%)	0 (0.0)	11 (0.9)	16 (1.2)	109 (8.5)	6 (0.5)	108 (8.4)	556 (43.3)	149 (11.6)	214 (16.7)	18 (1.4)	35 (2.7)	52 (4.1)	7 (0.5)	2 (0.2)	1,283 (100.0)	7,386	8,669	211.51	40.96
合計 (%)	64 (0.0)	1,008 (0.3)	2,483 (0.9)	20,023 (6.9)	5,385 (1.9)	31,543 (10.9)	118,913 (41.1)	40,508 (14.0)	47,384 (16.4)	3,995 (1.4)	5,280 (1.8)	10,292 (3.6)	1,390 (0.5)	865 (0.3)	289,133 (100.0)	32,385	321,518	211.43	38.72
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総計 (%)	64 (0.0)	1,008 (0.3)	2,483 (0.9)	20,023 (6.9)	5,385 (1.9)	31,543 (10.9)	118,913 (41.1)	40,508 (14.0)	47,384 (16.4)	3,995 (1.4)	5,280 (1.8)	10,292 (3.6)	1,390 (0.5)	865 (0.3)	289,133 (100.0)	32,385	321,518	211.43	38.72

(患者調査による集計)

補足表 38 透析前 β2-MG 濃度と治療方法, 2017

治療方法	10mg/L未満	10mg/L～	15mg/L～	20mg/L～	25mg/L～	30mg/L～	35mg/L～	40mg/L～	45mg/L～	50mg/L～	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
施設血液透析 (%)	1,209 (0.8)	4,961 (3.1)	16,468 (10.4)	36,236 (22.8)	52,502 (33.1)	30,995 (19.5)	10,785 (6.8)	3,358 (2.1)	1,428 (0.9)	849 (0.5)	158,791 (100.0)	59,969	218,760	26.95	7.01
血液透析濾過 (%)	397 (0.6)	1,479 (2.1)	6,036 (8.6)	17,170 (24.3)	25,328 (35.9)	13,644 (19.3)	4,242 (6.0)	1,363 (1.9)	516 (0.7)	360 (0.5)	70,535 (100.0)	21,413	91,948	27.10	6.51
血液濾過 (%)	0 (0.0)	1 (5.9)	3 (17.6)	1 (5.9)	8 (47.1)	3 (17.6)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (100.0)	12	29	25.89	6.44
血液吸着透析 (%)	1 (0.1)	20 (1.8)	204 (18.0)	411 (36.2)	334 (29.4)	118 (10.4)	29 (2.6)	11 (1.0)	6 (0.5)	2 (0.2)	1,136 (100.0)	296	1,432	24.56	5.67
在宅血液透析 (%)	6 (1.3)	34 (7.6)	126 (28.0)	166 (36.9)	84 (18.7)	25 (5.6)	6 (1.3)	1 (0.2)	2 (0.4)	0 (0.0)	450 (100.0)	230	680	22.11	5.81
腹膜透析 (%)	64 (1.6)	369 (9.4)	642 (16.4)	671 (17.2)	639 (16.4)	621 (15.9)	486 (12.4)	237 (6.1)	102 (2.6)	74 (1.9)	3,905 (100.0)	4,764	8,669	27.20	10.22
合計 (%)	1,677 (0.7)	6,864 (2.9)	23,479 (10.0)	54,655 (23.3)	78,895 (33.6)	45,406 (19.3)	15,549 (6.6)	4,970 (2.1)	2,054 (0.9)	1,285 (0.5)	234,834 (100.0)	86,684	321,518	26.98	6.93
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総計 (%)	1,677 (0.7)	6,864 (2.9)	23,479 (10.0)	54,655 (23.3)	78,895 (33.6)	45,406 (19.3)	15,549 (6.6)	4,970 (2.1)	2,054 (0.9)	1,285 (0.5)	234,834 (100.0)	86,684	321,518	26.98	6.93

(患者調査による集計)

補足表 39 HD 患者 透析前 β2-MG 濃度とダイアライザ機能分類, 2017

透析前 β2-MG 濃度	I a 型	I b 型	II a 型	II b 型	S 型	特定積層型	ヘモダイアフィルタ	その他	合計	不明	記載なし	総計
10mg/L 未満 (%)	759 (0.9)	1 (1.9)	240 (0.5)	13 (0.3)	122 (1.4)	32 (1.1)	12 (0.8)	9 (0.7)	1,188 (0.8)	0 (0.0)	21 (0.6)	1,209 (0.8)
10mg/L～ (%)	3,083 (3.6)	2 (3.8)	1,124 (2.2)	77 (2.0)	411 (4.8)	75 (2.5)	29 (2.0)	67 (4.9)	4,868 (3.1)	0 (0.0)	93 (2.5)	4,961 (3.1)
15mg/L～ (%)	9,687 (11.3)	8 (15.1)	4,546 (8.9)	312 (8.3)	1,046 (12.3)	199 (6.6)	129 (9.1)	133 (9.8)	16,060 (10.4)	1 (4.2)	407 (10.9)	16,468 (10.4)
20mg/L～ (%)	19,814 (23.2)	14 (26.4)	11,995 (23.4)	854 (22.6)	1,675 (19.6)	435 (14.4)	331 (23.2)	312 (22.9)	35,430 (22.9)	8 (33.3)	798 (21.3)	36,236 (22.8)
25mg/L～ (%)	27,556 (32.2)	16 (30.2)	18,481 (36.0)	1,337 (35.5)	2,225 (26.1)	727 (24.1)	465 (32.7)	446 (32.8)	51,253 (33.1)	9 (37.5)	1,240 (33.1)	52,502 (33.1)
30mg/L～ (%)	15,982 (18.7)	9 (17.0)	10,362 (20.2)	793 (21.0)	1,704 (20.0)	807 (26.8)	292 (20.5)	255 (18.7)	30,204 (19.5)	4 (16.7)	787 (21.0)	30,995 (19.5)
35mg/L～ (%)	5,617 (6.6)	1 (1.9)	3,154 (6.1)	266 (7.1)	833 (9.8)	442 (14.7)	113 (7.9)	88 (6.5)	10,514 (6.8)	1 (4.2)	270 (7.2)	10,785 (6.8)
40mg/L～ (%)	1,831 (2.1)	1 (1.9)	849 (1.7)	65 (1.7)	282 (3.3)	179 (5.9)	30 (2.1)	37 (2.7)	3,274 (2.1)	1 (4.2)	83 (2.2)	3,358 (2.1)
45mg/L～ (%)	754 (0.9)	1 (1.9)	352 (0.7)	37 (1.0)	151 (1.8)	84 (2.8)	13 (0.9)	9 (0.7)	1,401 (0.9)	0 (0.0)	27 (0.7)	1,428 (0.9)
50mg/L～ (%)	459 (0.5)	0 (0.0)	218 (0.4)	17 (0.5)	88 (1.0)	33 (1.1)	10 (0.7)	5 (0.4)	830 (0.5)	0 (0.0)	19 (0.5)	849 (0.5)
合計 (%)	85,542 (100.0)	53 (100.0)	51,321 (100.0)	3,771 (100.0)	8,537 (100.0)	3,013 (100.0)	1,424 (100.0)	1,361 (100.0)	155,022 (100.0)	24 (100.0)	3,745 (100.0)	158,791 (100.0)
記載なし	22,635	19	13,522	591	2,336	809	411	538	40,861	1	19,107	59,969
総計	108,177	72	64,843	4,362	10,873	3,822	1,835	1,899	195,883	25	22,852	218,760
平均	26.68	25.42	27.10	27.49	27.34	30.02	27.44	26.75	26.95	27.70	27.23	26.95
標準偏差	7.13	6.95	6.42	6.47	8.40	8.16	6.96	7.32	7.01	5.69	6.93	7.01

(患者調査による集計)

補足表 40 on-line HDF 患者・off-line HDF 患者・IHDF 患者 透析前 β2-MG 濃度と希釈方法, 2017

on-line HDF							off-line HDF							IHDF										
透析前 β2-MG 濃度	前希釈	後希釈	前・後希釈	その他	合計	記載なし	総計	透析前 β2-MG 濃度	前希釈	後希釈	前・後希釈	その他	合計	記載なし	総計	透析前 β2-MG 濃度	前希釈	後希釈	前・後希釈	その他	合計	不明	記載なし	総計
10mg/L 未満 (%)	269 (0.5)	10 (0.4)	0	2 (1.0)	281 (0.5)	5 (0.2)	286 (0.5)	3 (0.8)	4 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (0.3)	0 (0.0)	24 (8.0)	31 (1.0)	10 (0.7)	10 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.6)	38 (0.6)	0 (0.0)	39 (0.7)	77 (0.6)
10mg/L～ (%)	1,014 (2.0)	40 (1.6)	0	8 (4.2)	1,062 (2.0)	40 (1.7)	1,102 (2.0)	13 (3.6)	36 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	49 (1.8)	0 (0.0)	5 (1.7)	54 (1.8)	46 (3.1)	8 (2.5)	7 (6.0)	133 (2.8)	194 (2.9)	2 (3.0)	126 (3.0)	322 (2.6)	
15mg/L～ (%)	4,300 (8.6)	180 (7.4)	0	16 (8.3)	4,496 (8.6)	156 (6.5)	4,652 (8.5)	21 (5.8)	155 (6.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	176 (6.4)	0 (0.0)	21 (7.0)	197 (6.5)	147 (9.8)	20 (6.3)	11 (9.5)	452 (9.4)	630 (9.3)	5 (7.6)	535 (9.7)	1,170 (9.5)	
20mg/L～ (%)	12,533 (25.1)	609 (24.9)	0	33 (17.2)	13,175 (25.1)	520 (21.6)	13,696 (24.9)	67 (18.4)	490 (20.7)	0 (0.0)	1 (20.0)	558 (20.3)	0 (0.0)	43 (14.4)	601 (19.8)	335 (22.3)	71 (22.2)	25 (21.6)	1,109 (23.0)	1,540 (22.8)	15 (22.7)	1,269 (23.0)	2,824 (22.9)	
25mg/L～ (%)	18,140 (36.4)	901 (36.9)	0	70 (36.4)	19,111 (36.4)	1 (50.0)	20,002 (36.4)	135 (37.0)	821 (34.7)	3 (75.0)	3 (60.0)	962 (35.1)	1 (33.8)	101 (33.5)	1,064 (35.0)	485 (32.3)	112 (35.0)	35 (30.2)	1,660 (34.4)	2,292 (33.9)	27 (40.9)	1,855 (33.7)	4,174 (33.8)	
30mg/L～ (%)	9,293 (18.6)	482 (19.7)	0	39 (20.3)	9,814 (18.7)	0 (0.0)	10,345 (18.8)	67 (18.4)	547 (23.1)	1 (25.0)	0 (0.0)	615 (22.4)	0 (0.0)	68 (22.7)	683 (22.4)	301 (20.0)	67 (20.9)	26 (22.4)	988 (20.5)	1,382 (20.4)	9 (13.6)	1,169 (21.2)	2,560 (20.8)	
35mg/L～ (%)	2,838 (5.7)	133 (5.4)	0	16 (8.3)	2,987 (5.7)	0 (0.0)	3,169 (5.8)	36 (9.9)	193 (8.1)	0 (0.0)	1 (20.0)	1 (8.4)	0 (0.0)	20 (6.7)	250 (8.2)	116 (7.7)	25 (7.8)	9 (7.8)	296 (6.1)	446 (6.6)	6 (9.1)	356 (6.5)	808 (6.6)	
40mg/L～ (%)	919 (1.8)	53 (2.2)	0	5 (2.6)	977 (1.9)	0 (0.0)	1,027 (1.9)	16 (4.4)	63 (2.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	79 (2.9)	0 (0.0)	10 (3.3)	89 (2.9)	32 (2.1)	2 (2.2)	2 (1.7)	93 (1.9)	134 (2.0)	1 (1.5)	103 (1.9)	238 (1.9)	
45mg/L～ (%)	326 (0.7)	22 (0.9)	0	0 (0.0)	348 (0.7)	0 (0.0)	365 (0.7)	4 (1.1)	41 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	45 (1.6)	0 (0.0)	6 (2.0)	51 (1.7)	18 (1.2)	4 (1.3)	0 (0.9)	40 (0.9)	63 (0.9)	1 (1.5)	32 (0.6)	96 (0.8)	
50mg/L～ (%)	242 (0.5)	13 (0.5)	0	3 (1.6)	258 (0.5)	0 (0.0)	274 (0.5)	3 (0.8)	19 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	22 (0.8)	0 (0.0)	1 (0.3)	23 (0.8)	12 (0.8)	5 (1.6)	0 (0.0)	23 (0.5)	40 (0.6)	0 (0.4)	22 (0.4)	62 (0.5)	
合計 (%)	49,874 (100.0)	2,443 (100.0)	0	192 (100.0)	52,509 (100.0)	2 (100.0)	54,918 (100.0)	365 (100.0)	2,369 (100.0)	4 (100.0)	5 (100.0)	2,743 (100.0)	1 (100.0)	299 (100.0)	3,043 (100.0)	1,502 (100.0)	320 (100.0)	116 (100.0)	4,821 (100.0)	6,759 (100.0)	66 (100.0)	5,506 (100.0)	12,331 (100.0)	
記載なし	9,744	288	0	39	10,071	1	15,686	73	481	0	0	554	1	363	918	512	12	2	1,253	1,779	3	2,992	4,774	
総計	59,618	2,731	0	231	62,580	3	8,021	438	2,850	4	5	3,297	2	662	3,961	2,014	332	118	6,074	8,538	69	8,498	17,105	
平均	26.97	27.32		27.63	26.99	26.05	27.98	28.30	28.43	29.63	28.02	28.41	28.90	27.11	28.29	27.34	27.99	26.83	27.05	27.16	27.21	27.04	27.11	
標準偏差	6.42	6.30		7.60	6.42	4.74	6.26	7.49	6.86	3.62	5.24	6.93		8.58	7.12	7.28	7.19	6.98	6.75	6.90	6.28	6.53	6.74	

(患者調査による集計)

(患者調査による集計)

(患者調査による集計)

補足表 41 PD を除く体外循環患者 β 2-MG 除去率と治療方法別, 2017

治療方法	30%未満	30%～	35%～	40%～	45%～	50%～	55%～	60%～	65%～	70%～	75%～	80%～	85%～	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
施設血液透析 (%)	2,382 (5.2)	657 (1.4)	885 (1.9)	1,489 (3.2)	2,326 (5.0)	3,651 (7.9)	5,433 (11.8)	7,963 (17.2)	9,674 (20.9)	7,398 (16.0)	3,043 (6.6)	684 (1.5)	618 (1.3)	46,203 (100.0)	172,557	218,760	60.67	15.49
血液透析濾過 (%)	230 (1.0)	28 (0.1)	63 (0.3)	120 (0.5)	225 (1.0)	479 (2.0)	1,005 (4.3)	2,040 (8.7)	3,872 (16.5)	5,976 (25.5)	5,952 (25.4)	2,824 (12.1)	601 (2.6)	23,415 (100.0)	68,533	91,948	71.39	10.82
血液濾過 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	28	29	75.40	
血液吸着透析 (%)	3 (0.8)			1 (0.3)	1 (0.3)	10 (2.8)	7 (1.9)	28 (7.8)	68 (18.9)	107 (29.7)	83 (23.1)	40 (11.1)	12 (3.3)	360 (100.0)	1,072	1,432	71.95	10.01
在宅血液透析 (%)	2 (1.1)	0 (0.0)	1 (0.5)	5 (2.6)	8 (4.2)	15 (7.9)	15 (7.9)	22 (11.6)	22 (11.6)	36 (19.0)	19 (10.1)	6 (3.2)	38 (20.1)	189 (100.0)	491	680	71.75	17.50
合計 (%)	2,617 (3.7)	685 (1.0)	949 (1.4)	1,615 (2.3)	2,560 (3.6)	4,155 (5.9)	6,460 (9.2)	10,053 (14.3)	13,636 (19.4)	13,517 (19.3)	9,098 (13.0)	3,554 (5.1)	1,269 (1.8)	70,168 (100.0)	242,681	312,849	64.34	14.98
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
総計 (%)	2,617 (3.7)	685 (1.0)	949 (1.4)	1,615 (2.3)	2,560 (3.6)	4,155 (5.9)	6,460 (9.2)	10,053 (14.3)	13,636 (19.4)	13,517 (19.3)	9,098 (13.0)	3,554 (5.1)	1,269 (1.8)	70,168 (100.0)	242,681	312,849	64.34	14.98

(患者調査による集計)

補足表 42 HD 患者 ダイアライザ機能分類と β 2-MG 除去率, 2017

β 2-MG 除去率	I a 型	I b 型	II a 型	II b 型	S 型	特定積層型	ヘモダイヤ フィルタ	その他	合計	不明	記載なし	総計
30%未満 (%)	921 (3.7)	1 (2.8)	294 (2.0)	68 (4.6)	630 (22.5)	428 (50.6)	3 (1.1)	11 (3.2)	2,356 (5.2)	0 (0.0)	26 (3.0)	2,382 (5.2)
30%～ (%)	316 (1.3)	1 (2.8)	22 (0.1)	1 (0.1)	129 (4.6)	170 (20.1)	3 (1.1)	9 (2.6)	651 (1.4)	1 (100.0)	5 (0.6)	657 (1.4)
35%～ (%)	523 (2.1)	1 (2.8)	33 (0.2)	1 (0.1)	199 (7.1)	102 (12.1)	3 (1.1)	11 (3.2)	873 (1.9)	0 (0.0)	12 (1.4)	885 (1.9)
40%～ (%)	960 (3.9)	1 (2.8)	76 (0.5)	7 (0.5)	352 (12.6)	57 (6.7)	4 (1.5)	15 (4.3)	1,472 (3.2)	0 (0.0)	17 (2.0)	1,489 (3.2)
45%～ (%)	1,643 (6.6)	2 (5.6)	165 (1.1)	9 (0.6)	429 (15.3)	24 (2.8)	5 (1.9)	19 (5.5)	2,296 (5.1)	0 (0.0)	30 (3.5)	2,326 (5.0)
50%～ (%)	2,712 (10.9)	5 (13.9)	404 (2.7)	17 (1.2)	409 (14.6)	7 (0.8)	15 (5.7)	24 (6.9)	3,593 (7.9)	0 (0.0)	58 (6.8)	3,651 (7.9)
55%～ (%)	3,915 (15.8)	9 (25.0)	993 (6.7)	44 (3.0)	293 (10.4)	8 (0.9)	31 (11.7)	52 (14.9)	5,345 (11.8)	0 (0.0)	88 (10.3)	5,433 (11.8)
60%～ (%)	5,016 (20.2)	8 (22.2)	2,402 (16.2)	113 (7.7)	139 (5.0)	10 (1.2)	42 (15.8)	60 (17.2)	7,790 (17.2)	0 (0.0)	173 (20.2)	7,963 (17.2)
65%～ (%)	4,815 (19.4)	6 (16.7)	4,128 (27.9)	305 (20.7)	63 (2.2)	12 (1.4)	48 (18.1)	62 (17.8)	9,439 (20.8)	0 (0.0)	235 (27.5)	9,674 (20.9)
70%～ (%)	2,821 (11.4)	1 (2.8)	3,873 (26.2)	393 (26.7)	39 (1.4)	8 (0.9)	54 (20.4)	58 (16.7)	7,247 (16.0)	0 (0.0)	151 (17.6)	7,398 (16.0)
75%～ (%)	773 (3.1)	0 (0.0)	1,772 (12.0)	357 (24.3)	21 (0.7)	9 (1.1)	41 (15.5)	18 (5.2)	2,991 (6.6)	0 (0.0)	52 (6.1)	3,043 (6.6)
80%～ (%)	127 (0.5)	0 (0.0)	393 (2.7)	131 (8.9)	3 (0.1)	3 (0.4)	13 (4.9)	6 (1.7)	676 (1.5)	0 (0.0)	8 (0.9)	684 (1.5)
85%～ (%)	243 (1.0)	1 (2.8)	235 (1.6)	26 (1.8)	98 (3.5)	8 (0.9)	3 (1.1)	3 (0.9)	617 (1.4)	0 (0.0)	1 (0.1)	618 (1.3)
合計 (%)	24,785 (100.0)	36 (100.0)	14,790 (100.0)	1,472 (100.0)	2,804 (100.0)	846 (100.0)	265 (100.0)	348 (100.0)	45,346 (100.0)	1 (100.0)	856 (100.0)	46,203 (100.0)
記載なし	83,392	36	50,053	2,890	8,069	2,976	1,570	1,551	150,537	24	21,996	172,557
総計	108,177	72	64,843	4,362	10,873	3,822	1,835	1,899	195,883	25	22,852	218,760
平均	59.08	57.84	67.18	68.65	43.67	32.41	66.14	60.39	60.63	31.60	62.78	60.67
標準偏差	13.76	12.30	12.26	16.44	19.78	14.13	11.18	13.81	15.55		11.9	15.49

(患者調査による集計)

補足表 43 on-line HDF 患者・off-line HDF 患者・IHDF 患者 β 2-MG 除去率と希釈方法, 2017

on-line HDF									off-line HDF									IHDF								
β 2-MG 除去率	前希釈	後希釈	前・後希釈	その他	合計	不明	記載なし	総計	β 2-MG 除去率	前希釈	後希釈	前・後希釈	その他	合計	不明	記載なし	総計	β 2-MG 除去率	前希釈	後希釈	前・後希釈	その他	合計	不明	記載なし	総計
30%未満 (%)	160 (0.9)	2 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	162 (0.9)	0	37 (5.4)	199 (1.1)	30%未満 (%)	5 (4.7)	6 (0.8)	0	0	11 (1.3)	0	2 (2.7)	13 (1.4)	30%未満 (%)	1 (0.2)	1 (0.7)	0	6 (0.4)	8 (0.4)	0 (0.0)	9 (0.5)	17 (0.4)
30%~ (%)	13 (0.1)	1 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (0.1)	0	2 (0.3)	16 (0.1)	30%~ (%)	1 (0.9)	2 (0.3)	0	0	3 (0.4)	0	1 (1.3)	4 (0.4)	30%~ (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	4 (0.3)	4 (0.2)	0 (0.0)	4 (0.2)	8 (0.2)
35%~ (%)	31 (0.2)	2 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	33 (0.2)	0	3 (0.4)	36 (0.2)	35%~ (%)	0 (0.0)	3 (0.4)	0	0	3 (0.4)	0	0 (0.0)	3 (0.3)	35%~ (%)	2 (0.5)	1 (0.7)	0	5 (0.3)	8 (0.4)	0 (0.0)	16 (0.9)	24 (0.6)
40%~ (%)	52 (0.3)	3 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	55 (0.3)	0	7 (1.0)	62 (0.3)	40%~ (%)	1 (0.9)	5 (0.7)	0	0	6 (0.7)	0	1 (1.3)	7 (0.8)	40%~ (%)	9 (2.2)	2 (1.4)	0	10 (0.6)	21 (1.0)	0 (0.0)	30 (1.7)	51 (1.3)
45%~ (%)	110 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	110 (0.6)	0	6 (0.9)	116 (0.6)	45%~ (%)	3 (2.8)	4 (0.5)	0	0	7 (0.8)	0	1 (1.3)	8 (0.9)	45%~ (%)	17 (4.1)	7 (4.8)	0	32 (2.1)	56 (2.7)	0 (0.0)	44 (2.5)	100 (2.6)
50%~ (%)	200 (1.2)	10 (1.7)	0 (0.0)	2 (3.8)	212 (1.2)	0	20 (2.9)	232 (1.2)	50%~ (%)	4 (3.8)	23 (3.1)	0	0	27 (3.2)	0	4 (5.3)	31 (3.4)	50%~ (%)	35 (8.5)	9 (6.2)	0	64 (4.2)	108 (5.1)	0 (0.0)	107 (6.1)	215 (5.6)
55%~ (%)	469 (2.7)	12 (2.0)	0 (0.0)	2 (3.8)	483 (2.7)	0	16 (2.3)	499 (2.7)	55%~ (%)	8 (7.5)	34 (4.7)	0	0	42 (5.0)	0	1 (1.3)	43 (4.7)	55%~ (%)	54 (13.0)	24 (16.4)	0	155 (10.1)	233 (11.1)	1 (25.0)	220 (12.6)	454 (11.8)
60%~ (%)	1,005 (5.8)	33 (5.6)	0 (0.0)	12 (22.6)	1,050 (5.9)	0	42 (6.1)	1,092 (5.9)	60%~ (%)	21 (19.8)	96 (13.1)	0	0	117 (14.0)	0	9 (12.0)	126 (13.8)	60%~ (%)	74 (17.9)	36 (24.7)	0	334 (21.7)	444 (21.1)	0 (0.0)	369 (21.1)	813 (21.1)
65%~ (%)	2,399 (13.9)	98 (16.7)	0 (0.0)	17 (32.1)	2,514 (14.1)	0	69 (10.1)	2,583 (13.9)	65%~ (%)	20 (18.9)	160 (21.9)	0	0	180 (21.5)	0	17 (22.7)	197 (21.6)	65%~ (%)	115 (27.8)	23 (15.8)	0	457 (29.6)	595 (28.3)	1 (25.0)	482 (27.5)	1,078 (27.9)
70%~ (%)	4,590 (26.6)	174 (29.6)	0 (0.0)	16 (30.2)	4,780 (26.7)	0	171 (25.0)	4,951 (26.7)	70%~ (%)	19 (17.9)	184 (25.2)	0	0	203 (24.3)	0	24 (32.0)	227 (24.9)	70%~ (%)	77 (18.6)	29 (19.9)	0	333 (21.6)	439 (20.9)	2 (50.0)	340 (19.4)	781 (20.2)
75%~ (%)	5,115 (29.7)	170 (28.9)	0 (0.0)	4 (7.5)	5,289 (29.6)	0	208 (30.4)	5,497 (29.6)	75%~ (%)	22 (20.8)	151 (20.7)	0	0	173 (20.7)	0	11 (14.7)	184 (20.2)	75%~ (%)	25 (6.0)	14 (9.6)	0	111 (7.2)	150 (7.1)	0 (0.0)	108 (6.2)	258 (6.7)
80%~ (%)	2,566 (14.9)	73 (12.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	2,639 (14.7)	0	87 (12.7)	2,726 (14.7)	80%~ (%)	1 (0.9)	47 (6.4)	0	0	48 (5.7)	0	3 (4.0)	51 (5.6)	80%~ (%)	3 (0.7)	0 (0.0)	0	22 (1.4)	25 (1.2)	0 (0.0)	19 (1.1)	44 (1.1)
85%~ (%)	541 (3.1)	10 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	551 (3.1)	0	17 (2.5)	568 (3.1)	85%~ (%)	1 (0.9)	16 (2.2)	0	0	17 (2.0)	0	1 (1.3)	18 (2.0)	85%~ (%)	2 (0.5)	0 (0.0)	0	9 (0.6)	11 (0.5)	0 (0.0)	4 (0.2)	15 (0.4)
合計 (%)	17,251 (100.0)	588 (100.0)	0 (100.0)	53 (100.0)	17,892 (100.0)	0 (100.0)	685 (100.0)	18,577 (100.0)	合計 (%)	106 (100.0)	731 (100.0)	0 (100.0)	0 (100.0)	837 (100.0)	0 (100.0)	75 (100.0)	912 (100.0)	合計 (%)	414 (100.0)	146 (100.0)	0 (100.0)	1,542 (100.0)	2,102 (100.0)	4 (100.0)	1,752 (100.0)	3,858 (100.0)
記載なし	42,367	2,143	0	178	44,688	3	7,336	52,027	記載なし	332	2,119	4	5	2,460	2	587	3,049	記載なし	1,600	186	118	4,532	6,436	65	6,746	13,247
総計	59,618	2,731	0	231	62,580	3	8,021	70,604	総計	438	2,850	4	5	3,297	2	662	3,961	総計	2,014	332	118	6,074	8,538	69	8,498	17,105
平均	73.02	72.86		67.67	73.00		68.95	72.85	平均	63.91	69.87			69.11		67.79	69.01	平均	64.04	63.51		65.96	65.41	67.40	64.46	64.98
標準偏差	10.26	8.18		5.67	10.19		18.26	10.63	標準偏差	16.92	10.29			11.50		12.80	11.61	標準偏差	9.04	9.94		8.46	8.73	8.08	9.07	8.90

(患者調査による集計)

(患者調査による集計)

(患者調査による集計)

補足表 44 年末 PD 患者数および PD 導入患者数の推移, 2010-2017

腹膜透析患者数		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
腹膜透析 (PD)	7,325	9,773	9,642	9,514	9,392	9,255	9,322	9,021	9,090
週1回のHD(F)等との併用	1,505								
週2回のHD(F)等との併用	155	年別 PD 導入患者数					2,197	1,946	2,117
週3回のHD(F)等との併用	37								
上記以外の併用	68								
合計	9,090								

(施設調査による集計)

(施設調査による集計)

補足表 45 PD 患者 性別と年齢, 2017

年齢	男性	女性	合計	記載なし	総計
15歳未満 (%)	43 (0.8)	43 (1.4)	86 (1.0)	0	86 (1.0)
15歳～ (%)	52 (0.9)	37 (1.2)	89 (1.0)	0	89 (1.0)
30歳～ (%)	359 (6.3)	208 (6.9)	567 (6.5)	0	567 (6.5)
45歳～ (%)	1,523 (26.8)	765 (25.5)	2,288 (26.4)	0	2,288 (26.4)
60歳～ (%)	2,564 (45.2)	1,186 (39.6)	3,750 (43.3)	0	3,750 (43.3)
75歳～ (%)	1,068 (18.8)	687 (22.9)	1,755 (20.2)	0	1,755 (20.2)
90歳～ (%)	65 (1.1)	69 (2.3)	134 (1.5)	0	134 (1.5)
合計 (%)	5,674 (100.0)	2,995 (100.0)	8,669 (100.0)	0	8,669 (100.0)
不明	0	0	0	0	0
記載なし	0	0	0	0	0
総計	5,674	2,995	8,669	0	8,669
平均	63.37	63.65	63.47		63.47
標準偏差	13.84	15.75	14.53		14.53

(患者調査による集計)

補足表 46 PD 患者 性別と PD 歴, 2017

PD 歴	男性	女性	合計	記載なし	総計
1年未満 (%)	1,026 (26.2)	425 (20.8)	1,451 (24.4)	0	1,451 (24.4)
1年～ (%)	787 (20.1)	377 (18.5)	1,164 (19.5)	0	1,164 (19.5)
2年～ (%)	1,029 (26.3)	559 (27.4)	1,588 (26.7)	0	1,588 (26.7)
4年～ (%)	552 (14.1)	294 (14.4)	846 (14.2)	0	846 (14.2)
6年～ (%)	267 (6.8)	164 (8.0)	431 (7.2)	0	431 (7.2)
8年～ (%)	119 (3.0)	105 (5.1)	224 (3.8)	0	224 (3.8)
10年～ (%)	138 (3.5)	116 (5.7)	254 (4.3)	0	254 (4.3)
合計 (%)	3,918 (100.0)	2,040 (100.0)	5,958 (100.0)	0	5,958 (100.0)
記載なし	1,756	955	2,711	0	2,711
総計	5,674	2,995	8,669	0	8,669
平均	3.04	3.67	3.26		3.26
標準偏差	3.04	3.61	3.26		3.26

(患者調査による集計)

補足表 47 PD患者 使用透析液の種類とPD歴（年），2017

PD歴	1.5%液のみ (イコデキストリンなし)	1.5%液と 2.5%液の併用 (イコデキストリンなし)	2.5%液のみ (イコデキストリンなし)	4.25%液のみ (イコデキストリンなし)	イコデキストリン単独 (ブドウ糖使用なし)	1.5%液+ イコデキストリン	1.5%液+ 2.5%液+ イコデキストリン	2.5%液+ イコデキストリン	4.25%液+ イコデキストリン	合計	不明	記載なし	総計
1年未満 (%)	737 (52.8)	94 (6.7)	50 (3.6)	1 (0.1)	23 (1.6)	360 (25.8)	64 (4.6)	65 (4.7)	2 (0.1)	1,396 (100.0)	7	48	1,451
1年～ (%)	425 (37.8)	90 (8.0)	36 (3.2)	4 (0.4)	19 (1.7)	345 (30.7)	105 (9.3)	99 (8.8)	1 (0.1)	1,124 (100.0)	4	36	1,164
2年～ (%)	494 (32.0)	166 (10.8)	37 (2.4)	0 (0.0)	18 (1.2)	436 (28.2)	186 (12.0)	206 (13.3)	1 (0.1)	1,544 (100.0)	3	41	1,588
4年～ (%)	217 (26.4)	111 (13.5)	26 (3.2)	0 (0.0)	2 (0.2)	231 (28.1)	145 (17.7)	88 (10.7)	1 (0.1)	821 (100.0)	6	19	846
6年～ (%)	97 (22.7)	85 (19.9)	23 (5.4)	0 (0.0)	1 (0.2)	102 (23.9)	74 (17.3)	45 (10.5)	0 (0.0)	427 (100.0)	0	4	431
8年～ (%)	43 (19.9)	41 (19.0)	11 (5.1)	0 (0.0)	1 (0.5)	49 (22.7)	47 (21.8)	24 (11.1)	0 (0.0)	216 (100.0)	2	6	224
10年～ (%)	39 (15.6)	67 (26.8)	15 (6.0)	1 (0.4)	0 (0.0)	41 (16.4)	54 (21.6)	32 (12.8)	1 (0.4)	250 (100.0)	1	3	254
合計 (%)	2,052 (35.5)	654 (11.3)	198 (3.4)	6 (0.1)	64 (1.1)	1,564 (27.1)	675 (11.7)	559 (9.7)	6 (0.1)	5,778 (100.0)	23	157	5,958
記載なし (%)	58 (36.9)	23 (14.6)	9 (5.7)	2 (1.3)	3 (1.9)	38 (24.2)	13 (8.3)	8 (5.1)	3 (1.9)	157 (100.0)	4	2,550	2,711
総計 (%)	2,110 (35.6)	677 (11.4)	207 (3.5)	8 (0.1)	67 (1.1)	1,602 (27.0)	688 (11.6)	567 (9.6)	9 (0.2)	5,935 (100.0)	27	2,707	8,669
平均	2.45	4.73	3.91	3.33	1.77	2.99	4.56	3.82	4.49	3.28	3.21	2.49	3.26
標準偏差	2.72	4.15	4.04	5.68	1.63	2.74	3.71	3.36	7.08	3.28	3.26	2.52	3.26

(患者調査による集計)

補足表 48 PD患者 2017年中の腹膜炎発症率（回/1患者・年）とPD歴（年），2017

PD歴	0	1.0～	2.0～	3.0～	4.0～	5.0～	合計	不明	記載なし	総計	平均	標準偏差
1年未満 (%)	1,172 (89.2)	60 (4.6)	56 (4.3)	8 (0.6)	6 (0.5)	12 (0.9)	1,314 (100.0)	0	137	1,451	0.26	0.94
1年～ (%)	924 (83.4)	139 (12.5)	30 (2.7)	9 (0.8)	3 (0.3)	3 (0.3)	1,108 (100.0)	0	56	1,164	0.23	0.62
2年～ (%)	1,307 (86.3)	157 (10.4)	34 (2.2)	14 (0.9)	2 (0.1)	0 (0.0)	1,514 (100.0)	0	74	1,588	0.18	0.52
4年～ (%)	702 (85.7)	90 (11.0)	20 (2.4)	5 (0.6)	2 (0.2)	0 (0.0)	819 (100.0)	0	27	846	0.19	0.52
6年～ (%)	378 (89.4)	39 (9.2)	4 (0.9)	1 (0.2)	0 (0.0)	1 (0.2)	423 (100.0)	0	8	431	0.13	0.44
8年～ (%)	200 (91.7)	15 (6.9)	3 (1.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	218 (100.0)	0	6	224	0.10	0.34
10年～ (%)	205 (84.7)	31 (12.8)	4 (1.7)	1 (0.4)	0 (0.0)	1 (0.4)	242 (100.0)	0	12	254	0.21	0.72
合計 (%)	4,888 (86.7)	531 (9.4)	151 (2.7)	38 (0.7)	13 (0.2)	17 (0.3)	5,638 (100.0)	0	320	5,958	0.20	0.66
記載なし (%)	54 (93.1)	2 (3.4)	2 (3.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	58 (100.0)	0	2,653	2,711	0.10	0.41
総計 (%)	4,942 (86.8)	533 (9.4)	153 (2.7)	38 (0.7)	13 (0.2)	17 (0.3)	5,696 (100.0)	0	2,973	8,669	0.20	0.66
平均	3.30	3.76	2.46	2.68	1.75	1.51	3.31		2.32	3.26		
標準偏差	3.21	3.63	2.53	2.67	1.95	2.89	3.24		3.47	3.26		

(患者調査による集計)

* 個々の患者の腹膜炎発症率（回/1患者・年）は、1.0未満の数値が0となるため、「0」と表示しています。

補足表 49 PD患者 β 2-MG濃度とPD歴, 2017

PD歴	10 mg/L 未満	10 mg/L ～	15 mg/L ～	20 mg/L ～	25 mg/L ～	30 mg/L ～	35 mg/L ～	40 mg/L ～	45 mg/L ～	50 mg/L ～	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
1年未満 (%)	23 (3.2)	169 (23.6)	237 (33.1)	150 (20.9)	80 (11.2)	27 (3.8)	19 (2.6)	7 (1.0)	4 (0.6)	1 (0.1)	717 (100.0)	734	1,451	19.68	7.06
1年～ (%)	14 (2.1)	80 (12.1)	152 (23.1)	133 (20.2)	97 (14.7)	88 (13.4)	53 (8.0)	22 (3.3)	8 (1.2)	12 (1.8)	659 (100.0)	505	1,164	24.47	9.48
2年～ (%)	12 (1.2)	69 (6.9)	145 (14.4)	201 (20.0)	194 (19.3)	181 (18.0)	120 (11.9)	50 (5.0)	23 (2.3)	12 (1.2)	1,007 (100.0)	581	1,588	27.49	9.63
4年～ (%)	4 (0.7)	20 (3.4)	50 (8.6)	82 (14.1)	105 (18.0)	134 (23.0)	94 (16.1)	52 (8.9)	22 (3.8)	20 (3.4)	583 (100.0)	263	846	30.94	9.60
6年～ (%)	2 (0.7)	7 (2.5)	13 (4.7)	35 (12.5)	45 (16.1)	51 (18.3)	71 (25.4)	32 (11.5)	12 (4.3)	11 (3.9)	279 (100.0)	152	431	32.97	9.49
8年～ (%)	1 (0.6)	4 (2.5)	4 (2.5)	16 (9.9)	25 (15.5)	32 (19.9)	37 (23.0)	27 (16.8)	8 (5.0)	7 (4.3)	161 (100.0)	63	224	33.99	9.14
10年～ (%)	2 (1.3)	2 (1.3)	3 (1.9)	8 (5.2)	27 (17.4)	34 (21.9)	40 (25.8)	23 (14.8)	10 (6.5)	6 (3.9)	155 (100.0)	99	254	35.01	9.21
合計 (%)	58 (1.6)	351 (9.9)	604 (17.0)	625 (17.6)	573 (16.1)	547 (15.4)	434 (12.2)	213 (6.0)	87 (2.4)	69 (1.9)	3,561 (100.0)	2,397	5,958	26.97	10.23
記載なし (%)	6 (1.7)	18 (5.2)	38 (11.0)	46 (13.4)	66 (19.2)	74 (21.5)	52 (15.1)	24 (7.0)	15 (4.4)	5 (1.5)	344 (100.0)	2,367	2,711	29.52	9.74
総計 (%)	64 (1.6)	369 (9.4)	642 (16.4)	671 (17.2)	639 (16.4)	621 (15.9)	486 (12.4)	237 (6.1)	102 (2.6)	74 (1.9)	3,905 (100.0)	4,764	8,669	27.20	10.22
平均	2.23	1.69	1.87	2.78	3.76	4.39	5.23	5.75	5.51	5.22	3.51	2.89	3.26		
標準偏差	2.46	2.05	1.82	2.41	3.34	3.32	3.72	3.88	4.02	3.29	3.26	3.23	3.26		

(患者調査による集計)

補足表 50 PD を除く体外循環患者 バスキュラーアクセス種類と年齢 性別, 2017

男性

年齢	自己血管による動静脈瘻 (AVF)	人工血管による動静脈瘻 (AVG)	表在化動脈	動脈直接穿刺	大腿静脈直接穿刺	長期留置型静脈カテーテル	一時的静脈カテーテル	その他	合計	不明	記載なし	総計
15歳未満 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0	1	3
15歳～ (%)	454 (95.4)	10 (2.1)	2 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	476 (100.0)	1	74	551
30歳～ (%)	7,104 (94.9)	263 (3.5)	68 (0.9)	2 (0.0)	1 (0.0)	24 (0.3)	19 (0.3)	1 (0.0)	7,482 (100.0)	18	1,068	8,568
45歳～ (%)	32,535 (94.4)	1,311 (3.8)	392 (1.1)	10 (0.0)	3 (0.0)	139 (0.4)	80 (0.2)	13 (0.0)	34,483 (100.0)	126	4,743	39,352
60歳～ (%)	72,457 (91.8)	4,335 (5.5)	1,261 (1.6)	44 (0.1)	14 (0.0)	552 (0.7)	228 (0.3)	36 (0.0)	78,927 (100.0)	217	10,788	89,932
75歳～ (%)	48,039 (88.9)	3,785 (7.0)	1,105 (2.0)	41 (0.1)	8 (0.0)	769 (1.4)	282 (0.5)	36 (0.1)	54,065 (100.0)	106	7,522	61,693
90歳～ (%)	2,301 (85.8)	157 (5.9)	101 (3.8)	9 (0.3)	3 (0.1)	92 (3.4)	18 (0.7)	2 (0.1)	2,683 (100.0)	4	410	3,097
合計 (%)	162,890 (91.5)	9,861 (5.5)	2,929 (1.6)	106 (0.1)	29 (0.0)	1,587 (0.9)	628 (0.4)	88 (0.0)	178,118 (100.0)	472	24,606	203,196
不明 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計 (%)	162,890 (91.5)	9,861 (5.5)	2,929 (1.6)	106 (0.1)	29 (0.0)	1,587 (0.9)	628 (0.4)	88 (0.0)	178,118 (100.0)	472	24,606	203,196
平均	67.45	70.45	70.83	73.45	71.21	73.89	72.00	71.07	67.75	65.48	67.77	67.75
標準偏差	12.35	11.40	11.76	11.84	13.12	12.05	12.52	11.80	12.33	12.09	12.49	12.35

(患者調査による集計)

女性

年齢	自己血管による動静脈瘻 (AVF)	人工血管による動静脈瘻 (AVG)	表在化動脈	動脈直接穿刺	大腿静脈直接穿刺	長期留置型静脈カテーテル	一時的静脈カテーテル	その他	合計	不明	記載なし	総計
15歳未満 (%)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (100.0)	0	0	3
15歳～ (%)	208 (87.0)	16 (6.7)	6 (2.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (2.5)	3 (1.3)	0 (0.0)	239 (100.0)	0	34	273
30歳～ (%)	2,800 (89.4)	250 (8.0)	24 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	41 (1.3)	16 (0.5)	2 (0.1)	3,133 (100.0)	6	410	3,549
45歳～ (%)	12,729 (88.6)	1,189 (8.3)	212 (1.5)	11 (0.1)	6 (0.0)	174 (1.2)	39 (0.3)	7 (0.0)	14,367 (100.0)	37	2,008	16,412
60歳～ (%)	34,996 (85.7)	4,303 (10.5)	747 (1.8)	19 (0.0)	14 (0.0)	582 (1.4)	127 (0.3)	35 (0.1)	40,823 (100.0)	88	5,339	46,250
75歳～ (%)	28,385 (81.8)	4,098 (11.8)	818 (2.4)	38 (0.1)	4 (0.0)	1,117 (3.2)	226 (0.7)	27 (0.1)	34,713 (100.0)	64	4,944	39,721
90歳～ (%)	2,289 (76.7)	335 (11.2)	95 (3.2)	8 (0.3)	4 (0.1)	225 (7.5)	30 (1.0)	0 (0.0)	2,986 (100.0)	6	451	3,443
合計 (%)	81,408 (84.6)	10,191 (10.6)	1,902 (2.0)	76 (0.1)	28 (0.0)	2,147 (2.2)	441 (0.5)	71 (0.1)	96,264 (100.0)	201	13,186	109,651
不明 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記載なし (%)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0	1	2
総計 (%)	81,409 (84.6)	10,191 (10.6)	1,902 (2.0)	76 (0.1)	28 (0.0)	2,147 (2.2)	441 (0.5)	71 (0.1)	96,265 (100.0)	201	13,187	109,653
平均	69.62	71.49	72.99	75.51	69.61	76.05	74.34	70.55	70.06	69.54	70.33	70.09
標準偏差	12.37	11.62	11.76	12.78	13.15	12.53	13.39	10.77	12.35	12.08	12.55	12.37

(患者調査による集計)

補足表 51 PD を除く体外循環患者 バスキュラーアクセス種類と透析歴 性別, 2017

男性

透析歴	自己血管による動静脈瘻 (AVF)	人工血管による動静脈瘻 (AVG)	表在化動脈	動脈直接穿刺	大腿静脈直接穿刺	長期留置型静脈カテーテル	一時的静脈カテーテル	その他	合計	不明	記載なし	総計
5年未満 (%)	79,622 (92.0)	3,845 (4.4)	1,466 (1.7)	49 (0.1)	27 (0.0)	992 (1.1)	516 (0.6)	46 (0.1)	86,563 (100.0)	276	12,339	99,178
5年～ (%)	41,964 (92.5)	2,422 (5.3)	631 (1.4)	23 (0.1)	1 (0.0)	272 (0.6)	43 (0.1)	22 (0.0)	45,378 (100.0)	95	6,147	51,620
10年～ (%)	20,037 (90.9)	1,495 (6.8)	314 (1.4)	6 (0.0)	0 (0.0)	149 (0.7)	22 (0.1)	12 (0.1)	22,035 (100.0)	40	2,881	24,956
15年～ (%)	10,252 (89.8)	853 (7.5)	214 (1.9)	9 (0.1)	0 (0.0)	78 (0.7)	10 (0.1)	0 (0.0)	11,416 (100.0)	15	1,540	12,971
20年～ (%)	5,395 (88.0)	552 (9.0)	121 (2.0)	8 (0.1)	1 (0.0)	38 (0.6)	12 (0.2)	3 (0.0)	6,130 (100.0)	20	798	6,948
25年～ (%)	2,821 (86.9)	321 (9.9)	76 (2.3)	6 (0.2)	0 (0.0)	19 (0.6)	3 (0.1)	2 (0.1)	3,248 (100.0)	9	436	3,693
30年～ (%)	1,558 (85.6)	184 (10.1)	52 (2.9)	4 (0.2)	0 (0.0)	16 (0.9)	7 (0.4)	0 (0.0)	1,821 (100.0)	6	246	2,073
35年～ (%)	835 (82.2)	127 (12.5)	39 (3.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (1.2)	2 (0.2)	1 (0.1)	1,016 (100.0)	1	133	1,150
40年～ (%)	333 (80.0)	61 (14.7)	14 (3.4)	1 (0.2)	0 (0.0)	7 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	416 (100.0)	0	57	473
合計 (%)	162,817 (91.5)	9,860 (5.5)	2,927 (1.6)	106 (0.1)	29 (0.0)	1,583 (0.9)	615 (0.3)	86 (0.0)	178,023 (100.0)	462	24,577	203,062
不明 (%)	73 (76.8)	1 (1.1)	2 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (4.2)	13 (13.7)	2 (2.1)	95 (100.0)	10	29	134
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計 (%)	162,890 (91.5)	9,861 (5.5)	2,929 (1.6)	106 (0.1)	29 (0.0)	1,587 (0.9)	628 (0.4)	88 (0.0)	178,118 (100.0)	472	24,606	203,196
平均	6.86	9.09	7.67	9.00	1.21	5.53	2.42	6.31	6.97	5.81	6.74	6.94
標準偏差	7.13	8.66	8.61	9.63	4.53	7.51	5.98	6.81	7.28	7.22	7.22	7.27

(患者調査による集計)

女性

透析歴	自己血管による動静脈瘻 (AVF)	人工血管による動静脈瘻 (AVG)	表在化動脈	動脈直接穿刺	大腿静脈直接穿刺	長期留置型静脈カテーテル	一時的静脈カテーテル	その他	合計	不明	記載なし	総計
5年未満 (%)	34,909 (86.1)	3,311 (8.2)	762 (1.9)	29 (0.1)	13 (0.0)	1,149 (2.8)	349 (0.9)	30 (0.1)	40,552 (100.0)	120	5,858	46,530
5年～ (%)	19,902 (85.7)	2,473 (10.6)	374 (1.6)	15 (0.1)	2 (0.0)	425 (1.8)	34 (0.1)	7 (0.0)	23,232 (100.0)	41	3,138	26,411
10年～ (%)	11,317 (84.4)	1,597 (11.9)	238 (1.8)	9 (0.1)	3 (0.0)	217 (1.6)	20 (0.1)	9 (0.1)	13,410 (100.0)	14	1,753	15,177
15年～ (%)	6,707 (82.5)	1,109 (13.6)	151 (1.9)	10 (0.1)	4 (0.0)	125 (1.5)	18 (0.2)	7 (0.1)	8,131 (100.0)	8	1,051	9,190
20年～ (%)	3,937 (80.5)	732 (15.0)	134 (2.7)	3 (0.1)	1 (0.0)	74 (1.5)	8 (0.2)	4 (0.1)	4,893 (100.0)	7	659	5,559
25年～ (%)	2,337 (79.2)	451 (15.3)	93 (3.2)	3 (0.1)	2 (0.1)	57 (1.9)	2 (0.1)	7 (0.2)	2,952 (100.0)	3	361	3,316
30年～ (%)	1,353 (77.9)	275 (15.8)	63 (3.6)	3 (0.2)	1 (0.1)	37 (2.1)	3 (0.2)	1 (0.1)	1,736 (100.0)	5	203	1,944
35年～ (%)	653 (71.4)	161 (17.6)	55 (6.0)	3 (0.3)	1 (0.1)	37 (4.0)	1 (0.1)	4 (0.4)	915 (100.0)	2	102	1,019
40年～ (%)	263 (65.9)	79 (19.8)	30 (7.5)	1 (0.3)	1 (0.3)	25 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	399 (100.0)	0	48	447
合計 (%)	81,378 (84.6)	10,188 (10.6)	1,900 (2.0)	76 (0.1)	28 (0.0)	2,146 (2.2)	435 (0.5)	69 (0.1)	96,220 (100.0)	200	13,173	109,593
不明 (%)	31 (68.9)	3 (6.7)	2 (4.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.2)	6 (13.3)	2 (4.4)	45 (100.0)	1	13	59
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
総計 (%)	81,409 (84.6)	10,191 (10.6)	1,902 (2.0)	76 (0.1)	28 (0.0)	2,147 (2.2)	441 (0.5)	71 (0.1)	96,265 (100.0)	201	13,187	109,653
平均	8.24	10.53	10.52	11.04	11.61	7.45	2.93	11.19	8.49	5.92	8.05	8.43
標準偏差	8.12	9.22	10.56	10.88	12.70	9.20	6.04	11.23	8.37	7.94	8.16	8.35

(患者調査による集計)

補足表 52 手根管開放術の既往と透析歴 性別, 2017

男性

手根管開放術の既往	5年未満	5年～	10年～	15年～	20年～	25年～	30年～	35年～	40年～	合計	不明	記載なし	総計	平均	標準偏差
既往なし (%)	71,954 (99.3)	36,585 (99.1)	17,595 (98.0)	8,711 (94.4)	4,408 (87.6)	2,055 (76.2)	883 (58.8)	387 (43.6)	130 (37.6)	142,708 (97.1)	48 (100.0)	0	142,756 (97.1)	6.46	6.60
既往あり (%)	528 (0.7)	336 (0.9)	352 (2.0)	515 (5.6)	626 (12.4)	641 (23.8)	619 (41.2)	500 (56.4)	216 (62.4)	4,333 (2.9)	0 (0.0)	0	4,333 (2.9)	21.87	11.97
合計 (%)	72,482 (100.0)	36,921 (100.0)	17,947 (100.0)	9,226 (100.0)	5,034 (100.0)	2,696 (100.0)	1,502 (100.0)	887 (100.0)	346 (100.0)	147,041 (100.0)	48 (100.0)	0	147,089 (100.0)	6.91	7.30
不明	578	285	150	87	43	19	12	5	1	1,180	5	0	1,185	6.95	7.14
記載なし	30,646	15,358	7,006	3,694	1,881	981	560	258	126	60,510	86	0	60,596	6.61	7.02
総計	103,706	52,564	25,103	13,007	6,958	3,696	2,074	1,150	473	208,731	139	0	208,870	6.82	7.22

(患者調査による集計)

女性

手根管開放術の既往	5年未満	5年～	10年～	15年～	20年～	25年～	30年～	35年～	40年～	合計	不明	記載なし	総計	平均	標準偏差
既往なし (%)	33,709 (99.2)	18,819 (98.6)	10,636 (96.8)	6,087 (91.8)	3,297 (81.5)	1,629 (67.5)	750 (50.6)	306 (39.8)	114 (32.5)	75,347 (94.5)	30 (100.0)	0	75,377 (94.5)	7.57	7.36
既往あり (%)	275 (0.8)	274 (1.4)	346 (3.2)	547 (8.2)	746 (18.5)	784 (32.5)	731 (49.4)	463 (60.2)	237 (67.5)	4,403 (5.5)	0 (0.0)	0	4,403 (5.5)	23.59	10.67
合計 (%)	33,984 (100.0)	19,093 (100.0)	10,982 (100.0)	6,634 (100.0)	4,043 (100.0)	2,413 (100.0)	1,481 (100.0)	769 (100.0)	351 (100.0)	79,750 (100.0)	30 (100.0)	0	79,780 (100.0)	8.45	8.41
不明	311	152	100	44	27	20	11	10	0	675	2	0	677	7.89	8.26
記載なし	14,415	7,781	4,212	2,554	1,508	886	460	242	97	32,155	35	1	32,191	7.93	8.01
総計	48,710	27,026	15,294	9,232	5,578	3,319	1,952	1,021	448	112,580	67	1	112,648	8.30	8.30

(患者調査による集計)

補足表 53 手根管開放術の既往とβ2-MG除去率, 2017

手根管開放術の既往	30%未満	30%～	35%～	40%～	45%～	50%～	55%～	60%～	65%～	70%～	75%～	80%～	85%～	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
既往なし (%)	2,231 (4.0)	563 (1.0)	811 (1.4)	1,342 (2.4)	2,135 (3.8)	3,475 (6.2)	5,344 (9.5)	8,190 (14.6)	10,718 (19.1)	10,527 (18.8)	7,004 (12.5)	2,672 (4.8)	1,118 (2.0)	56,130 (100.0)	162,003	218,133	63.95	15.32
既往あり (%)	61 (2.4)	26 (1.0)	17 (0.7)	34 (1.3)	51 (2.0)	96 (3.8)	169 (6.6)	264 (10.3)	487 (19.1)	581 (22.7)	495 (19.4)	221 (8.6)	54 (2.1)	2,556 (100.0)	6,180	8,736	68.09	13.36
合計 (%)	2,292 (3.9)	589 (1.0)	828 (1.4)	1,376 (2.3)	2,186 (3.7)	3,571 (6.1)	5,513 (9.4)	8,454 (14.4)	11,205 (19.1)	11,108 (18.9)	7,499 (12.8)	2,893 (4.9)	1,172 (2.0)	58,686 (100.0)	168,183	226,869	64.13	15.26
不明	1	0	5	5	24	25	31	42	39	29	14	4	2	221	1,641	1,862	61.60	10.53
記載なし	340	101	118	242	361	575	935	1,581	2,418	2,413	1,612	664	101	11,461	81,326	92,787	65.36	13.53
総計	2,633	690	951	1,623	2,571	4,171	6,479	10,077	13,662	13,550	9,125	3,561	1,275	70,368	251,150	321,518	64.33	14.99

(患者調査による集計)

補足表 54 入院の有無と年齢 性別, 2017

男性

年齢	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
15歳未満 (%)	4 (12.5)	28 (87.5)	32 (100.0)	0	14	46
15歳～ (%)	312 (74.6)	106 (25.4)	418 (100.0)	2	183	603
30歳～ (%)	4,697 (72.9)	1,750 (27.1)	6,447 (100.0)	13	2,467	8,927
45歳～ (%)	20,249 (68.0)	9,548 (32.0)	29,797 (100.0)	75	11,003	40,875
60歳～ (%)	40,606 (59.4)	27,720 (40.6)	68,326 (100.0)	176	23,994	92,496
75歳～ (%)	25,013 (53.4)	21,794 (46.6)	46,807 (100.0)	100	15,854	62,761
90歳～ (%)	1,160 (49.5)	1,184 (50.5)	2,344 (100.0)	0	818	3,162
合計 (%)	92,041 (59.7)	62,130 (40.3)	154,171 (100.0)	366	54,333	208,870
不明 (%)	0	0	0	0	0	0
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0
総計 (%)	92,041 (59.7)	62,130 (40.3)	154,171 (100.0)	366	54,333	208,870
平均	66.49	69.62	67.75	66.65	67.28	67.63
標準偏差	12.60	11.75	12.36	11.91	12.55	12.41

(患者調査による集計)

女性

年齢	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
15歳未満 (%)	5 (17.2)	24 (82.8)	29 (100.0)	0	17	46
15歳～ (%)	134 (66.0)	69 (34.0)	203 (100.0)	1	106	310
30歳～ (%)	1,905 (70.6)	792 (29.4)	2,697 (100.0)	4	1,056	3,757
45歳～ (%)	8,620 (68.4)	3,978 (31.6)	12,598 (100.0)	25	4,554	17,177
60歳～ (%)	21,383 (60.6)	13,927 (39.4)	35,310 (100.0)	70	12,056	47,436
75歳～ (%)	15,305 (50.5)	14,998 (49.5)	30,303 (100.0)	54	10,051	40,408
90歳～ (%)	1,139 (43.5)	1,481 (56.5)	2,620 (100.0)	5	887	3,512
合計 (%)	48,491 (57.9)	35,269 (42.1)	83,760 (100.0)	159	28,727	112,646
不明 (%)	0	0	0	0	0	0
記載なし (%)	0 (0.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	0	1	2
総計 (%)	48,491 (57.9)	35,270 (42.1)	83,761 (100.0)	159	28,728	112,648
平均	68.50	72.21	70.06	69.87	69.50	69.92
標準偏差	12.51	11.97	12.42	11.96	12.79	12.52

(患者調査による集計)

補足表 55 入院の有無と透析歴 性別, 2017

男性

入院の有無	5年未満	5年～	10年～	15年～	20年～	25年～	30年～	35年～	40年～	合計	不明	記載なし	総計	平均	標準偏差
なし (%)	44,418 (58.1)	23,617 (61.0)	11,317 (60.6)	5,993 (62.6)	3,367 (64.5)	1,726 (62.9)	916 (60.4)	481 (55.5)	176 (52.9)	92,011 (59.7)	30 (29.7)	0	92,041 (59.7)	7.04	7.21
あり (%)	31,976 (41.9)	15,115 (39.0)	7,373 (39.4)	3,583 (37.4)	1,851 (35.5)	1,017 (37.1)	601 (39.6)	386 (44.5)	157 (47.1)	62,059 (40.3)	71 (70.3)	0	62,130 (40.3)	6.54	7.25
合計 (%)	76,394 (100.0)	38,732 (100.0)	18,690 (100.0)	9,576 (100.0)	5,218 (100.0)	2,743 (100.0)	1,517 (100.0)	867 (100.0)	333 (100.0)	154,070 (100.0)	101 (100.0)	0	154,171 (100.0)	6.84	7.23
不明	198	81	36	19	16	9	5	2	0	366	0	0	366	6.52	7.58
記載なし	27,114	13,751	6,377	3,412	1,724	944	552	281	140	54,295	38	0	54,333	6.78	7.19
総計	103,706	52,564	25,103	13,007	6,958	3,696	2,074	1,150	473	208,731	139	0	208,870	6.82	7.22

(患者調査による集計)

女性

入院の有無	5年未満	5年～	10年～	15年～	20年～	25年～	30年～	35年～	40年～	合計	不明	記載なし	総計	平均	標準偏差
なし (%)	20,020 (55.4)	11,779 (59.1)	6,888 (60.1)	4,261 (62.0)	2,571 (61.5)	1,539 (61.5)	852 (57.8)	422 (53.6)	153 (43.7)	48,485 (57.9)	6 (12.8)	0	48,491 (57.9)	8.60	8.25
あり (%)	16,124 (44.6)	8,155 (40.9)	4,578 (39.9)	2,611 (38.0)	1,612 (38.5)	964 (38.5)	622 (42.2)	366 (46.4)	197 (56.3)	35,229 (42.1)	41 (87.2)	0	35,270 (42.1)	8.00	8.48
合計 (%)	36,144 (100.0)	19,934 (100.0)	11,466 (100.0)	6,872 (100.0)	4,183 (100.0)	2,503 (100.0)	1,474 (100.0)	788 (100.0)	350 (100.0)	83,714 (100.0)	47 (100.0)	0	83,761 (100.0)	8.35	8.36
不明	75	34	29	7	5	3	5	1	0	159	0	0	159	7.39	7.91
記載なし	12,491	7,058	3,799	2,353	1,390	813	473	232	98	28,707	20	1	28,728	8.16	8.14
総計	48,710	27,026	15,294	9,232	5,578	3,319	1,952	1,021	448	112,580	67	1	112,648	8.30	8.30

(患者調査による集計)

補足表 56 入院の有無と治療方法 性別, 2017

男性

入院の有無	施設血液透析	血液透析濾過	血液濾過	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析	合計	記載なし	総計
なし (%)	62,645 (58.6)	27,430 (64.0)	4 (80.0)	285 (55.0)	275 (79.9)	1,402 (39.8)	92,041 (59.7)	0	92,041 (59.7)
あり (%)	44,294 (41.4)	15,411 (36.0)	1 (20.0)	233 (45.0)	69 (20.1)	2,122 (60.2)	62,130 (40.3)	0	62,130 (40.3)
合計 (%)	106,939 (100.0)	42,841 (100.0)	5 (100.0)	518 (100.0)	344 (100.0)	3,524 (100.0)	154,171 (100.0)	0	154,171 (100.0)
不明	329	19	0	0	1	17	366	0	366
記載なし	34,871	16,967	7	177	178	2,133	54,333	0	54,333
総計	142,139	59,827	12	695	523	5,674	208,870	0	208,870

(患者調査による集計)

女性

入院の有無	施設血液透析	血液透析濾過	血液濾過	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析	合計	記載なし	総計
なし (%)	32,841 (56.5)	14,437 (62.4)	5 (83.3)	322 (57.5)	67 (70.5)	819 (44.9)	48,491 (57.9)	0	48,491 (57.9)
あり (%)	25,302 (43.5)	8,696 (37.6)	1 (16.7)	238 (42.5)	28 (29.5)	1,005 (55.1)	35,270 (42.1)	0	35,270 (42.1)
合計 (%)	58,143 (100.0)	23,133 (100.0)	6 (100.0)	560 (100.0)	95 (100.0)	1,824 (100.0)	83,761 (100.0)	0	83,761 (100.0)
不明	141	8	0	0	1	9	159	0	159
記載なし	18,337	8,980	11	177	61	1,162	28,728	0	28,728
総計	76,621	32,121	17	737	157	2,995	112,648	0	112,648

(患者調査による集計)

補足表 57 入院の有無が「あり」の患者 入院理由と性別, 2017

性別	入院理由 (1人につき3つまで回答可)											入院理由に 回答がある 患者数	入院理由に 回答がない 患者数	合計
	心疾患	大動脈・ 末梢血管 疾患	脳血管 疾患	感染症	癌	腎移植	整形外科 疾患	内分泌	バスキュ ラーアク セス	その他	不明			
男性 ※1 (%)	13,758 (24.0)	3,985 (7.0)	3,203 (5.6)	6,458 (11.3)	2,616 (4.6)	96 (0.2)	4,677 (8.2)	441 (0.8)	13,469 (23.5)	22,317 (38.9)	424 (0.7)	57,331	4,799	62,130
女性 (%)	5,679 (17.5)	1,507 (4.6)	1,757 (5.4)	3,372 (10.4)	987 (3.0)	45 (0.1)	4,081 (12.6)	310 (1.0)	9,033 (27.9)	13,039 (40.2)	249 (0.8)	32,417	2,853	35,270
※2 延べ合計 (%)	19,437 (21.7)	5,492 (6.1)	4,960 (5.5)	9,830 (11.0)	3,603 (4.0)	141 (0.2)	8,758 (9.8)	751 (0.8)	22,502 (25.1)	35,356 (39.4)	673 (0.7)	89,748	7,652	94,000
記載なし (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
※2 延べ総計 (%)	19,437 (21.7)	5,492 (6.1)	4,960 (5.5)	9,830 (11.0)	3,603 (4.0)	141 (0.2)	8,758 (9.8)	751 (0.8)	22,502 (25.1)	35,356 (39.4)	673 (0.7)	89,748	7,652	97,400

(患者調査による集計)

※1 数値下のかっこ内%は、行方向の「入院理由に回答がある患者数」に対する割合です。入院理由は1人につき3つまで回答可としたため、割合の合計は100%ではありません。

※2 入院理由は1人について3つまで回答可としたため、合計数は回答の延べ合計、総計数は回答の延べ総計です。回答患者数ではないことにご注意ください。

補足表 58 入院の有無が「あり」の患者 入院理由と年齢, 2017

年齢	入院理由 (1人につき3つまで回答可)											入院理由に回答がある患者数	入院理由に回答がない患者数	合計
	心疾患	大動脈・末梢血管疾患	脳血管疾患	感染症	癌	腎移植	整形外科疾患	内分泌	バスキュラーアクセス	その他	不明			
※1 15歳未満 (%)	2 (3.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	20 (38.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.9)	0 (0.0)	1 (1.9)	40 (76.9)	0 (0.0)	52	0	52
15歳～ (%)	18 (11.2)	3 (1.9)	0 (0.0)	30 (18.6)	5 (3.1)	10 (6.2)	4 (2.5)	3 (1.9)	52 (32.3)	78 (48.4)	1 (0.6)	161	14	175
30歳～ (%)	339 (14.6)	64 (2.8)	101 (4.4)	287 (12.4)	59 (2.5)	25 (1.1)	109 (4.7)	55 (2.4)	782 (33.7)	936 (40.3)	13 (0.6)	2,320	222	2,542
45歳～ (%)	2,790 (22.5)	753 (6.1)	633 (5.1)	1,226 (9.9)	381 (3.1)	44 (0.4)	924 (7.4)	194 (1.6)	3,378 (27.2)	4,731 (38.1)	74 (0.6)	12,425	1,101	13,526
60歳～ (%)	9,010 (23.4)	2,673 (7.0)	2,229 (5.8)	4,177 (10.9)	1,841 (4.8)	46 (0.1)	3,713 (9.7)	328 (0.9)	9,396 (24.4)	14,408 (37.5)	261 (0.7)	38,456	3,191	41,647
75歳～ (%)	6,931 (20.5)	1,928 (5.7)	1,876 (5.5)	3,764 (11.1)	1,278 (3.8)	16 (0.0)	3,666 (10.8)	165 (0.5)	8,342 (24.6)	13,994 (41.3)	301 (0.9)	33,875	2,917	36,792
90歳～ (%)	347 (14.1)	71 (2.9)	121 (4.9)	326 (13.3)	39 (1.6)	0 (0.0)	341 (13.9)	6 (0.2)	551 (22.4)	1,168 (47.5)	23 (0.9)	2,458	207	2,665
※2 延べ合計 (%)	19,437 (21.7)	5,492 (6.1)	4,960 (5.5)	9,830 (11.0)	3,603 (4.0)	141 (0.2)	8,758 (9.8)	751 (0.8)	22,502 (25.1)	35,356 (39.4)	673 (0.7)	89,747	7,652	97,399
不明 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	1	0	1
※2 延べ総計 (%)	19,437 (21.7)	5,492 (6.1)	4,960 (5.5)	9,830 (11.0)	3,603 (4.0)	141 (0.2)	8,758 (9.8)	751 (0.8)	22,502 (25.1)	35,356 (39.4)	673 (0.7)	89,748	7,652	97,400
平均	70.20	70.21	70.96	70.80	70.58	55.13	72.43	64.23	70.07	70.99	72.57	70.56	70.51	70.56
標準偏差	10.90	10.21	11.10	12.43	10.06	15.51	10.96	12.68	12.32	12.23	11.48	11.88	12.06	11.90

(患者調査による集計)

※1 数値下のかっこ内%は、行方向の「入院理由に回答がある患者数」に対する割合です。入院理由は1人につき3つまで回答可としたため、割合の合計は100%とは限りません。

※2 入院理由は1人について3つまで回答可としたため、合計数は回答の延べ合計、総計数は回答の延べ総計です。回答患者数ではないことにご注意ください。

補足表 59 入院の有無が「あり」の患者 入院理由と治療方法, 2017

治療方法	入院理由 (1人につき3つまで回答可)											入院理由に回答がある患者数	入院理由に回答がない患者数	合計
	心疾患	大動脈・末梢血管疾患	脳血管疾患	感染症	癌	腎移植	整形外科疾患	内分泌	バスキュラーアクセス	その他	不明			
施設血液透析 ※1 (%)	13,601 (21.2)	3,918 (6.1)	3,716 (5.8)	6,841 (10.7)	2,572 (4.0)	97 (0.2)	6,135 (9.6)	504 (0.8)	16,681 (26.0)	25,517 (39.8)	465 (0.7)	64,184	5,412	69,596
血液透析濾過 (%)	5,293 (24.0)	1,505 (6.8)	1,133 (5.1)	2,208 (10.0)	958 (4.3)	40 (0.2)	2,400 (10.9)	220 (1.0)	5,424 (24.6)	7,796 (35.3)	200 (0.9)	22,076	2,031	24,107
血液濾過 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	2	0	2
血液吸着透析 (%)	80 (18.4)	24 (5.5)	18 (4.1)	49 (11.3)	19 (4.4)	1 (0.2)	106 (24.4)	6 (1.4)	71 (16.3)	149 (34.3)	0 (0.0)	435	36	471
在宅血液透析 (%)	14 (16.1)	1 (1.1)	2 (2.3)	16 (18.4)	5 (5.7)	0 (0.0)	6 (6.9)	1 (1.1)	17 (19.5)	36 (41.4)	0 (0.0)	87	10	97
腹膜透析 (%)	449 (15.1)	44 (1.5)	90 (3.0)	716 (24.2)	49 (1.7)	3 (0.1)	111 (3.7)	20 (0.7)	309 (10.4)	1,857 (62.7)	8 (0.3)	2,964	163	3,127
※2 延べ合計 (%)	19,437 (21.7)	5,492 (6.1)	4,960 (5.5)	9,830 (11.0)	3,603 (4.0)	141 (0.2)	8,758 (9.8)	751 (0.8)	22,502 (25.1)	35,356 (39.4)	673 (0.7)	89,748	7,652	97,400
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
※2 延べ総計 (%)	19,437 (21.7)	5,492 (6.1)	4,960 (5.5)	9,830 (11.0)	3,603 (4.0)	141 (0.2)	8,758 (9.8)	751 (0.8)	22,502 (25.1)	35,356 (39.4)	673 (0.7)	89,748	7,652	97,400

(患者調査による集計)

※1 数値下のかっこ内%は、行方向の「入院理由に回答がある患者数」に対する割合です。入院理由は1人につき3つまで回答可としたため、割合の合計は100%とは限りません。

※2 入院理由は1人について3つまで回答可としたため、合計数は回答の延べ合計、総計数は回答の延べ総計です。回答患者数ではないことにご注意ください。